

特 記 仕 様 書

**I. 工 事 概 要**  
 1. 工 事 名 : 紫原中学校給排水その他設備改修工事  
 2. 工事場所 : 鹿児島市紫原六丁目3番19号  
 3. 工 期 : 本工事の工期は令和7年10月10日までとする。  
 4. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一
既設校舎(1号棟ほか)	鉄筋コンクリート造ほか	4階建ほか	2,737 (校舎1号棟部分)	(7) 項
解体校舎(2号棟ほか)	鉄筋コンクリート造ほか	4階建ほか	3,523.74	(7) 項

※ ・ 建築基準法による表記 ○ 文部科学省算定床面積 ・ その他 ( )

5. 棟別工事項目 ( ) 印を付けたものを適用する

建物別及び屋外 工事種目	既存校舎 (1号棟ほか)	解体校舎 (2号棟ほか)		屋 外
○ 空調調機(冷暖房)設備	・ 一式	・ 一式	・ 一式	・ 一式
○ 換 気 設 備	・ 一式	・ 一式	・ 一式	・ 一式
○ 衛 生 器 具 設 備	・ 一式	・ 一式	・ 一式	・ 一式
○ 給 水 設 備	・ 一式	・ 一式	・ 一式	○ 一式
○ 排 水 設 備	○ 一式	・ 一式	・ 一式	○ 一式
○ 自 動 制 御 設 備	・ 一式	・ 一式	・ 一式	・ 一式
○ 消 火 設 備	○ 一式	・ 一式	・ 一式	○ 一式
○ ガ ス 設 備	○ 一式	・ 一式	・ 一式	○ 一式
○ 給 湯 設 備	・ 一式	・ 一式	・ 一式	・ 一式
○ 浄 化 槽 設 備	・ 一式	・ 一式	・ 一式	・ 一式
○ ろ 過 設 備	・ 一式	・ 一式	・ 一式	・ 一式
○ 電 気 設 備	○ 一式	○ 一式	・ 一式	○ 一式
○ 建 築 工 事	・ 一式	・ 一式	・ 一式	・ 一式

6. 鹿児島市建設工事請負契約書第33条に基づく部分使用 ( ) 印を付けたものを適用する  
 ○ 無 ・ 有 (範囲、時期については監督員の指示による)

7. 鹿児島市建設工事請負契約書第33条に基づく部分使用 ( ) 印を付けたものを適用する  
 ○ 無 ・ 有 (範囲、時期については監督員の指示による)

**II. 一 般 事 項** (番号に○印の付いたもの及び○印の付いたものを適用する)

- ① 本工事は、公共工事であることを十分に認識し、工事の施工に当たって必要な官公署その他への手続きは速やかにを行い、建築基準法、労働安全衛生法、建設工事業災害防止対策要綱及びその他の関係法令を遵守し、災害及び事故の防止並びに環境の保全に努めること。
- ② 本工事の施工において、関係法令により資格が必要な作業については有資格者が行うこと。
- ③ 本工事の関連工事から発生する別契約の受注者とは、関連の工程・取組等を手前十分に協議し、相互理解の上で施工すること。
- ④ 安全管理をはじめとする、その他の諸管理に十分留意して作業を行うこと。
- ⑤ 本工事の施工に当たっては、地場産業育成の見地に立つてできる限り、市内の専門業者や労働者の活用を図ること。また、資材についても同じように市内業者からの購入に努めること。
- ⑥ 元請業者は、下請業者の施工能力の向上・雇用手数・労働安全管理等の措置に関し、必要な指導、助言その他の援助を行い、両者の合理的な関係の確立に努めること。
- ⑦ 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制表及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制表の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。
- ⑧ 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に提示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。
- ⑨ 1) 炊採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務 2) 土砂やコンクリート設等の運搬のみを行う業務 3) 工事現場の整備(交通誘導を含む)を行う業務 4) その他監督員が記載を指示した業務等
- ⑩ 本工事の施工業者は、建設業退職金共済制度の趣旨をふまえ、この制度の活用に努めること。
- ⑪ 建設法第26条及び同施行令第27条に規定する監理技術者については、指定建設業監理技術者資格者証の交付を受けたものを選任し、その工事現場の専任とするものとする。
11. 職業安全開発促進法の趣旨をふまえ、延べ面積3,000㎡を超える工事には、技能士を常駐させるものとする。
  - 配管施工(配管工事) ・ 建築板金施工(ダクト製作及び取付け)
  - 熱熱線工(保溫工事) ・ 冷凍空調調機と機器施工(冷空気調機等の据付)
- ⑫ 設計図書に明記なき事項といえども、機能上、技術上必要と認められるものは監督員と協議のうえ、施工すること。受注者は、工事実績代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更発生時、訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内(土、日祝日等を除く)に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内(土、日、祝日等を除く)に、完成時は工事完成後10日以内(土、日、祝日等を除く)に(一)財日本建設情報総合センターに登録しなければならない。また、登録完了後は、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間を満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。
- ⑬ 気象予報又は警報等について、常に注意を払い、災害の予防に努める。なお、地震、大雨及び台風等が発生した場合は、直ちに工事現場の被災状況を調査し、被害の有無にかかわらずその状況を監督員に報告すること。
- ⑭ 災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに二次災害の防止に努め、その経緯を監督員に報告し、適切に対応すること。

【低入札価格調査に基づく措置】

低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。

- ⑮ 施工体制の強化
  - (1) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。)には、専任の主任技術者等を配置すること。
  - (2) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完了した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。
    - ア 65点未満の工事成績評定を通知された場合
    - イ 工事請負契約書に基づき指名又は落札賠償を請求された場合
    - ロ 品質管理・安全管理に関し、停業停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合
    - エ 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合
- ⑯ 監督体制の強化
  - (1) 受注者は、施工体制表を提出するその内容についてのヒアリングを求められた時は、これに応じなければならない。
  - (2) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められた時はこれに応じなければならない。

【工事施工】

- ⑰ 工事現場での通行、運搬、掘削、舗装等の作業に当たっては、特に現場周辺の住民及び通行人への危険防止に万全の注意を払うとともに、昼夜間を問わず、十分な安全対策を行い、事故の発生を期すること。また、工事現場周辺の側溝、その他の公共物を土砂やセメント等の残材等で埋没させないよう特に注意すること。なお、埋没させた場合は、速やかに受注者の負担で復旧すること。
- ⑱ 本工事の施工現場の諸所のめすにおいては、火気責任者を定め、火気の取り扱いには十分注意すること。(下請業者への指導を含む)
- ⑲ 本工事の施工に当たって、支障物件を発見し、工事の進捗に影響があると思われる場合には、速やかに監督員に連絡し、互いに協議の上、監督員の指示により処理すること。なお、軽微なものについては、これに要する費用は受注者の負担とする。

【屋内に使用する材料等】

21. ホルムアルデヒドを発生する資材を使用する場合は、居室内はF☆☆☆☆規格、居室+ホルムアルデヒドが入る恐れのある床下及び衣室は、F☆☆☆規格以上にそれぞれ適合すること。ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。
- ※ 対象となる材料 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、保温材、接着剤、仕上り塗料等
- 注. ドアガラリ等により通風され、居室への流入が見込まれるトイレ等は、居室と一体化とする。
22. クロドリビホスを追加しないこと。クロドリビホスを添加した材料で代用すること。
23. 塗料は、ホルムアルデヒド不検出のもの、水性系のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)ただし、有機溶剤系

	受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。 【監視技術者等の途中交代】 <b>(7)</b> 監視技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監視技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 (1) 受注者の責によるい理由により工事中止又は工率内容の大幅な変更が発生し、工期が延長されたい場合。 (2) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場制作を含む工事であり、工場から現場へ工事の現場が移行する時点。 (3) ダム、トンネル等大規模な工事での契約工期が多年に亘る場合。 <b>(8)</b> 上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。 【監視技術者等の途中交代の試行について】 <b>(9)</b> 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で監視技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行事項とし、(1) 工程上一定の区切りと認められる時点とは品質管理・出来形管理が必要な工事事務物の構築が完了した時点とし、仮設備の撤去、後付け及び検査等を行う期間は、監視技術者の途中交代を認めることとする。 (2) 受注者は発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等の支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満たす者とする。 【施工体制制表等への協力】 <b>(10)</b> 請負代金額が4,000万円（建築一式工事は8,000万円）以上の工事においては、「鹿児島市電子納品体制制表要領」に基づく点検を、また請負代金額が4,000万円（建築一式工事は8,000万円）未満の建設工事の下請け契約を締結した工事においては同要領の枠組外における「一括して請負に関する確認」を実施するので受注者はこれに協力すること。 【ダンプトラック等による過積載等の防止について】 <b>(11)</b> 工用資機材等の積載超過のないようにすること。 <b>(12)</b> 過積載を行ってはいず資材納入業者から、資材を購入しないこと。 <b>(13)</b> 資材等の過積載防止のため、資材の納入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害さないようにすること。 <b>(14)</b> 土砂の装束又は物品積載重量の不正確さをダンパカーが、工事現場に入出入りすることがないようにすること。 <b>(15)</b> 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。 <b>(16)</b> 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に關しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 <b>(17)</b> 51項から56項のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。 【電子納品について】 <b>(18)</b> 電子納品 (1) 本工事は電子納品行動対象工事とし、市HPに掲載する「鹿児島市電子納品運用ガイドライン(案)【建築・設備編】」に定める基準に基づいて作成した電子成果物を納品すること。 (2) 電子納品レベル及び作成済みの電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとし、作成した電子成果物は電子媒体（CD-R又はDVD-R）で正本1部、副本1部の計2部提出すること。 ただし、事前協議により電子化したなし成果品については従来どおりの取扱とする。 【架空線の防護措置について】 <b>(19)</b> 架空線の防護措置における防護設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。 【公共工事における現場一斉閉所の実施について】 <b>(20)</b> 受注者は、公共工事における現場一斉閉所の実施に協力するものとする。なお、現場閉所の協力は、受注者の判断によるもの（任意）とし、実態の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みの内容を掲載しているのが確認のこと。		
	【建設副産物、産業廃棄物等】 <b>(1)</b> 本工事で発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「再生資源の利用の促進に関する法律」（リサイクル法）、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「鹿児島市建設局における再生資源活用工事実施要領（鹿児島市）」を遵守するとともに、マフキャストシステムにより適正処理を行うこと。また、産業廃棄物の運搬は処分委託する場合には、契約書の写しを監督員より提出すること。 <b>(2)</b> 本工事の施工により産業廃棄物が発生する場合、産業廃棄物管理票（マフキャスト）はE票の写し及び総括表を工事完成図面に添付すること。なお、工事完了時点で、最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びE票のうち直前に返送されたものを写しを添付すること。 ただしこの場合においても最終処分が完了し、E票が処分業者より返送された次第直ちに同票の写しを提出すること。 電子マフキャストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。 <b>(3)</b> 建設副産物のうち、コンクリート層及びアスファルト層は再資源化するものとし、これ以外のものについての指定区分は投資処分とする。 <b>(4)</b> 再資源化施設は、最寄りの許可を受けた施設とする。 <b>(5)</b> 再生資材として有効利用出来ない建設廃材は、最寄りの許可を受けた最終処分場へ搬出する。 <b>(6)</b> (1) 本工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。 イ 受け入れ場所： 熊本建 エ 受け入れ時間帯： 8 : 00 から 17 : 00 ウ 置き場等： (2) 再生資源利用促進計画書を提出すること。 (3) 処分状況の記録を得意書類に含めて提出すること。 (4) 工事発生後にやむを得ない事情により上記の指定より難しい場合は、監督員と協議の上、その指示によること。 <b>(7)</b> 再生資源利用計画書・再生資源活用促進計画書を提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示（デジタルサイネージによる掲示可）として公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めることとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成図面に含めて提出するものとする。ただし、再生資源利用計画書においては、土砂のものとする500m未満の場合は、現場提示は不要とする。 <b>(8)</b> 建設廃棄物の処理に起因する災害及び苦情については、受注者の負担において処理すること。 <b>(9)</b> 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 <b>(10)</b> 産業廃棄物を収集又は運搬する際、産業廃棄物収集運搬業者に委託せず自己搬入する場合、運搬車の車体の両側面に(1) 5cm以上の文字で「産業廃棄物の収集又は搬入に供する運搬車である旨」、及び 3cm以上の文字で「排出事業者名」を表示 (2) 産業廃棄物の収集又は搬入の用に供する運搬車であることを証する書面の備え付けを行うこと。なお、産業廃棄物収集運搬許可事業者に委託して収集又は搬入される場合には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく別途、表示規定によること。 処分場または再資源施設への搬入状況を撮影し、工事写真帳に入れること。		
Ⅲ. 工 事 仕 様			
1. 共通仕様	(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版、及び「公共建築設備工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」による。 (2) 電気設備及び建築工事を本工事に伴う場合、電気設備及び建築工事は、それぞれの工事標準仕様書を採用する。 (3) 施工基準 鹿児島市給水・下水道条例及び施行規程、鹿児島市水道局給水装置・排水設備工事施行基準、市福祉環境整備指針、鹿児島市機械設備工事各重要項、その他、関連法規及びガス供給会社の供給規定に基づき施工する。		
2. 特記仕様	(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記項目のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用し、●印の付いたものは適用しない。		
章	項	目	特 記 事 項
●	一般	① 機械等	(1) 国等による環境物品等の調達推進等に関する法律（以下「グリーン購入法」）に定めるところにより環境負荷の低減に影響すること。また屋内で使用する材料は、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮すること。 (2) 本工事に使用する設備機械等は、設計図書に規定するもの又は、同等のものである。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承認を受けること。 (3) 使用する機種のうち、取扱いに供する水が循環する可能性のある給水・給湯管及び同用具は鉛溶出性能基準適合品であること。
●	共通	② 工用電力・水、その他	この工事に必要な工用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて受注者の負担とする。本工事で設置する。
●	事項	③ 監督員事務所	(1) 本工事は、建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。
●	事項	④ 快適トイレ	(2) 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。 (3) 快適トイレを迅速に設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について（令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知）」に基づき行うものとする。

	(4) 「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について（令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知）」は鹿児島市ホームページから入手できる。 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。・本工事で設置する。 構内敷きならし・構内たい積・構内増出し 場内（・根切り土の中の良質土・購入シラス土に置き換え） 公道（・根切り土の中の良質土・購入シラス土に置き換え） その他（） ○「鹿児島市機械設備工事写真管理要領」及び「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編（令和5年 版）」による。 ・上記写真に加え、実績報告用写真として着工前と完成時（出来高時）を監督員へ2部 提出（両面印刷）すること。 監督員と協議のうえ、機器等の取り扱い及び重要な定期点検項目等を書いた亚克力樹 脂製の案内板を作成し、指示する箇所に設置する。 プラスチック板（白地）に文字を彫り込み、ナイロン製結束バンド（インシュロック）等サビ にくい材質のものを取り付ける。 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督員に提出する。 ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定 ・ その他（ ） 設備機器等の定数は、次に示す事項を踏まえて「官庁施設の総合耐震・対津波設計基準 及び旧耐震（令和3年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」並びに「建築設備耐震設 計・施工指針（2014年版）」による。 設計用水平震度																																																																													
	<table><tr><th rowspan="2">設 置 場 所</th><th colspan="8">耐 震 安 全 性 の 分 類</th></tr><tr><th colspan="2">○ 特 定 の 施 設</th><th colspan="6">・ 一 般 の 施 設</th></tr><tr><td></td><td>重要機器</td><td>重要水槽</td><td>一般機器</td><td>一般水槽</td><td>重要機器</td><td>重要水槽</td><td>一般機器</td><td>一般水槽</td></tr><tr><td>上層階、屋上 及び塔屋</td><td>2.0 (2.0)</td><td>2.0</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0</td></tr><tr><td>中間階</td><td>1.5 (1.5)</td><td>1.5</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.6</td></tr><tr><td>地階及び1階</td><td>1.0 (1.0)</td><td>1.5</td><td>0.6 (1.0)</td><td>1.0</td><td>0.6 (1.0)</td><td>1.0</td><td>0.4 (0.6)</td><td>0.6</td></tr></table> <p>注. 1.（ ）書きの数値は防振支持の機器に適用する。 2. 上層階等の定義は、標準仕様書による。 3. 下記に示すものは重要機器、重要水槽とし、下記以外のものは一般機器、 一般水槽とする。・ 受水槽 ・ 高架水槽 (1) 呼び径60su以下のステンレス鋼管の継ぎ手は、下記による。 ・ 圧縮接合 ・ プレス接合 ・ フランジ接合 ・ ・ 溶接接合 ・ フランジ接合 (2) 呼び径75su以上のステンレス鋼管の継ぎ手は、下記による。 (3) 排水用ポンプ圧送管における排水用ビニル管継ぎ手は、水道用硬質塩化ビニル管継ぎ 手（形形）JIS K 6743 を使用する。</p> <p>標準仕様書第2編によるほか下記による。</p> <p>(1) 埋め戻しは、管及び被覆脂脂を傷めぬよう良質シラス又は山砂の類で管の周囲を埋め 戻した後、掘削土の良質土で埋め戻す。なお、公道部分の埋め戻しは、道路管理者が指 定する埋戻土を使用する。 (2) 公道部分に排水管を埋設する場合は、根切り底を管の下端より100mm程度深く根切り をし、山砂の類をやりかたにない敷き込み、突き固めた後、管をなじみ良く布設する。 なお、継ぎ手部分は必要に応じ増し掘りをする。 埋め戻しは、管が移動しないように管の中心線程度まで埋め戻し、十分充てんした後、 所定の埋め戻しを行う。 (3) 敷地内の埋設管は、用途別（給水管・揚水管・消火管・ガス管等）に埋設表示テー プを前上しに貼り区別する。また、管を埋め戻す際に地表から約150mm～300mm程度の深さに 埋設表示用の標識シートを埋設する。ただし、敷地内の排水管については、埋設表示 テープ・標識シートとも不要とする。 (4) 道路を横断して埋設する場合は、片側の工事を完了し、交通の妨げのないよう必要な 措置を講じた後、片方の根切りを行う。 (5) 道路に埋設する場合の根切りは、当日中に即時復旧が完了できる範囲とする。 (6) 道路の即時復旧は、当日中に埋め戻し工程に連続して、表層まで復旧する。ただし、 表層は仮復旧とし、本復旧は改めて行うこと。 (7) 道路に埋設する場合は、特に交通の支障にならないように注意し、交通頻繁な道路に おいては、交通整理員を配置する。</p> <p>埋設深さは下記による。（ただし、電気配管は別途監督員の指示による。）</p> <table><tr><th>区 分</th><th>埋設深さ（GLより管頂まで）</th><th>単位mm</th></tr><tr><td>公道及び団地内道路</td><td>・ 600以上 ○ 700以上 ・ 800以上 ・ 1,200以上</td><td></td></tr><tr><td>構内の車道通行路</td><td>・ 300以上 ○ 600以上 ・ 700以上 ・ 1,200以上</td><td></td></tr><tr><td>上 記 以 外</td><td>○ 300以上 ・ 600以上</td><td></td></tr></table> <p>注. 排水管は、上記埋設深さ以上とし、規定勾配で配管する。なお、管の上端より300mm 未満となる場合は、コンクリート防護など必要な措置を講ずる。 標準仕様書第2編によるほか下記による。</p> <p>(1) 屋外露出、暗渠及びビッド内に使用する吊りボルト及び支持バンドは、ステンレス製 とし、その他は亜鉛めっき鋼製とする。なお、冷温水管の支持バンドは、断熱支持材 （合成樹脂製）を使用する。 (2) 屋外露出、暗渠及びビッド内に使用する山形鋼及びボルト類は、ステンレス製又は溶 融亜鉛めっき仕仕上げとし、屋内露出は、一般構造用圧延鋼材に錆止めの上指定色塗装、 パワゾシャフト内は、一般構造用圧延鋼材に錆止めとする。 (3) 配管及びダクトの曲部は、標準仕様書第2編の支持間隔に係わらず支持する。 (4) 外壁取り付けの立管は、支持間隔2 m以下で固定する。 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、必要に応じて配筋調査等を行い、 ダイヤモンドカッターを用いる。</p> <p>○ 保温 (1) 保温箇所 標準仕様書第2編によるほか下記による。なお、保温仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び 3.1.5とする。 ・ ドレン管（ドレンバルブまで） ・ 屋外露出の弁類 ・ 膨脹管 ・ エア一括弁及び排泥弁以降1 mまでの配管 ・ 空調換気扇用給排気ダクト（EA・0Aは機器より外壁貫通部まで） (2) 冷媒管保温仕様</p> <table><tr><th>施工箇所</th><th>材 料 と し て 施 工 順 序</th><th>参 考 施 工 箇 所</th></tr><tr><td>屋内露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース</td><td>一般居室、廊下、機械室 書庫、倉庫</td></tr><tr><td>屋内隠蔽</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. ビニルテープ（1 m間隔）</td><td>天井内、床下、空隙壁中 パイプシャフト内</td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース 3. シーリング</td><td>屋外露出 （バルコニー開放廊下含む）</td></tr></table>	設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類								○ 特 定 の 施 設		・ 一 般 の 施 設							重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽	上層階、屋上 及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)	0.6	地階及び1階	1.0 (1.0)	1.5	0.6 (1.0)	1.0	0.6 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)	0.6	区 分	埋設深さ（GLより管頂まで）	単位mm	公道及び団地内道路	・ 600以上 ○ 700以上 ・ 800以上 ・ 1,200以上		構内の車道通行路	・ 300以上 ○ 600以上 ・ 700以上 ・ 1,200以上		上 記 以 外	○ 300以上 ・ 600以上		施工箇所	材 料 と し て 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所	屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース	一般居室、廊下、機械室 書庫、倉庫	屋内隠蔽	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. ビニルテープ（1 m間隔）	天井内、床下、空隙壁中 パイプシャフト内	屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース 3. シーリング	屋外露出 （バルコニー開放廊下含む）
設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類																																																																													
	○ 特 定 の 施 設		・ 一 般 の 施 設																																																																											
	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽																																																																						
上層階、屋上 及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)	1.0																																																																						
中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)	0.6																																																																						
地階及び1階	1.0 (1.0)	1.5	0.6 (1.0)	1.0	0.6 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)	0.6																																																																						
区 分	埋設深さ（GLより管頂まで）	単位mm																																																																												
公道及び団地内道路	・ 600以上 ○ 700以上 ・ 800以上 ・ 1,200以上																																																																													
構内の車道通行路	・ 300以上 ○ 600以上 ・ 700以上 ・ 1,200以上																																																																													
上 記 以 外	○ 300以上 ・ 600以上																																																																													
施工箇所	材 料 と し て 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所																																																																												
屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース	一般居室、廊下、機械室 書庫、倉庫																																																																												
屋内隠蔽	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. ビニルテープ（1 m間隔）	天井内、床下、空隙壁中 パイプシャフト内																																																																												
屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 保温化粧ケース 3. シーリング	屋外露出 （バルコニー開放廊下含む）																																																																												
R6.4 令和6年度改訂版（改訂1） R6.7 令和6年度改訂版（改訂2）	紫原中学校給排水その他設備改修工事																																																																													
	特記仕様書(1)	No Scale																																																																												
	鹿児島市建設局建築部設備課	全 4 4																																																																												

● 一般共通事項

⑮ 保温（続き）	注 1. 原則として、露出配管は保温化紐ケースに電線配り配線及び操作線を収納し天井内、パイプシャフト内、床下及び暗渠内等は冷媒管保温上に共縛りとして固定する。 2. ポリスチレンフォーム保温筒は、ガス管20mm、液管10mm厚以上とする。 3. 保温化紐ケースは、耐候処置を施した塩化ビニル樹脂製で-20℃～60℃まで耐えるもの。 4. 保温化紐ケースに冷媒管を収めた場合、適当な余裕があればドレン管をケース内に収めても良い。 (3) 屋内露出配管の施工 屋内露出配管の保温見切り箇所には菊座を、また分岐曲がり部等にはバンドを付けるものとする。なお、材質は全て冷間圧延ステンレス製とし、バンド幅は保温外径150mm以下は20mm、150mm以上は25mm、菊座は全て50mmとする。 (4) 給水管・排水管保温仕様	<table><tr><th>施工箇所</th><th>材 料 及 び 施 工 順 序</th><th>参 考 施 工 箇 所</th></tr><tr><td rowspan="3">屋内露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂製カバー</td><td>一般居室、廊下</td></tr><tr><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス</td><td>機械室、書庫、倉庫</td></tr><tr><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス</td><td>天井内、パイプシャフト</td></tr><tr><td>屋内隠蔽</td><td>1. 保温チューブ巻き（ライトカバー） 2. ビニルテープ（1m間隔）</td><td>空隙壁内</td></tr><tr><td>床 下</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス</td><td>床下、暗渠内、地下ピット</td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板</td><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）</td></tr></table>	施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所	屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂製カバー	一般居室、廊下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	天井内、パイプシャフト	屋内隠蔽	1. 保温チューブ巻き（ライトカバー） 2. ビニルテープ（1m間隔）	空隙壁内	床 下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	床下、暗渠内、地下ピット	屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）																								
施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所																																											
屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂製カバー	一般居室、廊下																																											
	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫																																											
	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	天井内、パイプシャフト																																											
屋内隠蔽	1. 保温チューブ巻き（ライトカバー） 2. ビニルテープ（1m間隔）	空隙壁内																																											
床 下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	床下、暗渠内、地下ピット																																											
屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）																																											
⑯ 制御及び操作盤	注 1. 給水管及び給湯用の配管で、保温を行う呼び径 6.5 以上の弁、ストレーナー等は、ビス等により容易に着脱できるステンレス鋼板による外装を施す。 2. ポリスチレン保温筒の使用困難な箇所は、ロックウールフェルト、グラスウール保温帯又は、波型保温板を使用してもよい。 3. 別途図示等の指示がある場合はそれによる。	製造所名及び施工業者名を容易に消えない方法で記載した銘板を、扉付は扉裏面に、扉なしは全面板の見えがかりのよい位置に取り付ける。																																											
⑰ 塗装及び防錆	標準仕様書第2編によるほか下記による。 (1) 屋内及び屋外露出部で塩化ビニル管（カラーパイプを除く）使用時の排水管、通気管、排気管及びビニル製付属品等は、塩化ビニル系エナメル2 回塗りとする。 (2) 鉄製製マンホール蓋、各種ボックス用鉄製製蓋、その他の鉄製製品は、タールエポキシ塗りとする。 (3) 浄化槽、グリーストラップなどの鋼板製蓋は、溶融亜鉛めっきとする。 (4) 亜鉛めっき鋼管、ライニング鋼管などのネジ山部分、その他サビのする恐れのある部分は、全て高濃度亜鉛め塗り（参考品名：ローパル）でサビの防止処置をする。	標準仕様書第2編によるほか下記による。 (1) 給水配管は、試験圧力1.0MPa(10kg/cm2) 以上とし、保持時間は60分以上とする。但し、配水本管から第 1 止水栓までは、鹿児島市水道局施工基準（試験圧力：サドル分水栓1.75MPa(17.5kg/cm2)、保持時間1分以上、不漏水 T 字管 1.0MPa(10.0kg/cm2)、保持時間1分以上）による。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督員と協議することとする。 (2) 給湯配管は、試験圧力1.75MPa(17.5kg/cm2) 以上とし、保持時間は60分以上とする。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督員と協議することとする。 (3) 冷媒配管は、標準仕様書に基づく耐圧試験を行うこととし、保持時間は24時間以上とする。																																											
⑱ 試験	(1) 標準仕様書第1編及び鹿児島市機械設備工事「提出書類作成要領」による。 (2) 施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。竣工時に、国土交通省大臣官庁官庁管轄部監修機械設備工事監理指針第 1 編による、竣工時中長期保全計画書（長期保全計画書）を作成する。作成方法等は、監督員の指示による。 ヤンバルトサカヤステのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬入に当たっては、次の各号を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤステの根拠が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、根拠状況等の調査を行い、監督員に報告すること。 (1) 土・樹木等の措置 ア 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。 イ 腐葉樹木等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱い可能な焼却施設で焼却処理する。 一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間焼却施設 産業廃棄物：業の許可を有している民間焼却施設 (2) 工事区域周辺部の措置 周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。 (3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置 ア 薬剤処理・熏蒸処理後、搬出する。 イ 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は付着土壌の除去目視除去後搬出する。 (4) 発生地区に搬入した建設機械や農・林業工作機械の措置 付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出する。 (5) 未発生地区での措置 発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記（3）、（4）の措置が講じられているかを確認する。	標準仕様書第2編によるほか下記による。 (1) 給水配管は、試験圧力1.0MPa(10kg/cm2) 以上とし、保持時間は60分以上とする。但し、配水本管から第 1 止水栓までは、鹿児島市水道局施工基準（試験圧力：サドル分水栓1.75MPa(17.5kg/cm2)、保持時間1分以上、不漏水 T 字管 1.0MPa(10.0kg/cm2)、保持時間1分以上）による。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督員と協議することとする。 (2) 給湯配管は、試験圧力1.75MPa(17.5kg/cm2) 以上とし、保持時間は60分以上とする。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督員と協議することとする。 (3) 冷媒配管は、標準仕様書に基づく耐圧試験を行うこととし、保持時間は24時間以上とする。																																											
⑲ 提出図書等																																													
23 保全計画書																																													
24 ヤンバルトサカヤステのまん延防止対策																																													
20 空気調和と冷暖房・換気設備	1 設計用温湿度条件 (建築設備設計基準R3年度版)	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">室 内 条 件</th><th colspan="8">屋 外 条 件</th></tr><tr><th>温度 (DB) [℃]</th><th>湿度 (RH) [%]</th><th>9時</th><th>12時</th><th>14時</th><th>16時</th><th>9時</th><th>12時</th><th>14時</th><th>16時</th></tr><tr><td>夏 期</td><td>26.0</td><td>50</td><td>31.3</td><td>33.9</td><td>34.6</td><td>34.0</td><td>72.5</td><td>62.8</td><td>59.9</td><td>62.5</td></tr><tr><td>冬 期</td><td>22.0</td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td>3.1</td><td></td><td></td><td></td><td>62</td></tr></table>		室 内 条 件		屋 外 条 件								温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]	9時	12時	14時	16時	9時	12時	14時	16時	夏 期	26.0	50	31.3	33.9	34.6	34.0	72.5	62.8	59.9	62.5	冬 期	22.0	40				3.1				62
	室 内 条 件			屋 外 条 件																																									
	温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]	9時	12時	14時	16時	9時	12時	14時	16時																																			
夏 期	26.0	50	31.3	33.9	34.6	34.0	72.5	62.8	59.9	62.5																																			
冬 期	22.0	40				3.1				62																																			
21 煙道	鋼板厚（ ・ 3.2mm ・ 4.5mm ）																																												
22 ダクト	・ 低圧ダクト（ ・ アングルフランジ工法 ・ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法（長さの長さが1,500mm以下の部分）） ・ 高圧 1 ダクト（適用範囲は図示による） ・ その他のダクト（ ・ VU ・ VP ）																																												
23 接続フレキ	一般空調用機器、換気扇はアルミ製、レンジフード等火を使用する場所は鉄製、浴室等湿気のある場所は樹脂製とし使用範囲は、最小限とする。																																												

5 風量測定口	取付箇所は下記による。 ・ 図示した位置 ・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト ・ 空調機出口チャンパーの分岐ダクト																																		
6 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けけるチャンパー類は雨水の滞留のないように施工する。																																		
7 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ） 定格入力はDC24V、0.7A以下とする。																																		
8 配管材料	(2) ビストンダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ）	<table><tr><th>種 別</th><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td>冷水水管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>冷却水管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>油 管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）</td></tr><tr><td>給 気 管</td><td>地中埋設</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）</td></tr><tr><td>蒸 気 管</td><td>給 気 管</td><td>・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40</td></tr><tr><td>膨 張 管</td><td>還 管</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td>空気抜き管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td>ドレン管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管 VP</td></tr><tr><td>補給水管</td><td></td><td>・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP</td></tr><tr><td>冷 媒 管</td><td></td><td>・ 断熱材被覆鋼管</td></tr></table>	種 別	区 分	使 用 材 料	冷水水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	冷却水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	油 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）	給 気 管	地中埋設	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）	蒸 気 管	給 気 管	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40	膨 張 管	還 管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）	空気抜き管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）	ドレン管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管 VP	補給水管		・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP	冷 媒 管		・ 断熱材被覆鋼管
種 別	区 分	使 用 材 料																																	
冷水水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																																	
冷却水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																																	
油 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）																																	
給 気 管	地中埋設	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）																																	
蒸 気 管	給 気 管	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40																																	
膨 張 管	還 管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																	
空気抜き管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																	
ドレン管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管 VP																																	
補給水管		・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP																																	
冷 媒 管		・ 断熱材被覆鋼管																																	
9 弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS5K ・ JIS10K ）とする。																																		
10 温度計	取付部は標準仕様書によるほか以下による。なお、温度計は工業用バイメタル式温度計（目盛板外径100φ）とする。 ・ ボイラーの温水管（入口側） ・ 温風暖房機の吐出ダクト、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパー ・ 温水発生機の温水管（出入口側） ・ 冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 直置き吸収冷水水機機の冷水水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 空気調和機の冷水水管（出入口側） ・ 空気調和機（パッケージ形を含む）のサプライチャンパー、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパー ・ 冷水管ヘッダー（往）及び各返り管 ・ 熱交換器の温水管（出入口側）																																		
11 圧力計	取付部は標準仕様書によるほか下記による。 ・ 温水発生機の温水管（出入口側） ・ 冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 直置き吸収冷水水機機の冷水水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 空気調和機の冷水水管（出入口側） ・ 熱交換器の温水管（出入口側）																																		
12 瞬間流量計及び流量測定口	コック付とし、取付部は標準仕様書によるほか下記による。なお、着脱型の指示部は各サイズ 1 個付属とする。 取付部は標準仕様書によるほか下記による。 ・ 温水発生機の温水管（入口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 冷凍機の冷水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 直置き吸収冷水水機機の冷水水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 空気調和機の冷水水管（入口又は出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 冷水管ヘッダーの（ ・ 各送り管 ・ 各返り管 ）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。																																		
13 油面制御装置	制御室には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 満油警報 ・ 満油警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ ）の端子を設ける。																																		
14 保温及び消音内貼り	なお、フロートスイッチ部と制御室間の配管配線は、製造者の標準仕様とする。 標準仕様書第2編によるほか、下記による。 ・ 送りダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は空調室及び空調室天井内を除く） ・ 外気ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、図示及び下記範囲の保温を行う） ・ 空調室の室内及び天井内 ・ 電気室 ・ 発電機室 ・ 多湿箇所の室内及び天井内 ・ エレベーター機械室 ・ 膨張タンクよりボイラー等への補給水管及び建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編の3.1.5の排水管の項による。 ・ 消音内貼りの施工範囲は図示したダクト及びチャンパー類とする。																																		
15 たわみ継手	使用箇所は下記による。 ・ 図示の箇所 ・ 給排気ファンのダクト接続部 ・ ユニット形空気調和機のダクト接続部（機内防振機器を除く）																																		
16 機器の据付	パッケージエアコン及びルームクーラー等の室外機は、防振ゴムパット（厚さ15mm以上）の上に、ステンレス製アンカーボルトにて固定する。																																		
17 機器の塗装	室外機塗装（ ・ 標準仕様 ・ 耐塩害仕様 ・ 耐重塩害仕様 ・ その他） 塗装仕様については、製造者の仕様とする。																																		
18 試運転調整等	施工完了時に所定の試運転調整を行うことを原則とするが、完成後 1 年間は、冷房及び暖房時期に入る直前にも、各試運転調整を行うと共に、関係者に対し取り扱い説明を受注者の負担において行う。 また、施工完了時に行った試運転調整は、機器等の運転状態の記録表及び測定結果をまとめた測定表を作成し、速やかに提出する。 測定表には、測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付する。																																		
● ⑲ 冷媒ガスの処理	(1) フルオロカーボン（フロン）を使用している機器を撤去する場合は、事前にガスの回収を行うこと。 (2) 回収したガスは、全て破壊処理するものとする。 (3) 回収フロン破壊証明書を提出すること。 (4) 回収及び破壊処理については、フロン排出抑制法に従い、「フロン回収行程管理票」を使用してフロン回収行程の適正な管理を行うこと。 (5) 「フロン回収行程管理票」を含む、冷媒ガスの処理に係わる費用は全て受注者の負担とする。 標準仕様書によるほか下記の予備品を備える。 ・ ・ ・																																		
20 予備品等																																			

○ 衛生器具設備

1 器具及び付属品	(1) 大・小便器用標記板は、陶器製（原則として衛生器具と同色）とし、小学校児童トイレ及び幼児用トイレに使用するものは、標記文字をひらがな又はかなで標記したものとする。 (2) 参考品番の指定がない場合の紙巻器は、市営住宅に使用するもの及び優先トイレに使用するものを除き、ステンレス鋼板製ワンタッチ形とする。 器具の取り付け高さは下記による。ただし、鹿児島市福祉環境整備指針に規定されている器具及びタイル目地合わせ等体裁上必要な場合は変更しても良いこととする。	<table><tr><th rowspan="2">器具名称</th><th colspan="2">取付け高さ</th><th rowspan="2">単位mm</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>一 般</th><th>小 学 校</th><th>幼 児</th></tr><tr><td>壁掛小便器</td><td>530</td><td>350</td><td></td><td rowspan="5">床面より前縁上端まで</td></tr><tr><td>洗 面 器</td><td>720</td><td>600</td><td>500</td></tr><tr><td>手 洗 器</td><td>760</td><td>700</td><td>500</td></tr><tr><td>実験 流 し</td><td>850</td><td>700</td><td></td></tr><tr><td>料理 流 し</td><td>820</td><td>700</td><td></td></tr><tr><td>化 粧 鏡</td><td>1,500</td><td>1,300</td><td>1,100</td><td>床面より鏡中心まで</td></tr><tr><td>化 粧 棚</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>鏡下端より棚上端まで</td></tr><tr><td>水 栓 流 し</td><td>300</td><td>300</td><td>200</td><td>流し床より吐水口まで</td></tr><tr><td>浴 槽</td><td>150</td><td></td><td></td><td>前縁上端より吐水口まで</td></tr><tr><td>浴室洗い場</td><td>300</td><td></td><td></td><td>洗い場床面より吐水口まで</td></tr></table>	器具名称	取付け高さ		単位mm	備 考	一 般	小 学 校	幼 児	壁掛小便器	530	350		床面より前縁上端まで	洗 面 器	720	600	500	手 洗 器	760	700	500	実験 流 し	850	700		料理 流 し	820	700		化 粧 鏡	1,500	1,300	1,100	床面より鏡中心まで	化 粧 棚	100	100		鏡下端より棚上端まで	水 栓 流 し	300	300	200	流し床より吐水口まで	浴 槽	150			前縁上端より吐水口まで	浴室洗い場	300			洗い場床面より吐水口まで
器具名称	取付け高さ			単位mm	備 考																																																			
	一 般	小 学 校	幼 児																																																					
壁掛小便器	530	350		床面より前縁上端まで																																																				
洗 面 器	720	600	500																																																					
手 洗 器	760	700	500																																																					
実験 流 し	850	700																																																						
料理 流 し	820	700																																																						
化 粧 鏡	1,500	1,300	1,100	床面より鏡中心まで																																																				
化 粧 棚	100	100		鏡下端より棚上端まで																																																				
水 栓 流 し	300	300	200	流し床より吐水口まで																																																				
浴 槽	150			前縁上端より吐水口まで																																																				
浴室洗い場	300			洗い場床面より吐水口まで																																																				
2 器具の取付け高さ	注 1. 学校の乾式床の和風便器は、便器リムと床土上面を同一面とする。 (学校以外の施設、湿式床の場合は監督員と協議すること。) 注 2. 中学校及び高校は、一般寸法とする。ただし、中学校理科室に取り付ける実験流しは、小学校寸法とする。																																																							

① 配管材料	<table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td>給 水 引 込 管 (メーター迄)</td><td>○ 水道用ポリエチレン管 (2層管1種) ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</td></tr><tr><td>屋 外 埋 設 (メーター以降)</td><td>○ 水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・</td></tr><tr><td>屋 内 一 般</td><td>○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・</td></tr><tr><td>土 間 (地 中) コンクリート内</td><td>○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・</td></tr><tr><td>ピ ッ ト 内</td><td>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・</td></tr></table>	区 分	使 用 材 料	給 水 引 込 管 (メーター迄)	○ 水道用ポリエチレン管 (2層管1種) ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	屋 外 埋 設 (メーター以降)	○ 水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・	屋 内 一 般	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・	土 間 (地 中) コンクリート内	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・	ピ ッ ト 内	・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・
区 分	使 用 材 料												
給 水 引 込 管 (メーター迄)	○ 水道用ポリエチレン管 (2層管1種) ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD												
屋 外 埋 設 (メーター以降)	○ 水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・												
屋 内 一 般	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・												
土 間 (地 中) コンクリート内	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・												
ピ ッ ト 内	・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・												
② 水栓	注. 図示なき給水管の最小口径は、呼び径20mmとする。 (1) 水栓は、JIS B 2061 (給水栓) によるものであるが、湯用単水栓は全て陶器製ハンドルとする。なお、湯用単水栓と併設して取り付けける水栓についても体裁上必要と思われるものは、陶器製ハンドルを使用し、湯・水の区別表示をする。 (2) シングルレバー式の水栓は、レバーを上げたとき吐水し、下げたとき止水する構造の、下止め方式とする。 (3) 連合流しに使用する水栓 (市営住宅を除く) 及び監督員の指示した水栓は、節水コマ組み込み型とする。												
③ 水道メーター	親メーター ( ○ 貨物品 (取付本工事) ・ 自己財 ) 子メーター ( ・ 貨物品 (取付本工事) ・ 自己財 )												
④ メーターボックス	呼び径25mm以下は、ボール式伸縮止水栓及び逆止弁と併用ボックスとする。 なお、形状、寸法及び50mm以上のボックスについては、鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。												
⑤ 弁類	図面に明記なき場合は下記による。 水道直結部分 ( ・ JIS10K ・ ) ポンプ圧送部 ( ・ JIS10K ・ JIS5K ) その他の部分 ( ・ JIS10K ・ JIS5K )												
⑥ 弁ボックス	ハンドルの式弁のボックスは、コンクリート製角形とし、キャップ式弁 (水道用仕切弁) のボックスはコンクリート製丸形とする。なお、形状、寸法その他は鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。												
⑦ タンク	タンクには、揚水管、給水管、排水管、オーバーフロー管、通気管等の接続口及び電極等の取付座 (カバー付) を設け、次の付属品を備える。 (1) マンホール (600φ施錠付、降灰対策用内蓋付) (2) はしご ① FRP製タンク タンク内は合成樹脂製、タンク外は鋼製 (溶融亜鉛めっき仕上2種35) 又はステンレス鋼製 ② ステンレス鋼板製タンク タンク内は合成樹脂製又はステンレス鋼製 SUS329J4L、タンク外は鋼製 (溶融亜鉛めっき仕上2種35) 又はステンレス鋼製 (3) 防虫網 通気管及びオーバーフロー管には、合成樹脂製又はステンレス製の防虫網を取付ける。なお、飲料水以外 (汚水タンクを除く) の全てのタンクについても上記の管には防虫網を取付ける。												
8 給水負担金	水道事業者への納入手続きを行うこと。 ただし給水負担金は、( ・ 本工事を含む ・ 別途 )												

① 配管材料	<table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td rowspan="3">屋 内 ・ 汚 水 管</td><td>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・</td></tr><tr><td>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管</td></tr><tr><td>○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・</td></tr><tr><td rowspan="2">屋 内 ・ 通 気 管</td><td>○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・</td></tr><tr><td>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 ( ○ VP ・ VU ) ・</td></tr><tr><td>屋 外 ・ 第 1 樹迄</td><td>○ 硬質塩化ビニル管 ( ・ VP ○ VU ) ・</td></tr><tr><td>屋 外 ・ 樹 間</td><td>○ 硬質塩化ビニル管 ( ・ VP ○ VU ) ・</td></tr></table>	区 分	使 用 材 料	屋 内 ・ 汚 水 管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管	○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・	屋 内 ・ 通 気 管	○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 ( ○ VP ・ VU ) ・	屋 外 ・ 第 1 樹迄	○ 硬質塩化ビニル管 ( ・ VP ○ VU ) ・	屋 外 ・ 樹 間	○ 硬質塩化ビニル管 ( ・ VP ○ VU ) ・
区 分	使 用 材 料													
屋 内 ・ 汚 水 管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・													
	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管													
	○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・													
屋 内 ・ 通 気 管	○ 硬質塩化ビニル管 VP (露出部 VC) ・ 耐火二層管 ・													
	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 ( ○ VP ・ VU ) ・													
屋 外 ・ 第 1 樹迄	○ 硬質塩化ビニル管 ( ・ VP ○ VU ) ・													
屋 外 ・ 樹 間	○ 硬質塩化ビニル管 ( ・ VP ○ VU ) ・													
② 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。													
③ 樹類	樹等の形状、寸法等は鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。 なお、樹のコンクリート部は工場製品としてもよい。													

1 中央監視制御装置	・ 本工事 ・ 別途工事
2 構成その他	図示による。

● 消火設備

① 配管材料	<table><tr><th>種 別</th><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td rowspan="2">屋内消火栓設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr><tr><td rowspan="2">屋外消火栓設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr><tr><td rowspan="3">ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ消火設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>ポンプ～制御弁</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr><tr><td rowspan="2">連結送水管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr></table>	種 別	区 分	使 用 材 料	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	連結送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS
種 別	区 分	使 用 材 料																								
屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																								
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																								
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																								
	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																								
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
連結送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																								
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
2 消火器	大型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ） 小型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ）																									
① ガス種別	・ ガス事業法に基づく一般ガス（都市ガス 13A（46.04655MJ/m3）） ・ ガス事業法に基づく簡易ガス（液化石油ガス） ・ 上記以外の液化石油ガス																									
② 配管材料	・ 都市ガス及び簡易ガスを使用する場合で、図示なき部分の配管材はガス事業者の供給規定による。 ・ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガスを使用する場合は下記による。 <table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td rowspan="2">屋内一般 （露出を除く）</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）</td></tr><tr><td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td></tr></table>	区 分	使 用 材 料	屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）	屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）	地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																
区 分	使 用 材 料																									
屋内一般 （露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）																									
	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																									
屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																									
地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																									
3 充てん容器	別途（ ・ 20kg ・ 50kg ）																									
4 集合装置	標準図による。（ ・ 本組 ）																									
5 転倒防止等	標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。																									
⑥ ガスメーター	親メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 別途工事																									
7 ガス漏れ警報機																										
8 漏洩検知装置																										
1 配管材料	<table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td rowspan="2">屋 内 一 般</td><td>・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HWA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）</td></tr><tr><td>・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT-VP</td></tr><tr><td>地 中 埋 設</td><td>・</td></tr></table>	区 分	使 用 材 料	屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HWA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）	・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT-VP	地 中 埋 設	・																		
区 分	使 用 材 料																									
屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HWA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ）																									
	・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT-VP																									
地 中 埋 設	・																									
2 弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS10K ・ JIS5K ）																									
1 届出手続き等	浄化槽法の規定に基づく「浄化槽設置届出書」を所定の時期に鹿児島市浄化槽指導要綱に定める関連図書を添付し、届出を代行すること。 鹿児島市浄化槽法施行細則の規定に基づく浄化槽工事完了検査を受け、検査結果を速やかに監督員に報告すること。																									
2 中間立会い検査等	下記の工事を行う場合は、事前に監督員に連絡し、現場立会い検査及び承諾後施工すること。 ・ 位置の決定：あらかじめ設計図の配置に基づいて仮の位置決めを行い承諾を受ける。 ・ 配 筋：配筋終了後、片側仮枠の状態で立会い検査を受ける。 ・ コンクリート打設：コンクリート打設前に各槽の寸法、壁厚等のチェックリストを作成し、承諾を受ける。 ・ 搬入据付け：ユニット形浄化槽の搬入及び据付け時には、槽の規格、型式等の確認及び据付け状態の立会い検査を受ける。 ・ 試験その他：水張り試験（24時間）、その他監督員の指示する試験及び試運転調整等は立会い検査を受ける。																									
3 取扱い説明等	試験調整後、所要の時期に浄化槽管理者及び浄化槽管理者が委託した浄化槽管理士など関係者に対し、取扱い説明を十分に行う。 なお、試験調整並びに取扱い説明等に必要な資機材及び労務等を提供し、これに要する費用を負担する。																									
4 付属品等	標準仕様書によるほか、下記品目を備える。 ・ マンホール引手 1 組 ・ 消毒薬剤 1 式（1 回投入分）																									
5 送風機	原則として、防振ゴム、防振架台等で防振対策を施したものとし、騒音の大きなものは、騒音対策を行う。																									
6 点検口蓋	図示なき場合は下記による。ただし、ユニット形で図示なき場合は、製造者の標準仕様とする。 (1) 防 臭 蓋：鉄製耐圧型（SHASE-S、安全荷重 14,700N）以上 なお、蓋は錠付又はステンレス製ボルト固定式とする。 (2) 鋼板製蓋：板厚4.5mm以上の鉄鋼板に溶融亜鉛めっきを施したもの又はステンレス鉄鋼板（SUS 304）製で、取手又は取手取付穴付きとし、1 人で開閉できる重量に分割加工する。なお、蓋はステンレス製ボルト固定式とする。																									
7 ユニット型浄化槽	(1) 浄化槽法に基づく型式認定品とするが、あらかじめ使用する機種の特記仕様書と、騒音の大きいものは、騒音対策を行う。 (2) 図示の機器寸法は参考寸法とする。 (3) 保護工作物が別途工事の場合においては、保護工作物の施工業者と収まり等について、十分に打ち合わせを行うこと。 使用する機種が別途保護工作物内に収まらず、工作物の寸法を変更する必要がある場合は、変更に関わる全ての費用を本工事で負担する。																									
8 支持金物等	槽内の支持金物及びボルト・ナット類は全てステンレス鋼製（SUS304）とする。 <table><tr><td colspan="3">紫原中学校給排水その他設備改修工事</td></tr><tr><td>特記仕様書(2)</td><td>No Scale</td><td>2</td></tr><tr><td colspan="2">鹿児島市建設局建築部設備課</td><td>全 4 4</td></tr></table>	紫原中学校給排水その他設備改修工事			特記仕様書(2)	No Scale	2	鹿児島市建設局建築部設備課		全 4 4																
紫原中学校給排水その他設備改修工事																										
特記仕様書(2)	No Scale	2																								
鹿児島市建設局建築部設備課		全 4 4																								

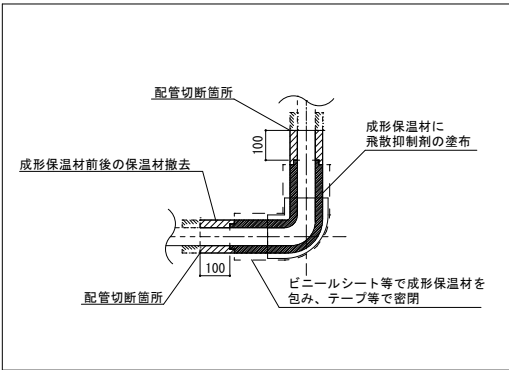
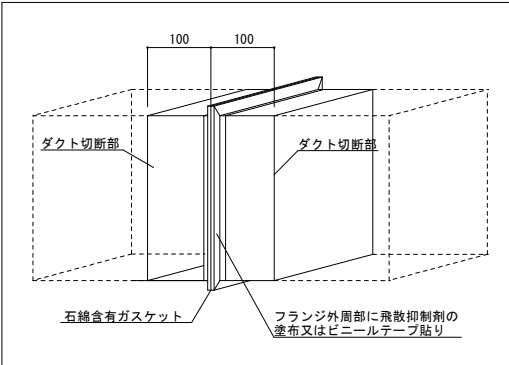
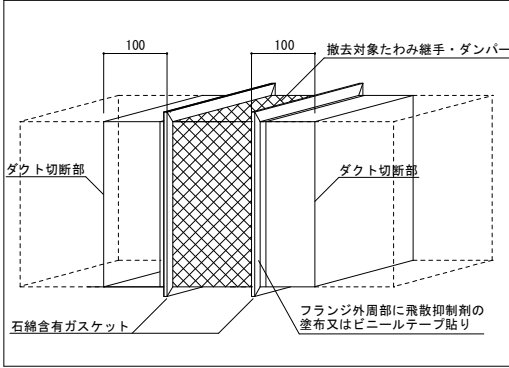
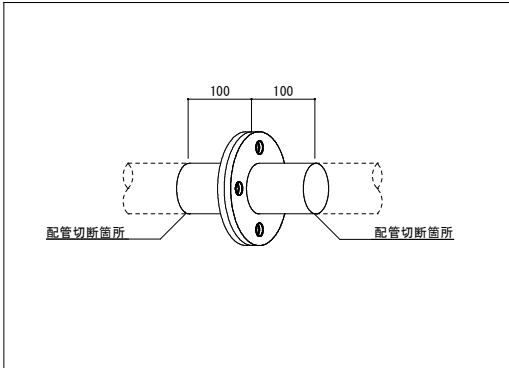

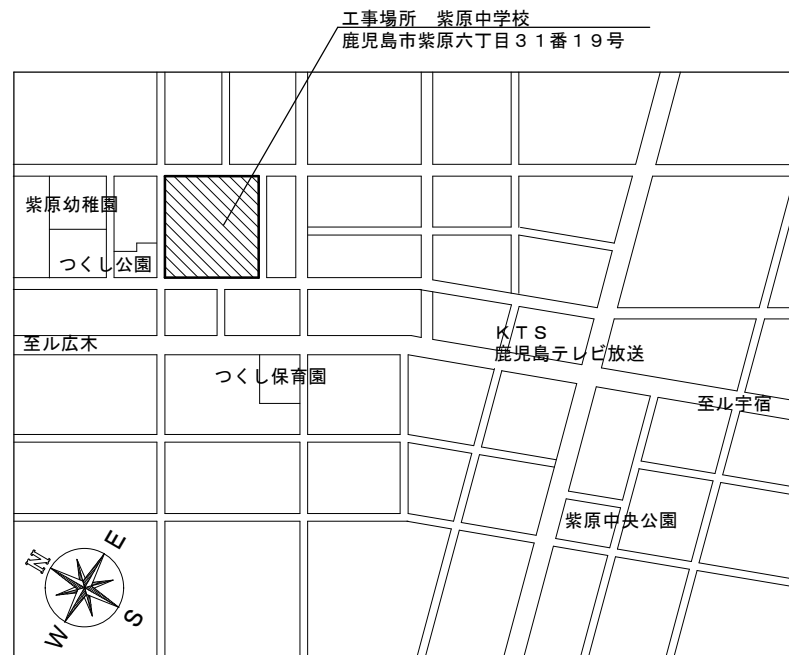
石綿含有保温材等及び石綿含有成形板等除去特記事項		Ⅱ 石綿含有保温材等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		Ⅳ 石綿含有仕上塗材の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する	
Ⅰ 共通事項 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		1. 関係機関 協議・届出 法令等に基づき、撤去工事に必要な関係機関との協議及び届出を速やかに行うこと。 (労働基準監督署、鹿児島市環境保全課等)		① 撤去作業 石綿含有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を用いる方法とする。 (1) 撤去方法 ・ 穿孔 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ・ コア抜き(ダイヤモンドカッターによる) ① コア抜き作業により影響を受ける石綿含有仕上塗材を撤去する。十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。	
① 石綿含有対象建材	本工事に係る石綿含有建材は次のとおりとする。 但し、事前調査を行い、新たに石綿含有が確認された場合や含有が疑われる場合は、速やかに監督員に報告を行い適切に処理すること。 石綿含有建材の有無 ○有 ・ 無 ・ その他 ( ) 石綿含有建材の種別 ・ 石綿含有保温材等 ・ 石綿含有成形板等 ○ 石綿含有仕上塗材	2. 撤去作業 ・ 石綿含有成形保温材付き配管の撤去 成形保温材付き配管の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 ② ビニールシート等で成形保温材を包み、配管表面でテープ止めとし、密閉する。 ③ 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去した成形保温材付き配管は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で、特別管理産業廃棄物であることを表示し、構外搬出処理とする。 ② マニフェスト票の備考欄に「廃石綿」であることを明示し、適正に処分すること。			
		Ⅲ 石綿含有成形板等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		② 処分作業 ・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤な状態とした後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。	
② 関係法令の遵守	大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、労働安全衛生規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守すること。 また国土交通省大臣官庁営繕部監修の次の図書についても遵守すること。 (1) 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) (2) 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) (3) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (4) 建築物解体工事共通仕様書・同解説				
③ 事前調査	施工に先立ち改修、解体等の対象建材について石綿等使用の状況を監督員に確認した上で事前調査を行うこと。なお、建築物に係る事前調査は、適切に当該調査を実施するために必要な知識を有する者として厚生労働大臣及び環境大臣が定める者が行うこと。 また、法令に基づき速やかにその結果を鹿児島市環境保全課及び労働基準監督署に報告すること。報告は、原則として石綿事前調査報告システムから電子申請で行うこと。 さらに、監督員に書面で別途説明すること。 建築物の構造上、解体等工事に着手する前に目視することができない箇所にあつては、解体等工事に着手した後に目視が可能となった時点で調査を行い、再度報告及び説明を行うこと。			・ 石綿含有配管フランジ用パッキンの撤去 配管のフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去したフランジ付配管は、さらなる切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形品」であることを明示し、適正に処分すること。	
④ 施工計画	(1) 事前調査の結果に基づき、施工計画書(作業管理組織図、作業方法、揭示方法、産業廃棄物処理方法)を作成して監督員に提出すること。 (2) 施工計画にあたり、令和3年3月厚生労働省及び環境省作成「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。 (3) 作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないように留意すること。 (4) 使用器具・機械類等は、石綿含有建材の撤去等に必要で適切な工具・機器類等であること。				
⑤ 揭示	(1) 大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を揭示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。 (2) 必要に応じて周辺住民等へ揭示等で周知すること。			・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤な状態とした後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。	
⑥ 作業者	(1) 石綿障害予防規則に定める「石綿作業主任者」が作業管理者となり、その作業管理者の指示に従って作業すること。 (2) 作業者は、就業時に石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。				
⑦ 保管	(1) 現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、ほかの建設副産物等と分別して保管し、シート等で覆うなど、飛散防止措置を講ずること。 (2) 保管場所には、廃石綿等の保管場所であることの表示を行うこと。			・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤な状態とした後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防塵マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ④ 撤去等を行うにあたり建材の大きな割れや破損による石綿繊維の飛散が想定される場合は、監督員と協議の上、必要に応じて湿潤化や隔離養生、局所集じん機の使用等の措置を講ずること。	
⑧ 運搬	(1) 石綿含有建材の廃材を高所から移動する場合は、揚重機を使用して、高所より投下しないこと。 (2) 石綿含有建材の廃材の集積、積み込みに当たっては、廃棄物の積み替え移動回数を最小限にすること。 (3) 石綿含有建材の廃材の運搬車及び運搬容器は、当該建材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4) 運搬車両の荷台に覆いをかけるなど、飛散防止措置を講ずること。				
⑨ 後片付け	(1) シート等により区画、隔離した場合において、作業に使用した工具、足場等は付着した石綿を除去した後、作業場外へ持ち出すこと。 また、作業衣及び呼吸用保護具も、廃棄のために袋に入れた場合以外は、付着した石綿を除去した後、作業場外へ持ち出すこと。 (2) 区画、隔離養生に用いたシート等を再使用する際は、区画、養生を片付ける前に高性能真空掃除機等により付着した粉じんを除去すること。 (3) 区画、隔離等に用いたシート等を処分する際は、石綿繊維等粉じん付着面を内側にして折りたたんだ後に密封処理を行い、石綿含有建材同様の処理を行うこと。			・ 石綿含有天井材の撤去 天井材の撤去は、原則として原形のまま取り外すこと。ただし、原形のまま取り外すことが技術上著しく困難で、切断を伴う撤去等を行う場合は、十分な飛散防止措置を講ずること。 (1) 撤去方法 ・ 切断等によらない撤去 ① 対象の石綿含有成形板は、撤去部を湿潤化した後、切断等の処置行うこと。また、切断等の範囲が最小限となるように施工すること。 ② 作業箇所は、施工区画として側面4面及び床面を養生シート等で覆い、適切に隔離を行うこと。 ③ 残った切断部断面には、切断箇所から石綿が飛散することのないよう、飛散防止措置を講ずること。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(電動ファン付き)、保護メガネ、手袋、保護衣、シューズカバーを着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去した成形板は、切断や破砕は行わず、撤去した原形のまま運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有成形板」であることを明示し、適正に処分すること。	
⑩ 作業の結果の報告	除去作業が完了したときは、その結果を遅滞なく監督員へ書面で報告すること。				

図 4  
令和4年度環境設計 (改訂1)

紫原中学校給排水その他設備改修工事

石綿含有保温材等及び石綿含有成形板等除去特記事項	NO SCALE	3	4
鹿児島市建設局建築設備課			

全



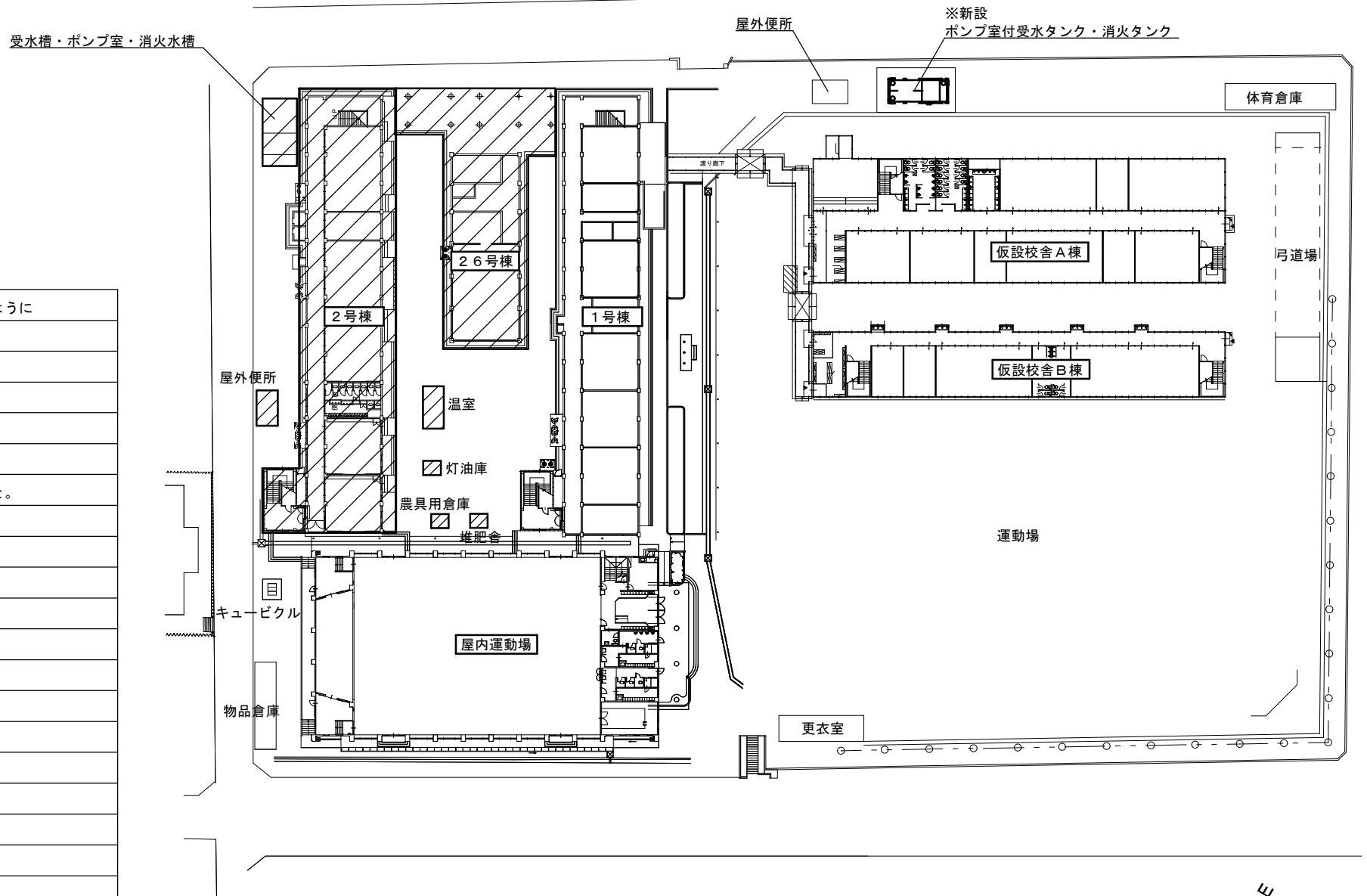
附近見取図 NO. SCALE

特 記 事 項


- |     |   |
|-----|---|
| 1)  | 本工事着手前に現地調査を十分に行い、使用中の校舎との取り扱いを配慮し、学校の運営に支障をきたさないよう<br>施工計画を作成し、監督員の承諾を得た後、安全対策に万全を期して施工すること。             |
| 2)  | 本工事にあたり、監督員及び学校管理者と十分協議して実施工程表を作成し、承諾を得た後作業を行うこと。<br>また、断水や騒音等により学校の運用に支障をきたさないように留意すること。                 |
| 3)  | 既存部を使用しながらの工事であることから、建物使用者の危害防止等には十分な安全・防災対策を立て、<br>学校管理者とも協議すること。また、作業員等に工事作業区域外に立ち入らないように徹底させること。       |
| 4)  | 工事施工に先立ち、工事の支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、学校管理者と協議すること。   |
| 5)  | 工事期間中は安全作業に努めると共に、火気にも十分注意して作業すること。<br>また、粉塵等の発生についても十分留意し、養生を確実に先行作業すること。                                |
| 6)  | 工事期間中に休日及び時間外作業をする場合は、事前に学校に連絡し承諾を得たのちに作業すること。  |
| 7)  | 工事現場事務所、材料置場及び作業車両の駐車スペースについては学校と協議すること。<br>また、敷地内の車両走行については、学校使用者の安全を確保し、必ず徐行を行うこと。                      |
| 8)  | 工事中に範囲外の部分を破損または汚損した場合は、監督員・学校と協議し原形復旧を行うこと。  |
| 9)  | 高所での作業時は、墜落防止用器具等を着用し、安全対策を実施すること。  |
| 10) | 掘削作業に着手する際は、既設埋設管（特に電気配管・配線）を調査し、十分注意して施工すること。<br>また、屋外埋設管については、既設配管の分岐を確認し、不明配管が発生した場合は監督員と協議を行うこと。      |
| 11) | 1) はつり工事の時は、構造や配筋、既設の打込み配管等に十分注意して施工を行うこと。<br>また、原則として原形復旧すること。   |
| 12) | 配管切替等の際は、各棟のエア抜きを実施し、学校運営に支障のないようにすること。   |
| 13) | 工事期間中は、防災・防犯関係が無警戒にならないように措置すること。また、作業員等に工事作業区域外に<br>立ち入らないように徹底させること。必要に応じて、未警戒範囲の対処について所轄消防署と事前打合せを行うこと |
| 14) | 別途工事との取合いは他業者と綿密に打合せの上、施工すること。  |
| 15) | 工事に伴う発生材の処理については、〔廃棄物の処理及び清掃に関する法律〕及び〔再生資源の利用の促進に関する<br>等の関係法規に基づき、適正に処理すると共に、マニフェストシステムを適用して管理を行うこと。     |
| 16) | 施工に伴い必要となる届出や手続き（道路使用・占有、消防設備着工・設置、給水装置・排水設備申請等）について<br>関係機関と協議の上、適切に行うこと。                                |
| 17) | 公道の掘削工事に際しては交通誘導警備員を配備すること。   |
| 18) | 本工事で使用する資材について、納期遅延等の恐れがある場合は、監督官に速やかに報告し協議すること。  |
| 19) | その他、施工や工程等に問題が発生した場合は速やかに監督員に連絡し、協議を行うこと。   |

## 工 事 概 要

- 1) 2号棟、26号棟他附属建物の解体に伴い、既設配管等の撤去、切離し及び切替を行う。
- 2) 受水槽・ポンプ室・消火水槽解体に伴い、ポンプ室付受水タンク・消火タンクを新設する。
- 3) 小形給水ポンプユニット及び消火ポンプユニットを新設し、新設する給水管、消火管を既設配管に接続する。
- 4) 2号棟、26号棟の解体に伴い、冷房機器の撤去を行う。
- 5) 上記工事内容を断水等発生させことなく、解体工事と工程の調整を行うこと。

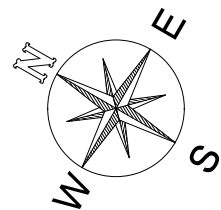


配置図 S = 1 : 800 (A3)

 : 解体建物を示す。



1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 <b>西栄設備事務所</b> 一級建築士 第 376369号 樋木 信彦	紫原中学校給排水その他設備改修工事		
	配置図・付近見取図	1/800	4
	鹿児島市建設局建築部設備課		全44



※既設  
ガスメーターNV15 (一般用)

※移設  
水道メーター50A (本設)

※移設  
ガスメーターNV16 (GHP用)

※既設  
ガスメーターNV10 (仮設校舎用)

ポンプ室付受水タンク・消火タンク

体育倉庫

弓道場

仮設校舎A棟

仮設校舎B棟

仮 設 消 火 器 本 数 表

棟 名	階 数	消火栓数	仮設消火器数	備 考
1号棟	4	8	16	
屋内運動場	2	3	6	
		計	22	

※消火ポンプユニット改修期間は、既設屋内消火栓の設置場所に消火器(10型)を2本設置すること。

※既設  
水道メーター50A (散水用)

運動場

更衣室

改修後屋外配管図(全体) S=1:500 (A3)

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式 西栄設備事務所  
会社 一級建築士 第376369号  
榎木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

改修後屋外配管図(全体)

1/500

5

鹿児島市建設局建築部設備課

全44



配管凡例表（改修後）

記 号	名 称	規 格 ・ 仕 様		
―― ―――	給水管	屋外埋設 (本管引込～水道メーター)	水道用ポリエチレン二層管	P N
		屋外埋設（５０φ以下）	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	H I V P
		屋外埋設（６５φ以上）	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	S G P－V D
		屋内一般	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	S G P－V B
――――	排水管	屋外埋設（第１樹迄）	硬質ポリ塩化ビニル管	V P
		屋外埋設（樹間）	硬質ポリ塩化ビニル管	V U
		屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管	V P
―― ―――	通気管	屋外埋設	硬質ポリ塩化ビニル管	V P
		屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管	V P（露出部V C）
―― G ―――	ガス管	屋外埋設	ガス用ポリエチレン管	P E
		屋内一般	外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	V I
―― X ―――	消火管	屋外埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	S G P－V S
		屋内一般	配管用炭素鋼鋼管（白）	S G P（白）
□	埋設表示柱	屋外（土部分）	コンクリート製	
●	地中埋設標	屋外（舗装部分）	鉄製（キャッツアイ）	

※ガス管の配管材についてガス事業者の供給規定によること。  
※給水管（SGP－VB）に取り付ける弁等は、管端防食ねじ込み形の給水用とすること。

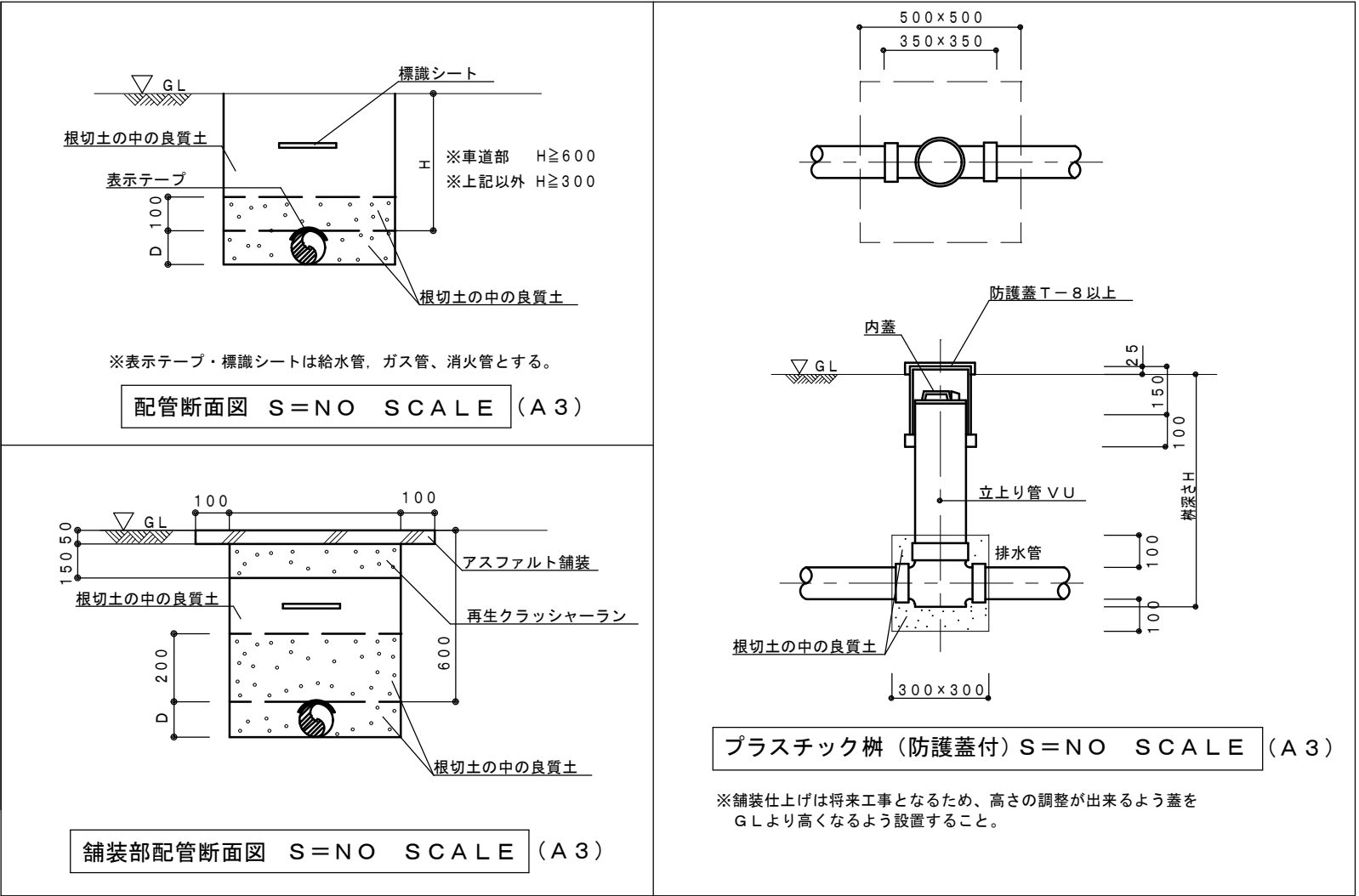
樹リスト（改修後）

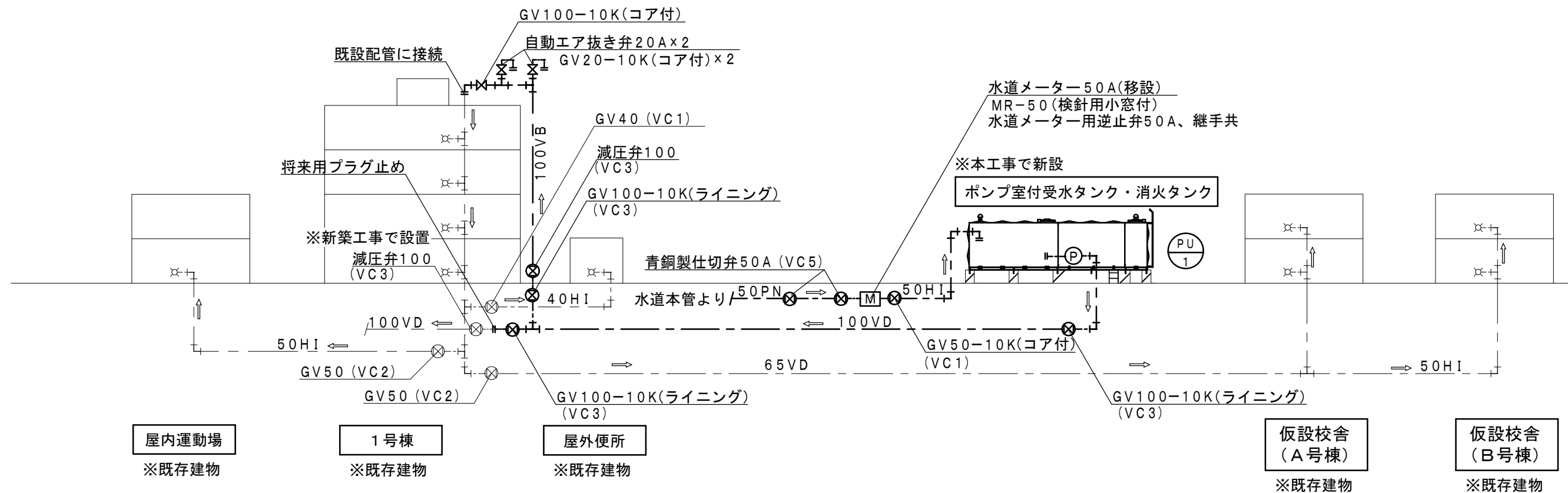
記 号	名 称	サ イ ズ	樹 深 さ (管 底)	蓋 種 別	区 分		コンクリート 根巻
					新設	撤去	
①	プラスチック樹（排水樹）	100×150（90L）	600	塩ビ蓋	○		
②	プラスチック樹（排水樹）	100×150（45Y）	630	塩ビ蓋	○		
③	プラスチック樹（排水樹）	100×150（45Y）	680	塩ビ蓋	○		
④	プラスチック樹（排水樹）	100×150（45Y）	800	塩ビ蓋	○		
⑤	プラスチック樹（排水樹）	125×200（45Y）	970	塩ビ蓋	○		
⑥	プラスチック樹（排水樹）	125×200（90L）	1,020	防護蓋（内蓋共）	○		
⑦	プラスチック樹（排水樹）	125×200（90L）	1,030	防護蓋（内蓋共）	○		
⑧	プラスチック樹（排水樹）	125×200（45Y）	1,080	防護蓋（内蓋共）	○		
⑨	プラスチック樹（排水樹）	125×200（90L）	1,110	防護蓋（内蓋共）	○		
⑩	プラスチック樹（排水樹）	125×200（45Y）	1,150	防護蓋（内蓋共）	○		
⑪	プラスチック樹（排水樹）	125×200（45Y）	1,170	防護蓋（内蓋共）	○		
⑫	プラスチック樹（排水樹）	125×200（ST）	1,270	防護蓋（内蓋共）	○		
⑬	プラスチック樹（排水樹）	125×200（ST）	1,290	塩ビ蓋	○		
⑭	プラスチック樹（排水樹）	125×200（ST）	1,370	塩ビ蓋	○		
⑮	プラスチック樹（排水樹）	125×200（ST）	1,460	塩ビ蓋	○		
⑯	プラスチック樹（排水樹）	150×200（45Y）	1,550	塩ビ蓋	○		
⑰	プラスチック樹（排水樹）	150×200（ST）	1,620	塩ビ蓋	○		

※プラスチック樹はコンクリート根巻を施す。  
※樹蓋はSUS製鎖付とする。

保温・塗装仕様一覧（改修後）

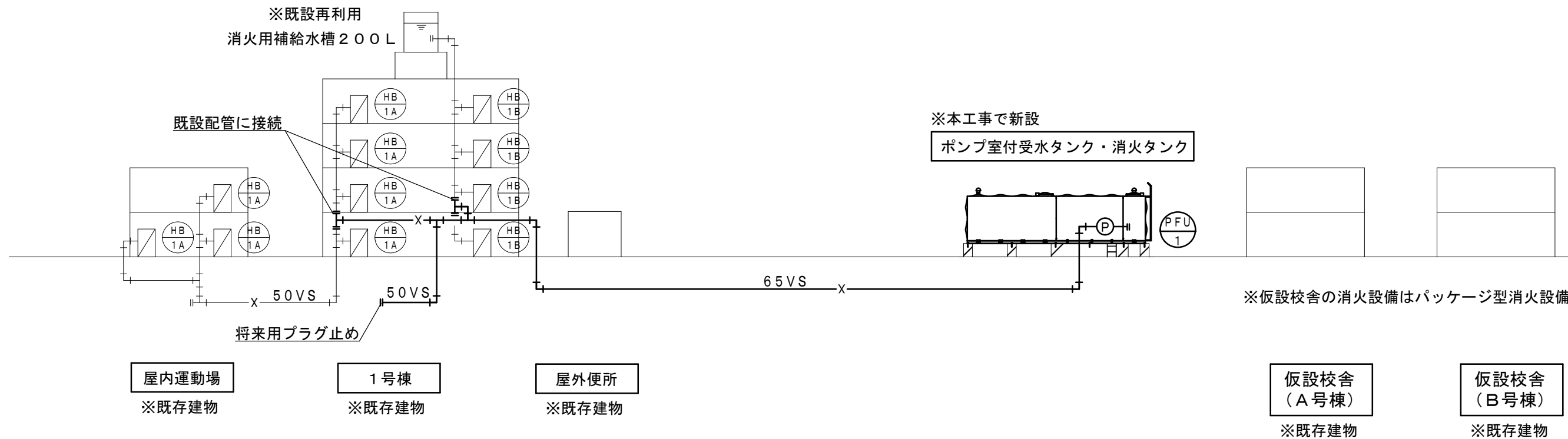
施工場所	工事種別					
	給水	排水	通気	ガス	消火	
屋外埋設	C	C	－	C	C	
屋内露出（ポンプ室以外）	H	H	－	－	D	
天井内	B	B	－	－	C	
屋外露出	A	－	C	－	D	
ポンプ室内	B	－	－	－	C	
保温・塗装仕様						
A 保温（外装 ステンレス） B 保温（外装 アルミガラスクロス） C 保温、塗装なし D 調合ペイント（塩ビ管：OP2回） （鋼管：エッチングプライマー＋錆止め＋OP2回）			E 保温チューブ巻 F 耐熱保温チューブ巻 G 保温化粧カバー H 保温（外装 合成樹脂カバー2） I 保温（外装 カラー亜鉛鉄板）			





給水設備系統図 (改修後) S=NO SCALE (A3)

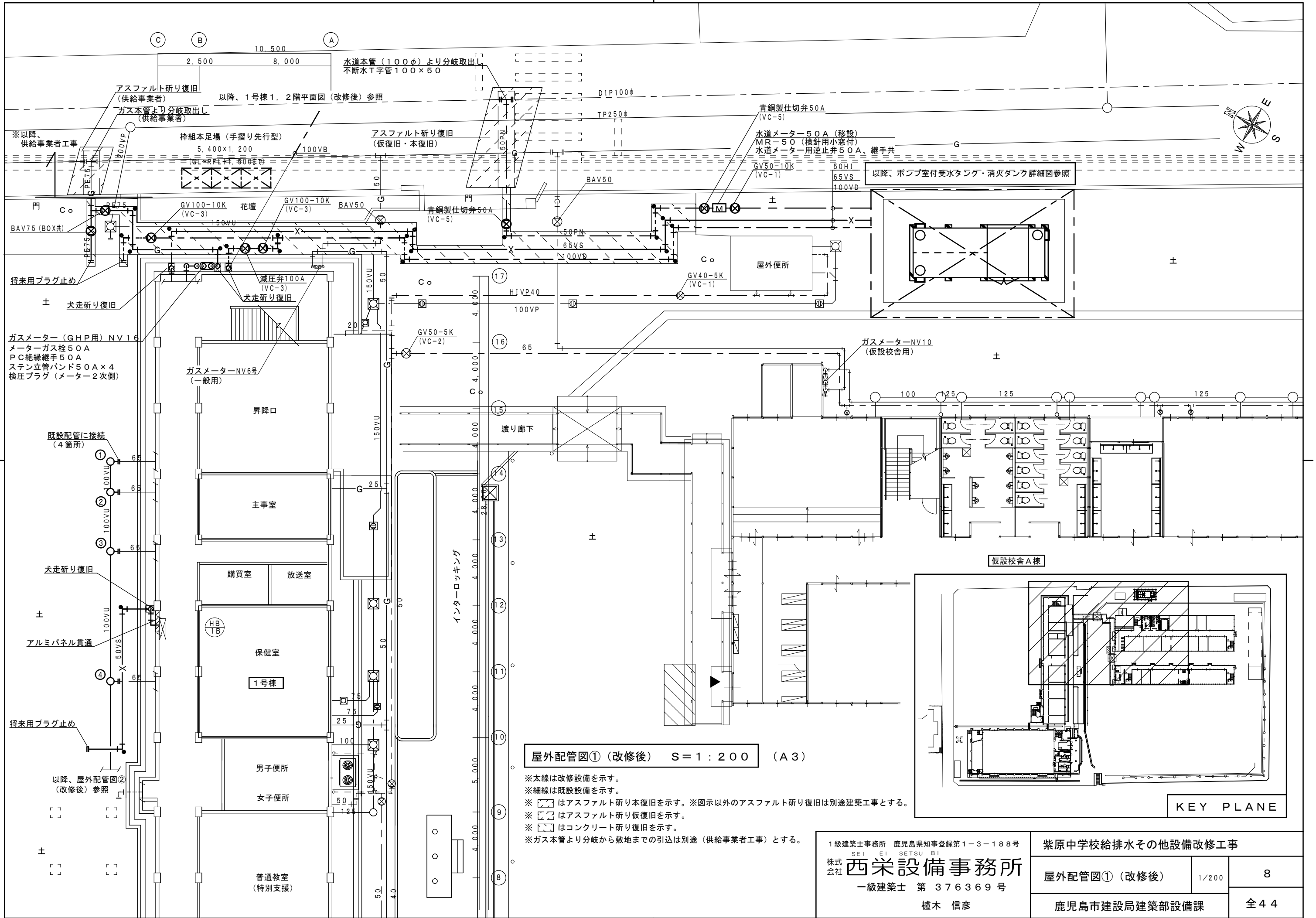
※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。



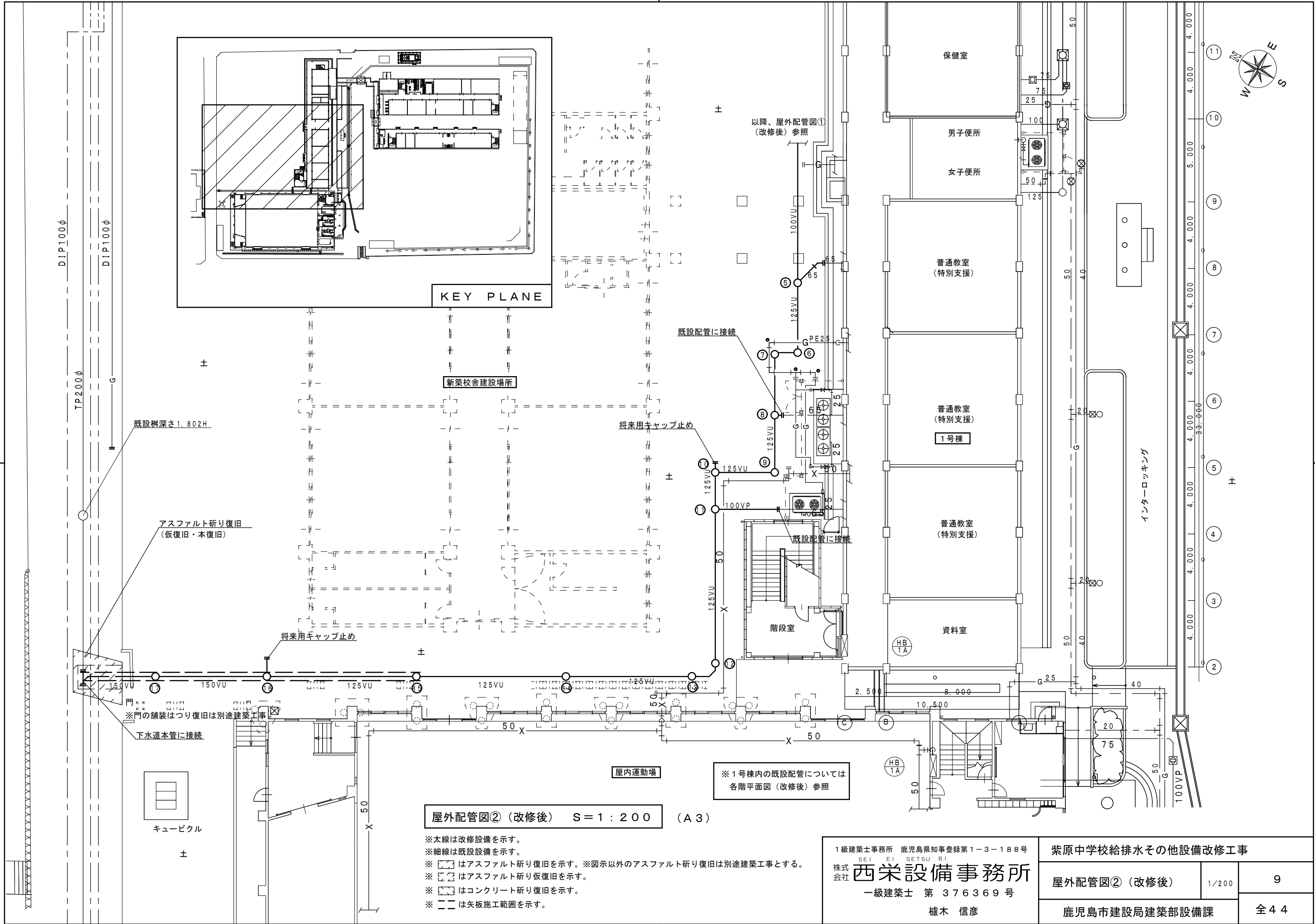
消火設備系統図 (改修後) S=NO SCALE (A3)

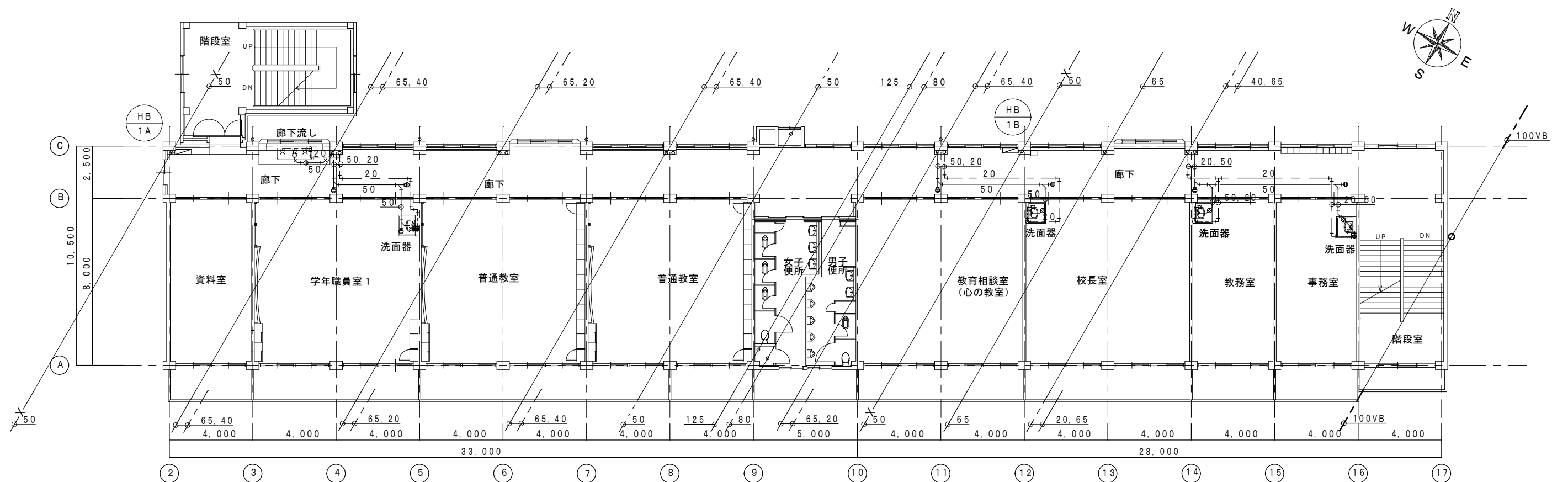
※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 SEI EI SETSU BI 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第 376369号 樋木 信彦		紫原中学校給排水その他設備改修工事		
給水・消火設備系統図 (改修後)		No Scale	7	
鹿児島市建設局建築部設備課		全44		





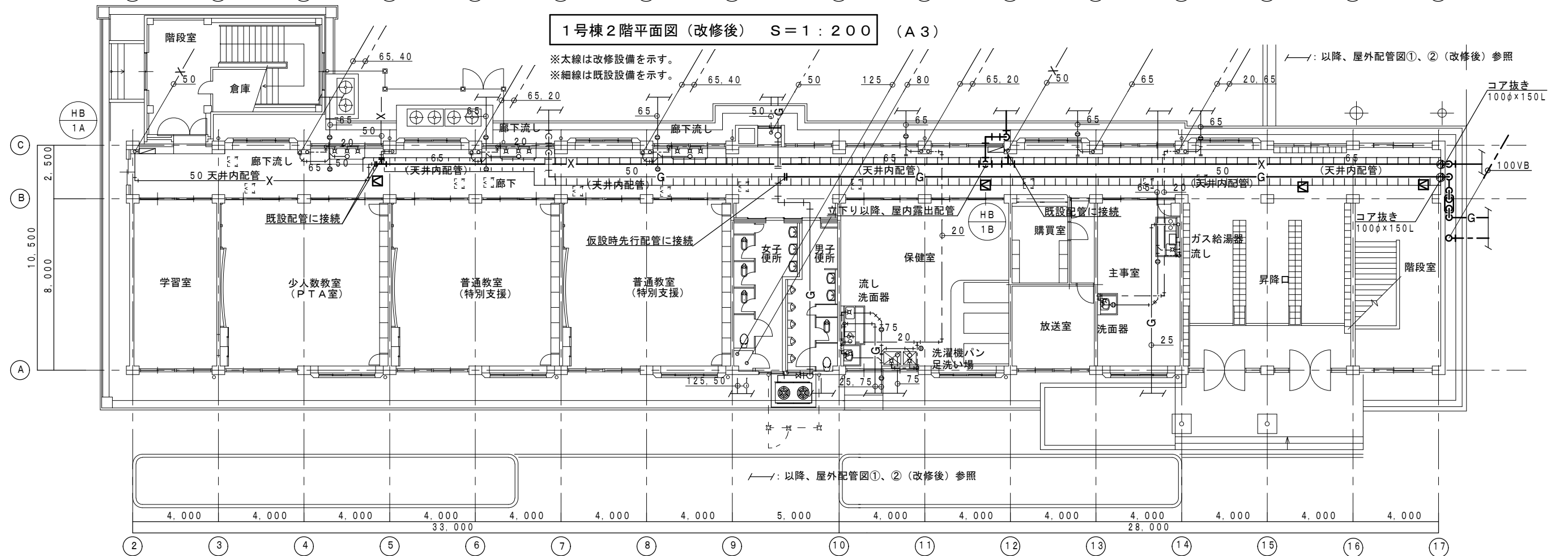




1号棟2階平面図（改修後） S=1:200 (A3)

※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

—/: 以降、屋外配管図①、②（改修後）参照



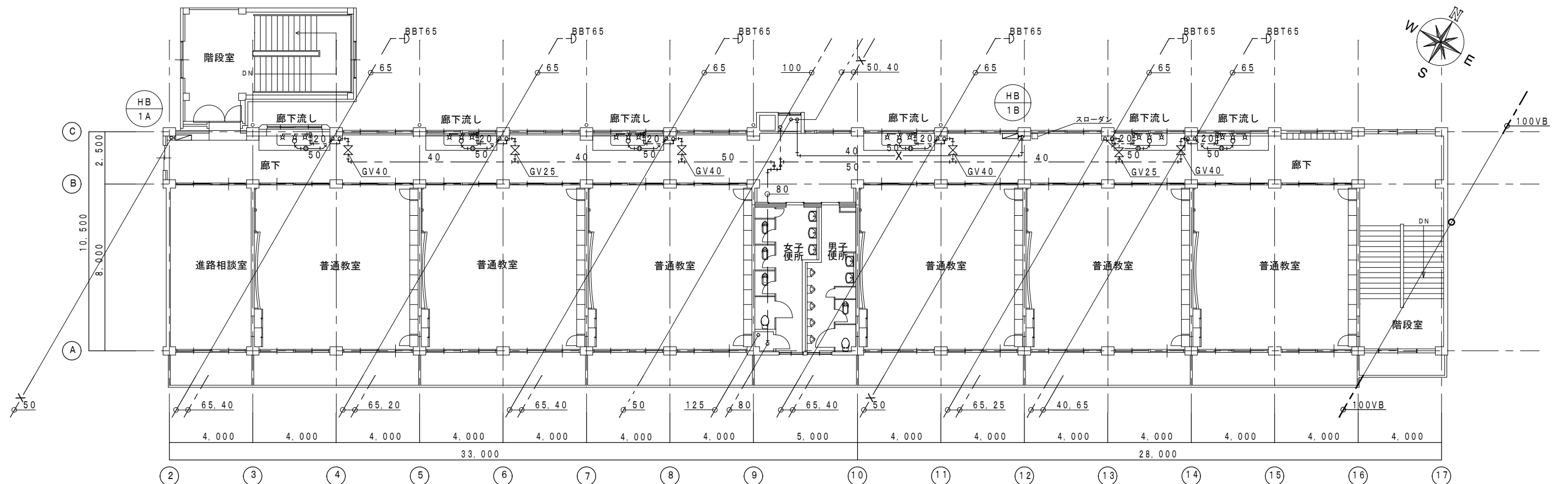
1号棟1階平面図（改修後） S=1:200 (A3)

※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。  
※は天井撤去復旧を示す。

※は新設天井点検口を示す。  
※は既設天井点検口を示す。

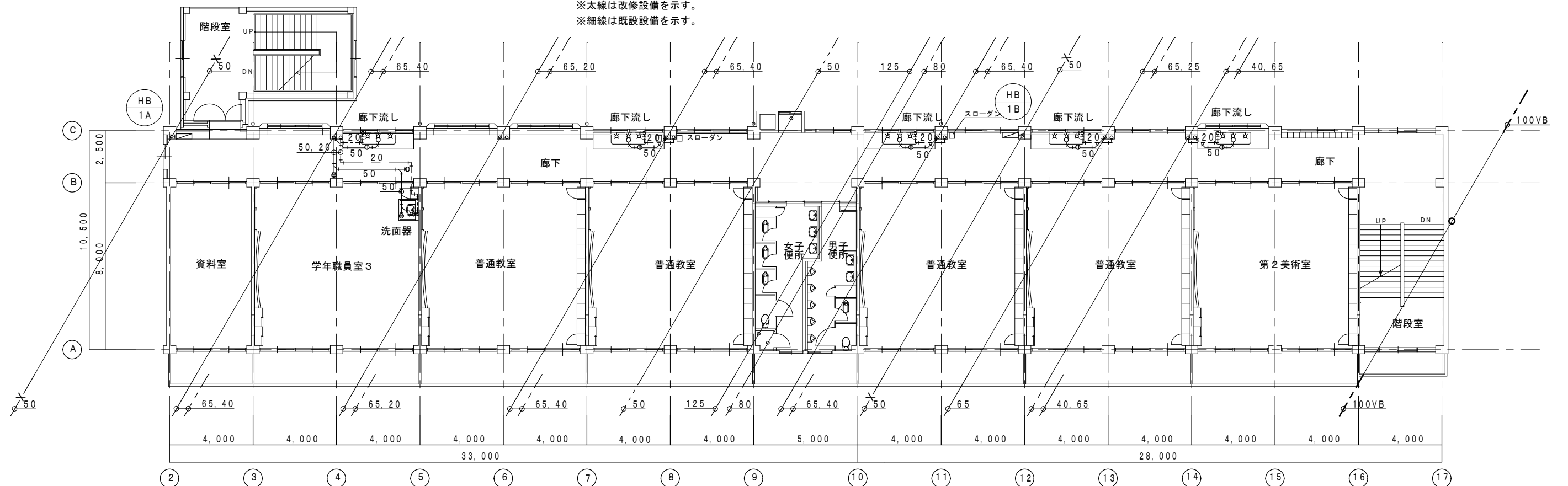
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第 376369号  
植木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事  
1号棟1, 2階平面図（改修後） 1/200  
鹿児島市建設局建築部設備課 全44



1号棟4階平面図（改修後） S=1：200 （A3）

※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。



1号棟3階平面図（改修後） S=1：200 （A3）

※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

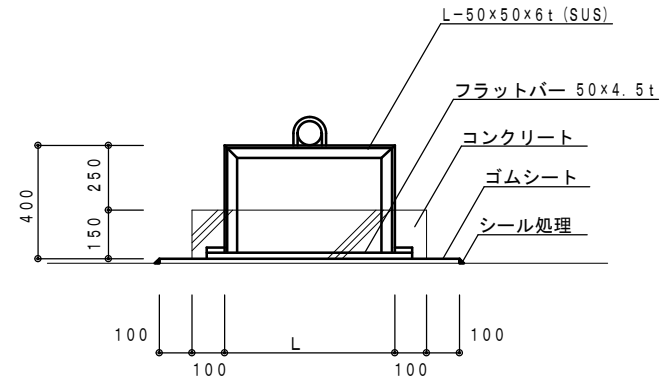
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 樋木 信彦		紫原中学校給排水その他設備改修工事	
1号棟3, 4階平面図（改修後）		1/200	11
鹿児島市建設局建築部設備課		全44	

衛生設備機器表 (改修後)

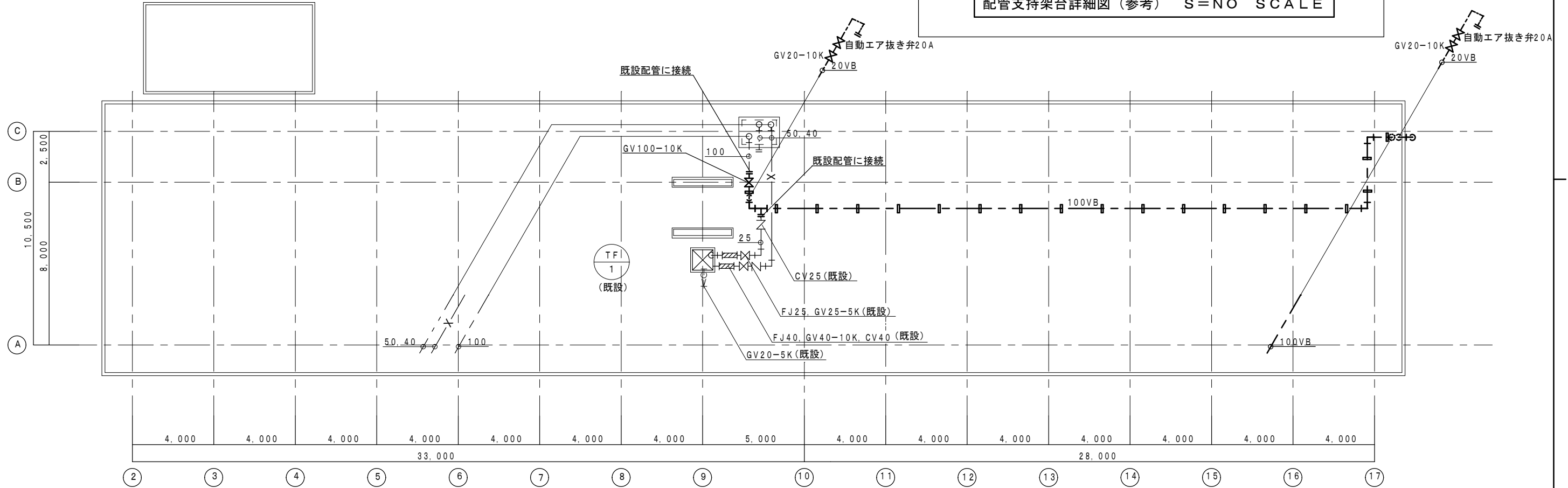
記 号	名 称	仕 様	数量	設置場所	備 考
TF 1	消火用充水タンク ※既設	型 式：耐熱FRP製	1	R階	
		有効容量：200L			
		付属品：鋼製架台 H=300 (溶融亜鉛メッキ)			

支持架台リスト

	L	数量
①	400	19



配管支持架台詳細図 (参考) S=NO SCALE



1号棟屋上平面図 (改修後) S=1:200 (A3)

※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

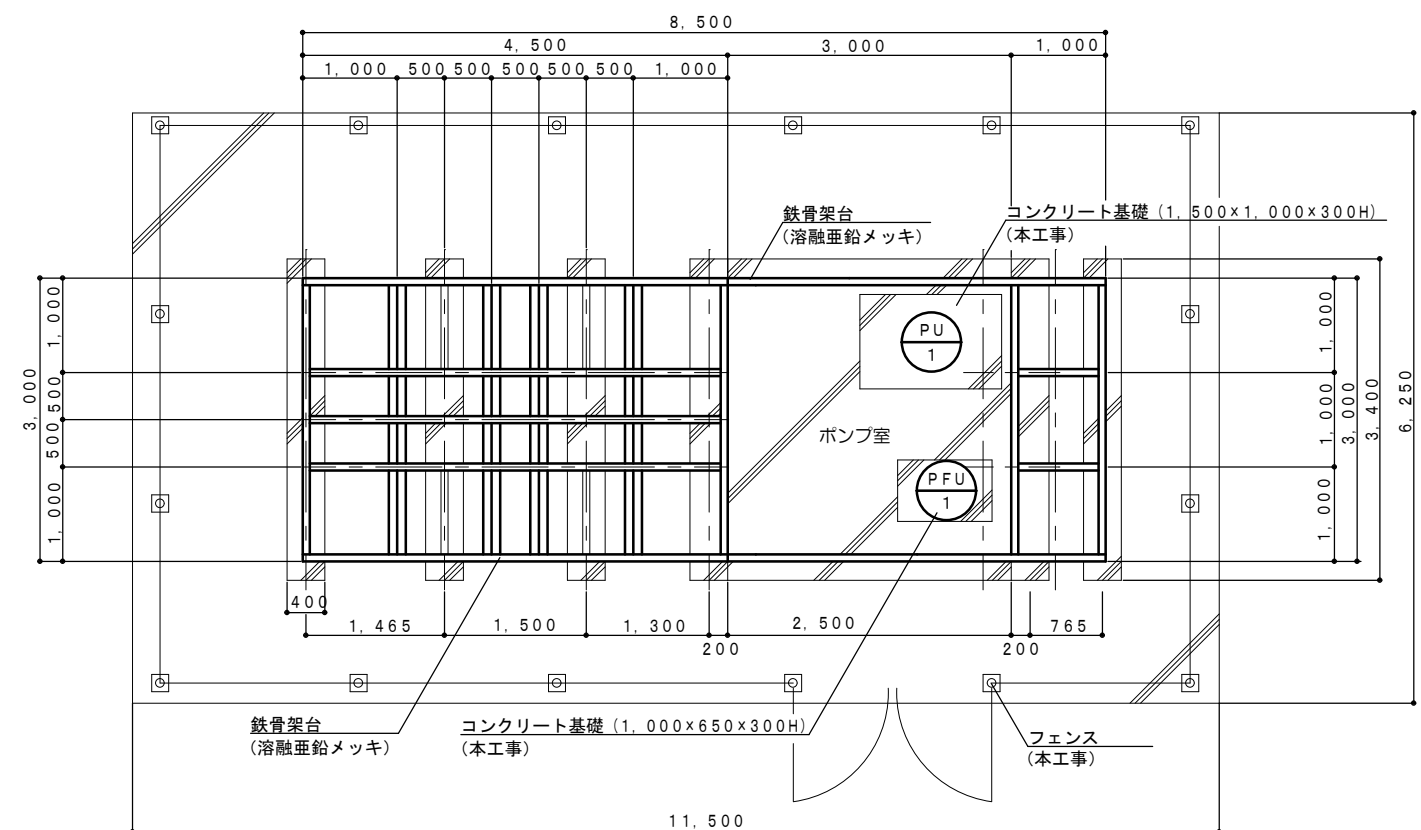
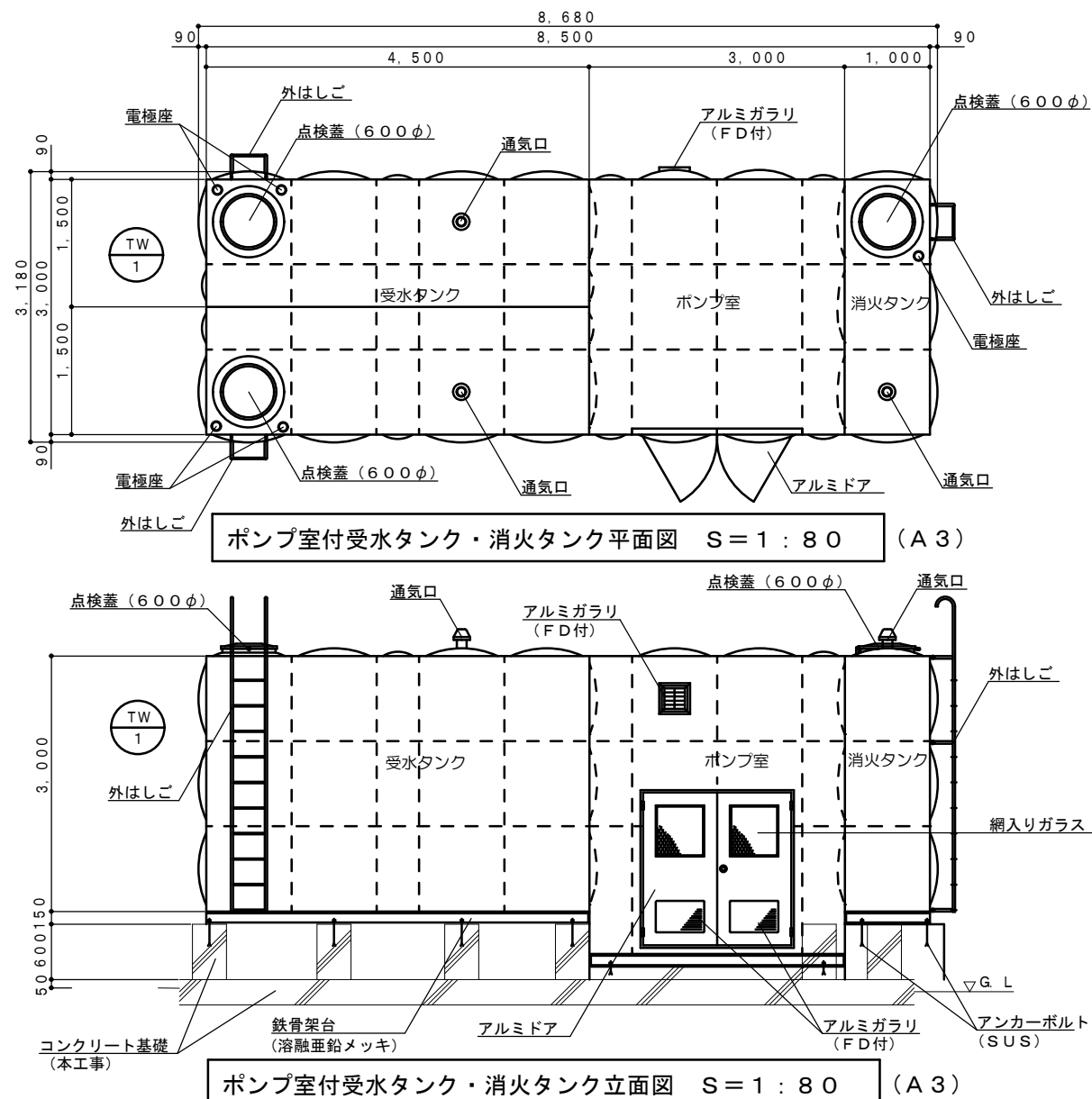
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式 西栄設備事務所  
会社 一級建築士 第376369号  
樋木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

1号棟屋上平面図 (改修後)	1/200	12
鹿児島市建設局建築部設備課		全44

## 衛生設備機器表

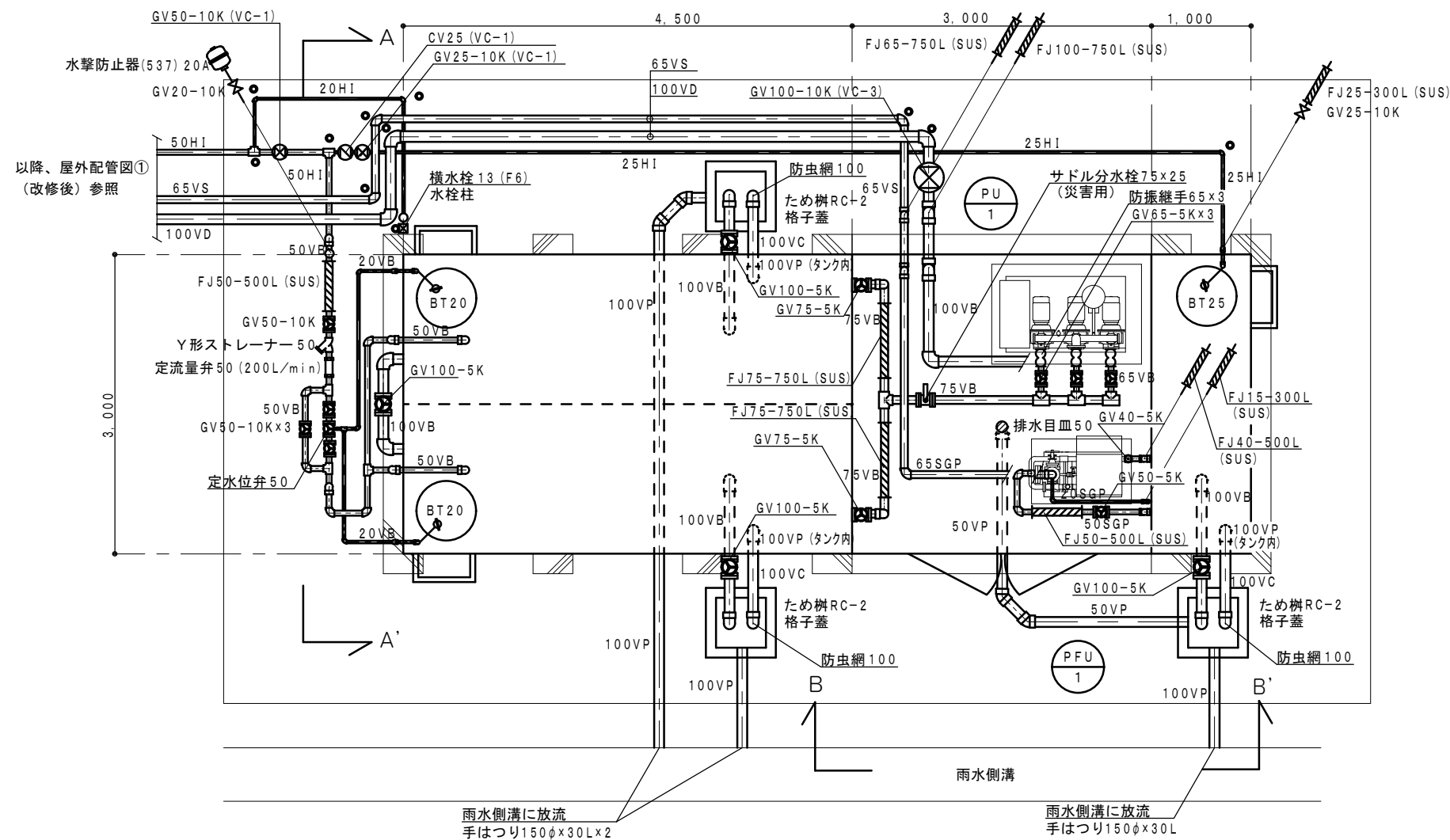
記 号	名 称	仕 様	電 気 特 性			数量	設置場所	備 考	
			φ	V	kW				
<div><div>TW</div><div>1</div></div>	ポンプ室付 受水タンク・消火タンク	型 式：ステンレス鋼板製パネルタンク（単板） 溶接組立て 防眩塗装仕様（側面・上面） 設計水平震度：1. 5G 参考寸法： 8. 5m (W) ×3. 0m (D) ×3. 0m (H)				1	屋外	コンクリート基礎は本工事 気相部：SUS329JAL 液相部：SUS304、SUS316 又はSUS444	
		受水タンク							
		有効容量：26. 0m <sup>3</sup> (呼称容量：40. 5m <sup>3</sup> ) 参考寸法： 4. 5m (W) ×3. 0m (1. 5m+1. 5m) (D) ×3. 0m (H) 、2槽式							
		付属品 ： 点検蓋600φ×2（鍵付）、通気管×2（防虫網付、防鳥カバー付）、内外はしご×2、波板防止管×2、電極座×4（カバー共）、鉄骨架台（溶融亜鉛メッキ）※公共建築工事標準仕様							
		消火タンク							
		有効容量：6. 3m <sup>3</sup> (呼称容量：9. 0m <sup>3</sup> ) 参考寸法： 1. 0m (W) ×3. 0m (D) ×3. 0m (H)							
		付属品 ： 点検蓋600φ（鍵付）、通気管（防虫網付、防鳥カバー付）付）、内外はしご、波板防止管、電極座（カバー共） ※公共建築工事標準仕様							
		ポンプ室							
		参考寸法： 3. 0m (W) ×3. 0m (D) ×3. 5m (H) 段落ち 付属品 ： 扉（鍵付）、換気ガラリ（FD付）							
<div><div>PU</div><div>1</div></div>	小形給水ポンプユニット	運転方式：3台ローテーション2台並列運転 材 質：ステンレス製	3	200	5. 5×2	1	TW－1ポンプ室	コンクリート基礎は本工事	
		能 力：100φ×65φ×867L／min×36m(末端圧力推定制御)							
		付属品 ： 圧力計、連成計、圧力タンク、その他付属品一式、制御盤（漏電警報、受水槽満減警報）※公共建築工事標準仕様、2槽式受水槽用流入電磁弁切替盤							
<div><div>PFU</div><div>1</div></div>	消火ポンプユニット	能 力：65φ×50φ×300L／min×42m 材 質：ステンレス製 消防認定品	3	200	5. 5	1	TW－1ポンプ室	コンクリート基礎は本工事	
		付属品 ： 圧力計、連成計、流量計、GV、CV、フレキシブルジョイント、流量調整装置、常時迷し配管オリフィス、性能試験配管、その他付属品一式							
		制御盤（漏電警報、消火水槽満減警報、補給水槽満減警報）、起動装置内蔵型 ※公共建築工事標準仕様							



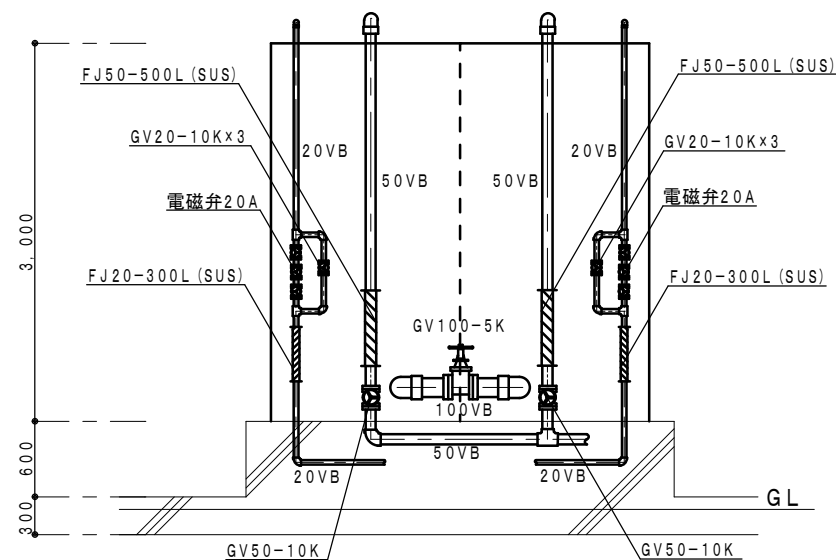
ポンプ室付受水タンク・消火タンク基礎・鉄骨架台詳細図 S=1:80 (A3)

※鉄骨架台は本工事とする。  
 ※コンクリート基礎及びフェンスは本工事（基礎詳細図参照）とする。  
 ※コンクリート基礎及びアンカーボルトの施工については公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）施工26による。

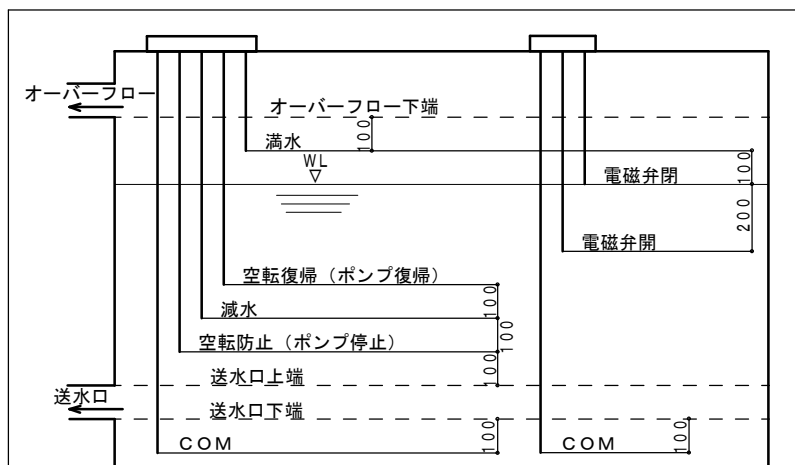
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 <small>SEI EI SETSU BI</small> <b>西栄設備事務所</b> 一級建築士 第 376369号 樋木 信彦	紫原中学校給排水その他設備改修工事		
	ポンプ室付受水タンク ・消火タンク詳細図(1)	1/80	13
	鹿児島市建設局建築部設備課		全44



ポンプ室付受水タンク・消火タンク平面詳細図 S = 1 : 6 0 ( A 3 )

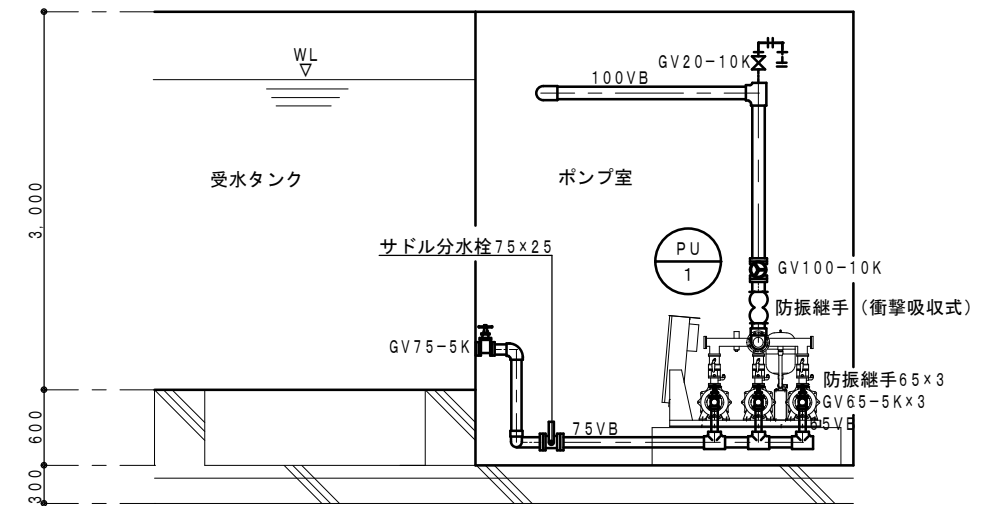


ポンプ室付受水タンク・消火タンク A - A ' 断面詳細図 S = 1 : 6 0 ( A 3 )

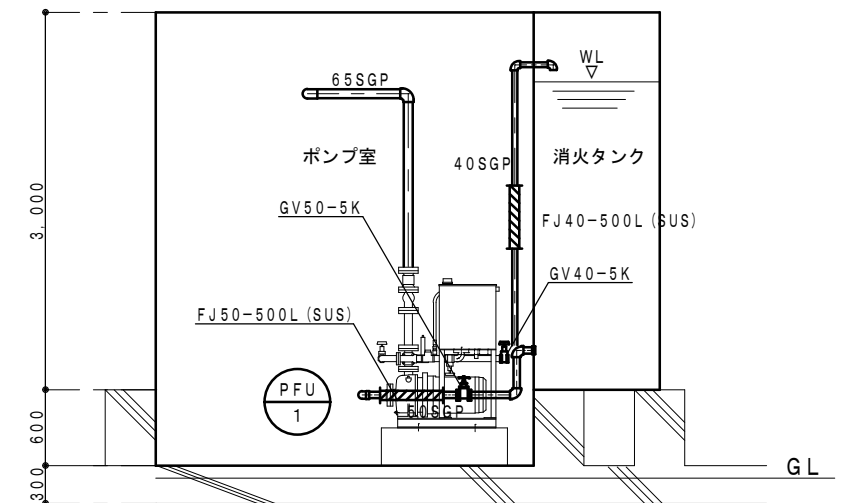


受水タンク電極棒長さ設定基準 (参考)

※消火タンクの電極棒長さも同様。ただし満水、減水、COMのみとする。



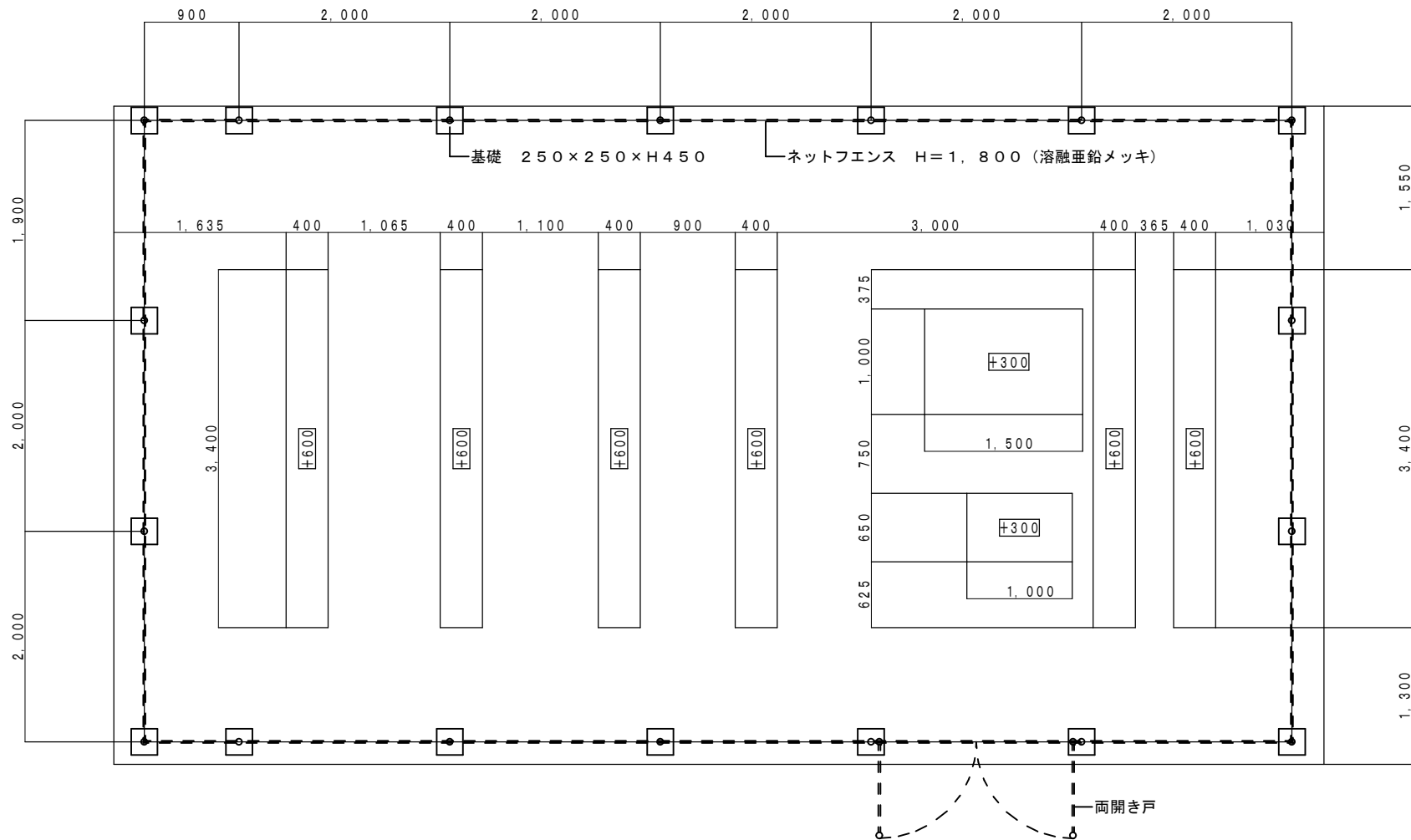
小型給水ポンプユニット廻り B - B ' 断面詳細図 S = 1 : 6 0 ( A 3 )



消火ポンプユニット廻り B - B ' 断面詳細図 S = 1 : 6 0 ( A 3 )

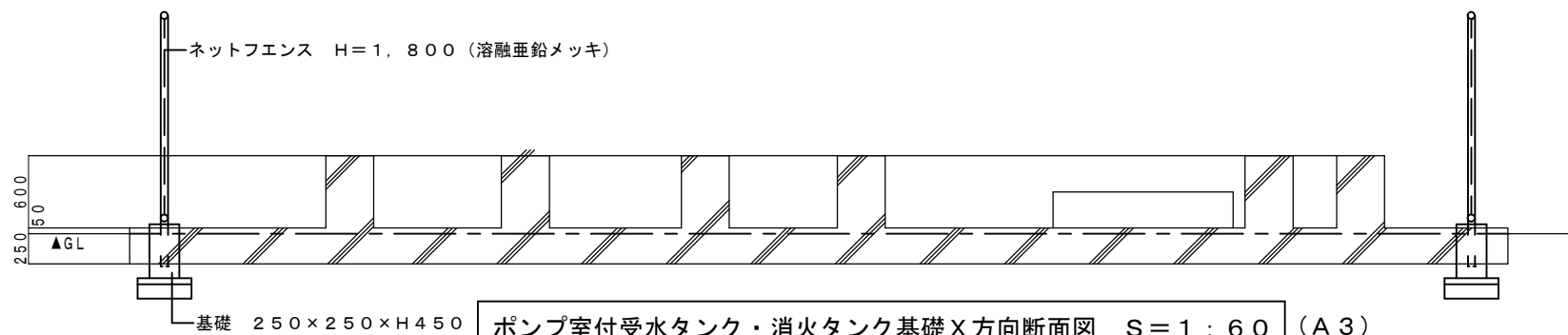
1 級建築士事務所 鹿児島県知事登録第 1 - 3 - 1 8 8 号 SEI EI SETSU BI 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第 3 7 6 3 6 9 号 樋木 信彦			紫原中学校給排水その他設備改修工事		
ポンプ室付受水タンク ・消火タンク詳細図 ( 2 )			1 / 6 0	1 4	
			全 4 4		
鹿児島市建設局建築部設備課					



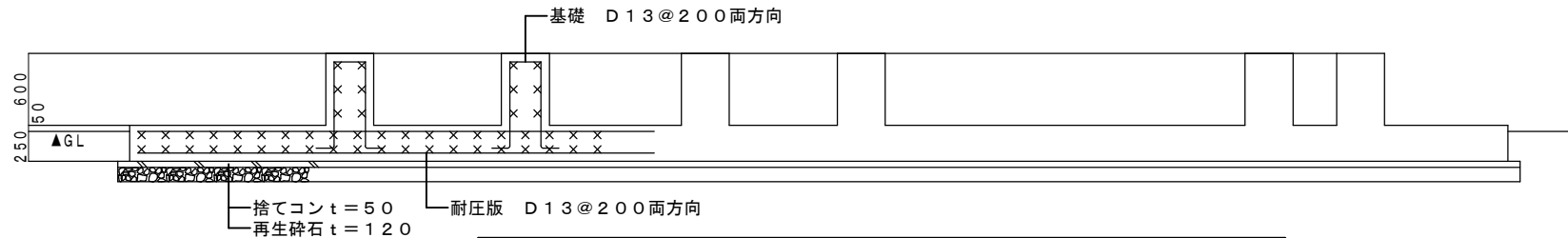


ポンプ室付受水タンク・消火タンク基礎平面図 S=1:60 (A3)

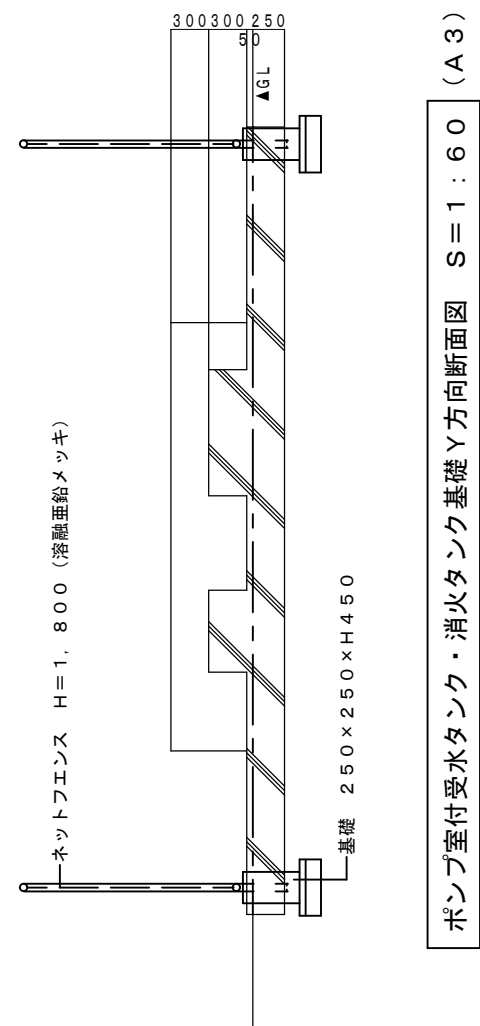
凡例) +000: 数値は耐圧版天端 (GL+50) からの高さを示す。



ポンプ室付受水タンク・消火タンク基礎X方向断面図 S=1:60 (A3)



ポンプ室付受水タンク・消火タンク基礎X方向配筋図 S=1:60 (A3)



ポンプ室付受水タンク・消火タンク基礎Y方向断面図 S=1:60 (A3)

※特記なき限り令和4年版建築工事共通仕様書参照 (国土交通大臣官房庁営繕部監修)

共通事項				
	使用箇所	設計基準強度	調合管理強度	
	躯体	$F_c=18\text{N/mm}^2$	気温 $\theta^\circ\text{C}$ $0 \leq \theta < 8$	$F_q=24\text{N/mm}^2$
			気温 $\theta^\circ\text{C}$ $8 \leq \theta$	$F_q=21\text{N/mm}^2$
	捨コン	$F_c=18\text{N/mm}^2$		
単位水量 最大値は、 $185\text{kg/m}^3$ とする				
単位セメント量 最小値は、 $270\text{kg/m}^3$ とする				
水セメント比 最大値は、65%とする				
AE剤, AE減水剤を用いるコンクリートの所要空気量の目標値は、4.5%とする				
コンクリートに含まれる塩化物の含有量は、塩化イオン量で $0.3\text{kg/m}^3$ 以下とする				
コンクリートは、アルカリ骨材反応を生じるおそれのないものとする				
鉄筋 D13 (SD295A)				

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
樋木 信彦

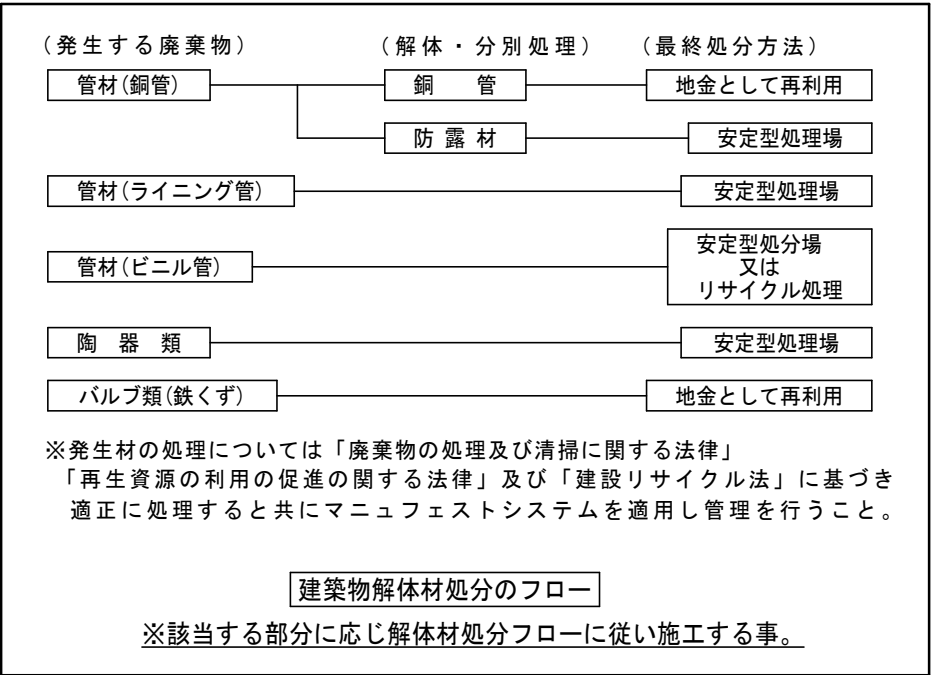
紫原中学校給排水その他設備改修工事

ポンプ室付受水タンク ・消火タンク基礎詳細図	1/60	15
鹿児島市建設局建築部設備課		全44



配管凡例表（改修前）

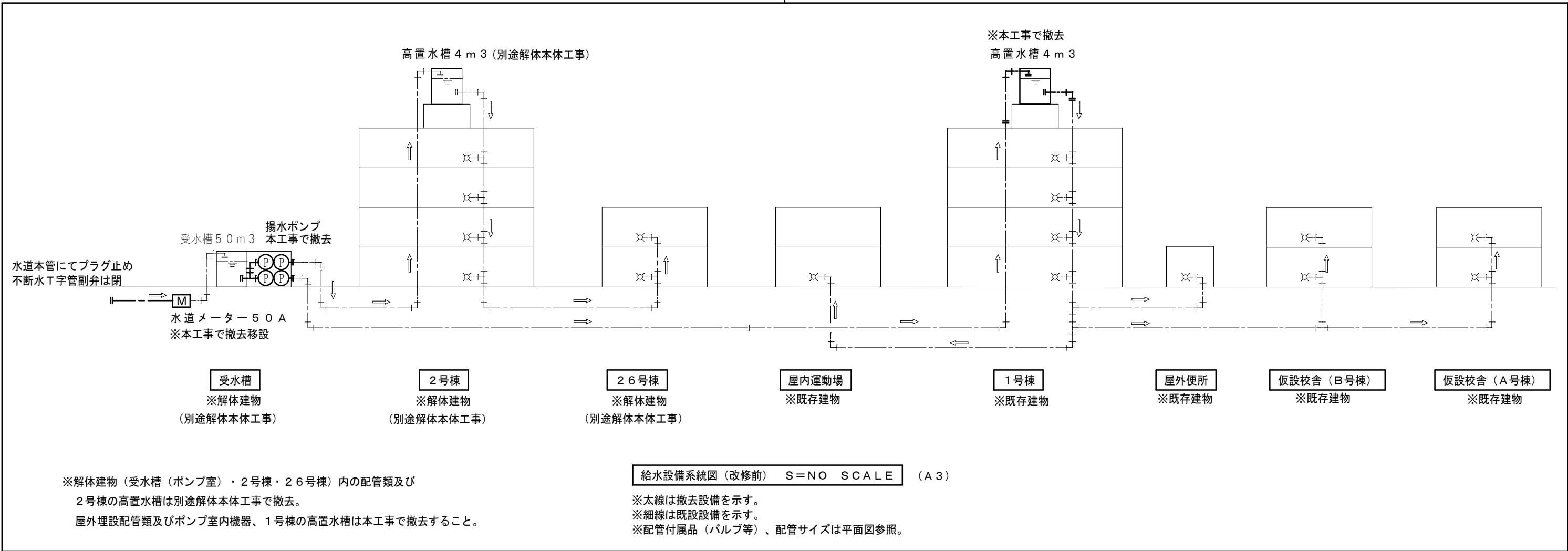
記 号	名 称	規 格 ・ 仕 様		
— - —	給水管	屋外埋設	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	H I V P
		屋外埋設（水道メーターまで）	内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	S G P - V D
	揚水管	屋内一般	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	S G P - V B
— — — —	排水管	屋外埋設（第 1 柵迄）	硬質ポリ塩化ビニル管	V P
		屋外埋設（柵間）	硬質ポリ塩化ビニル管	V U
		屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管	V P
— X —	消火管	屋外埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（白）	S G P - V S
		屋内一般	配管用炭素鋼鋼管（白）	S G P - Z N
— G —	ガス管	屋外埋設	ポリエチレン外面被覆鋼管	
		屋内一般	硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（白）	S G P - V S



機 器 表（改修前） 受水槽ポンプ室内 ポンプ撤去：本工事

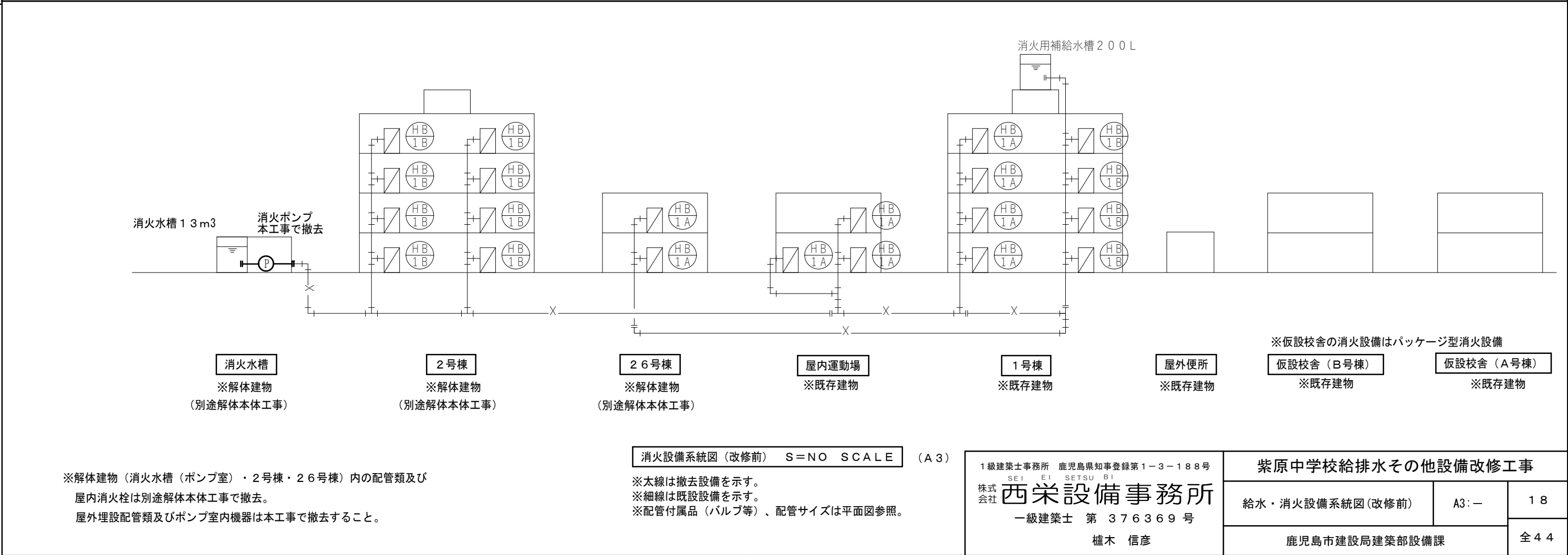
記 号	名 称	機 器 仕 様	数量
<div><div>P W</div><div>1</div></div>	揚水ポンプ立型渦巻	5 0 φ × 1 8 0 L / m i n × 4 0 m × 3 . 7 k w - 3 φ 2 0 0 V 外ネジスルース弁、スモレンスキーチャッキ弁 圧力計、ストレーナー (参考重量 4 6 kg 2 7 0 H × 5 2 5 W × 2 7 0 D )	4
<div><div>P F</div><div>1</div></div>	消火ポンプユニット	8 0 φ × 7 5 0 L / m i n × 5 3 m × 1 1 k w - 3 φ 2 0 0 V 外ネジスルース弁、スモレンスキーチャッキ弁 ステンレスフレキ 5 0 0 L、圧力計、連成計 性能試験用流量計、性能試験用バルブ ストレーナー、水温上昇防止用オリフィス (参考重量 3 1 3 kg 1 2 5 0 H × 1 2 0 0 W × 4 7 0 D )	1

撤去工事項目	建 築	本工事	備 考
機器類（ポンプ類）		○	
配管類（屋外）	○	○	引込部、栓止め、切替埋設部（図示）：本工事
配管類（屋内）	○		校舎内・ポンプ室内
衛生器具・タンク類	○		2号棟高置水槽・受水槽
1号棟高置水槽		○	



※解体建物（受水槽（ポンプ室）・2号棟・26号棟）内の配管類及び  
2号棟の高置水槽は別途解体本体工事で撤去。  
屋外埋設配管類及びポンプ室内機器、1号棟の高置水槽は本工事で撤去すること。

給水設備系統図（改修前） S=NO SCALE (A3)  
※太線は撤去設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。  
※配管付属品（バルブ等）、配管サイズは平面図参照。

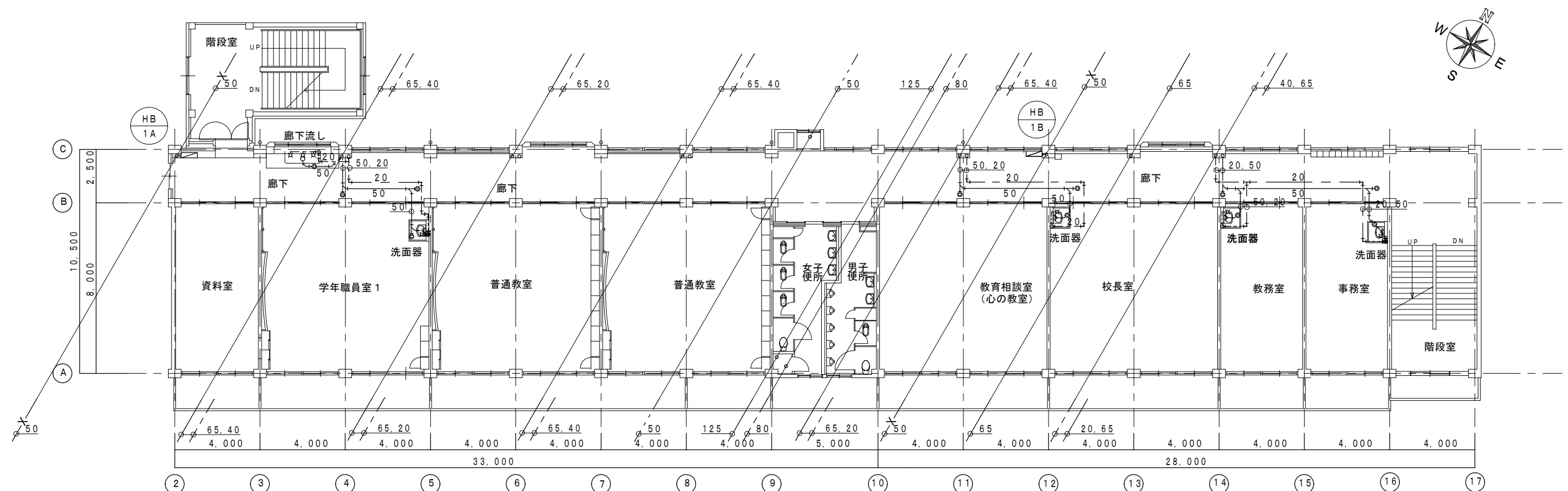


※解体建物（消火水槽（ポンプ室）・2号棟・26号棟）内の配管類及び  
屋内消火栓は別途解体本体工事で撤去。  
屋外埋設配管類及びポンプ室内機器は本工事で撤去すること。

消火設備系統図（改修前） S=NO SCALE (A3)  
※太線は撤去設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。  
※配管付属品（バルブ等）、配管サイズは平面図参照。

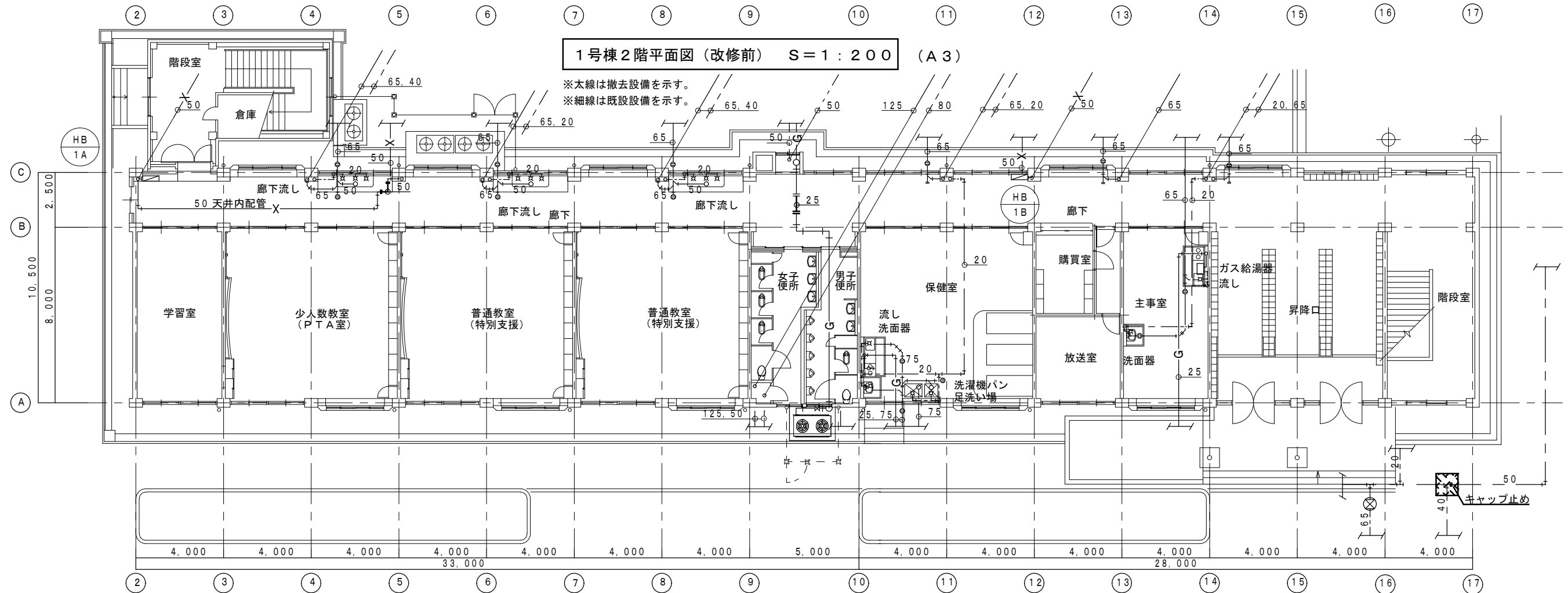
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 樋木 信彦			紫原中学校給排水その他設備改修工事		
給水・消火設備系統図(改修前)		A3:—	18		
鹿児島市建設局建築部設備課			全44		






1号棟2階平面図(改修前) S=1:200 (A3)

※太線は撤去設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。



1号棟1階平面図(改修前) S=1:200 (A3)

※太線は撤去設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。  
※  はコンクリート舗装研り復旧範囲を示す。

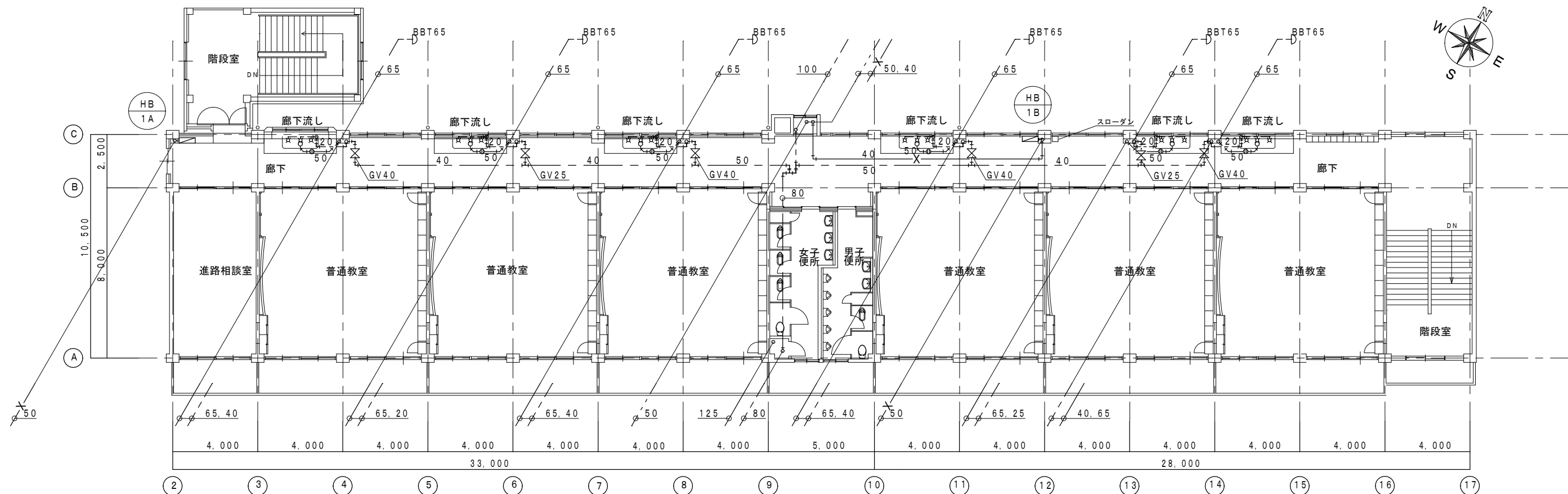
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
植木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

1号棟1, 2階平面図(改修前) 1/200 20

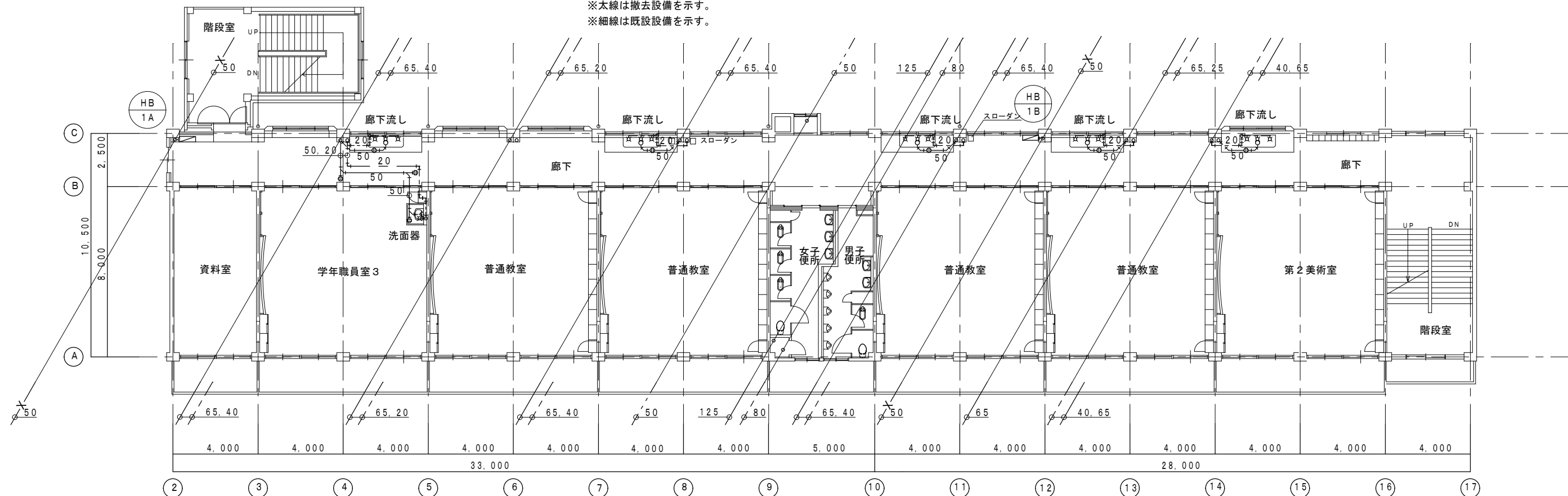
鹿児島市建設局建築部設備課 全44





1号棟4階平面図（改修前） S=1：200 （A3）

※太線は撤去設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。



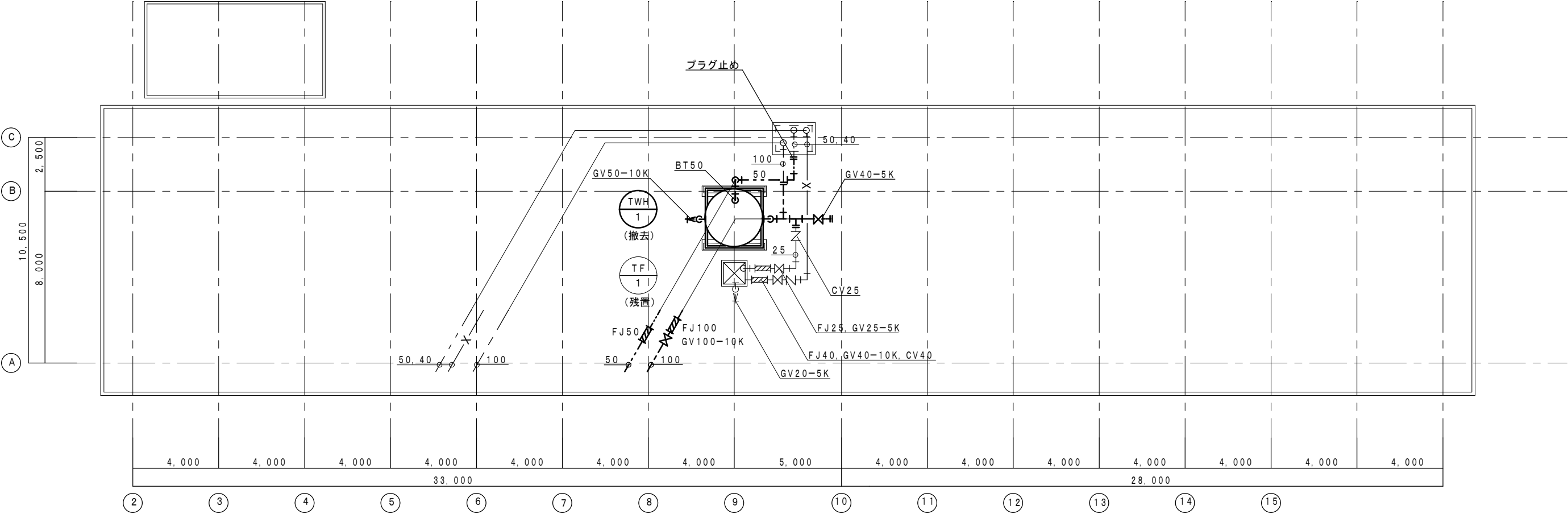
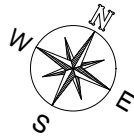
1号棟3階平面図（改修前） S=1：200 （A3）

※太線は撤去設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 樋木 信彦		紫原中学校給排水その他設備改修工事	
1号棟3, 4階平面図（改修前）		1/200	21
鹿児島市建設局建築部設備課		全44	

衛生設備機器表 (撤去)

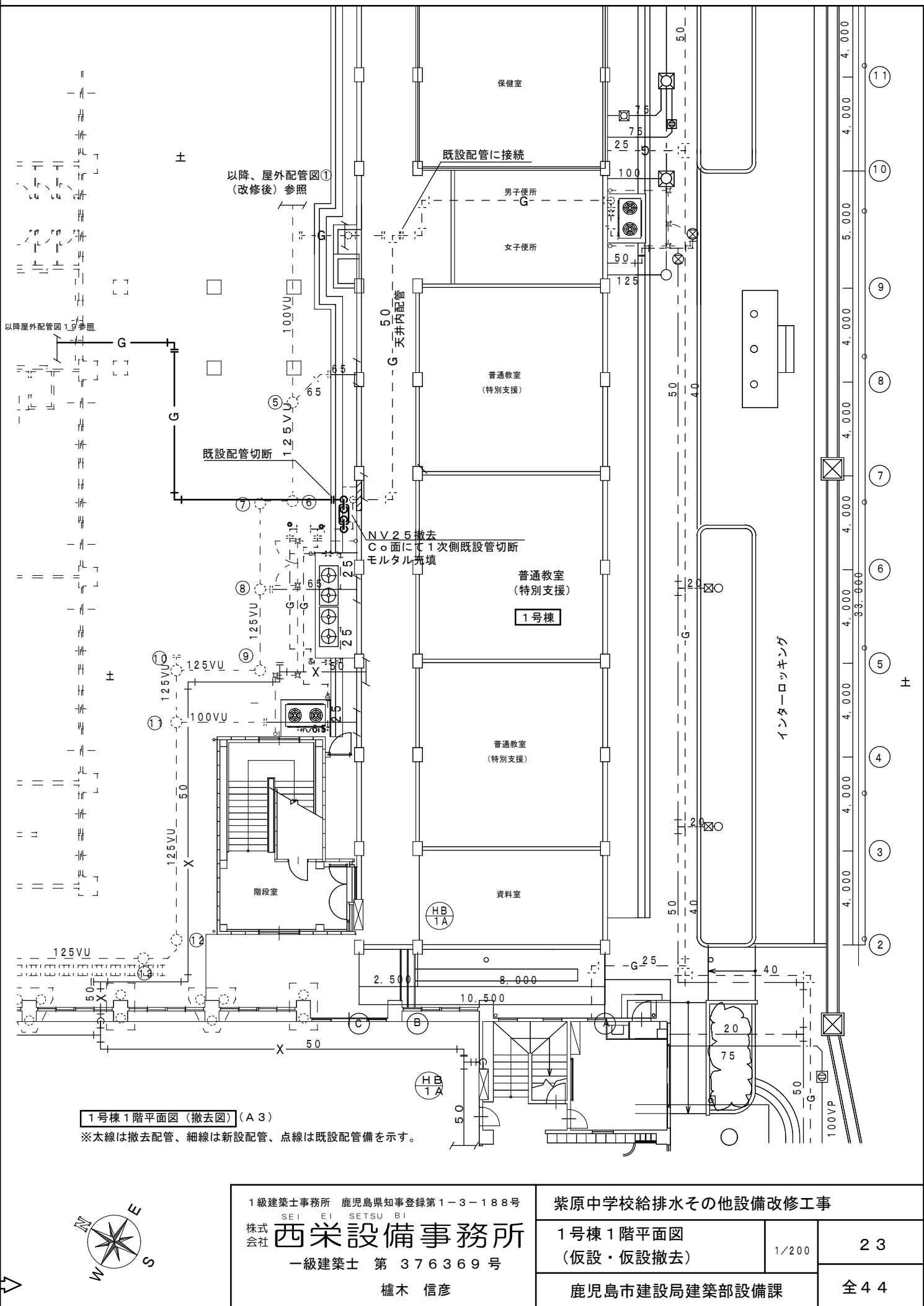
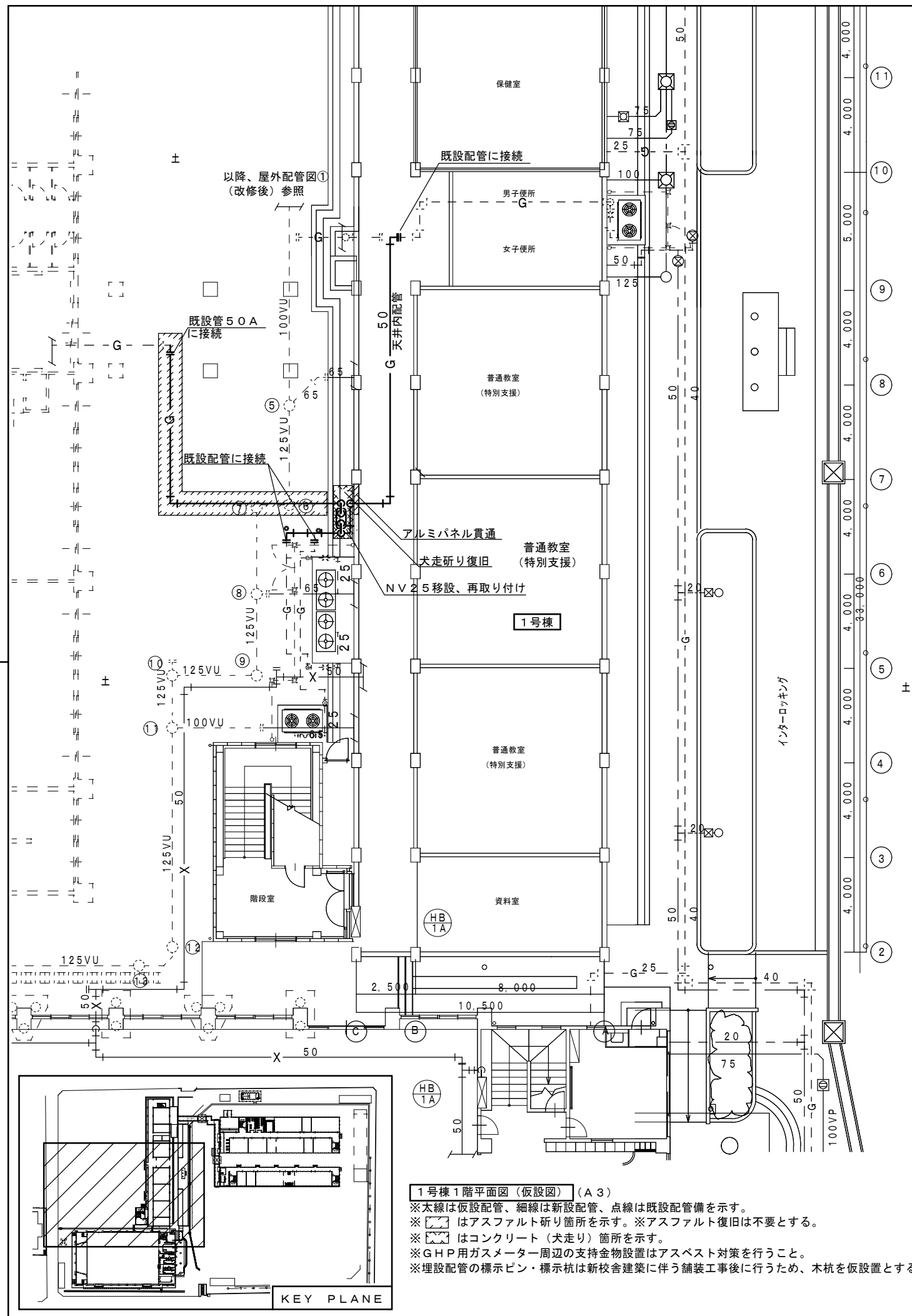
記 号	名 称	仕 様	数量	設置場所	備 考
TWH 1	高置水槽 ※撤去	型 式 : F R P製円筒型 複合板構造	1	R階	コンクリート基礎残置
		有効容量 : 4m <sup>3</sup>			
		付属品 : 外梯子 (溶融亜鉛メッキ) タラップ付			
		銅製架台 H=2,000 (溶融亜鉛メッキ)			
TF 1	消火用充水タンク ※残置	型 式 : 耐熱FRP製	1	R階	
		有効容量 : 200L			
		付属品 : 銅製架台 H=300 (溶融亜鉛メッキ)			



1号棟屋上平面図 (改修前) S=1:200 (A3)

※太線は撤去設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 SEI EI SETSU BI 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 樋木 信彦		紫原中学校給排水その他設備改修工事	
1号棟屋上平面図 (改修前)		1/200	22
鹿児島市建設局建築部設備課		全44	



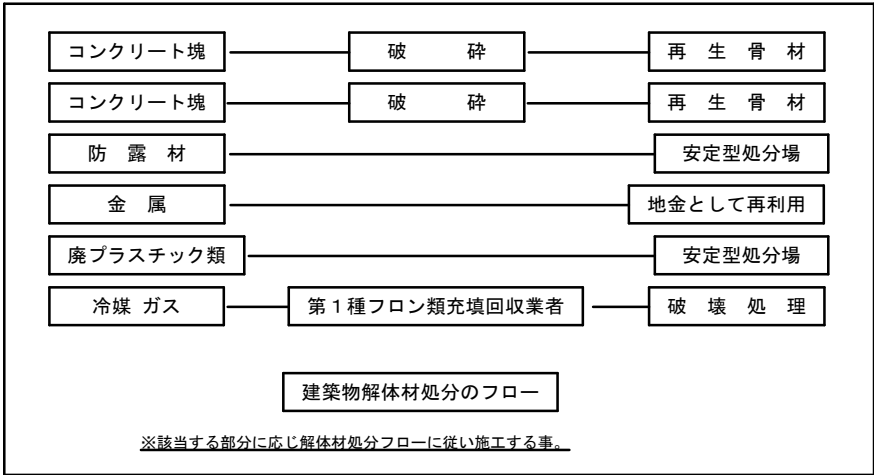
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 SEI EI SETSU BI 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第 376369号 植木 信彦		紫原中学校給排水その他設備改修工事	
1号棟 1階平面図 (仮設・仮設撤去)		1/200	23
鹿児島市建設局建築部設備課		全44	

機器数量表（GHP）（撤去）

棟名	室名	階	室 内 機		室 外 機							備考		
			台数	型式 天吊型	型式 GHP－ (参考型番)		仕 様 標準	耐塩	重耐塩	電 源 単相	3 相		ガ ス 種別	
特別教室棟・教室棟 (2号棟)	学職室	2	1	36型	1	GHP－10M (参考重量730kg H2195×W1660×D880) 冷房能力71kw (7.2RT) GXUDP710G 冷媒：R410A 11.5kg	ダイキン	○			○		都市ガス	別途対応 (他施設へ移設)
		1	45型											
	教室(少人数)	3	1	56型										
			1	71型										
	理科室(1)	3	2	45型										
			1	56型										
	音楽室(2)	4	1	56型										
			1	71型										
	音楽室(1)	4	2	45型										
			1	56型										
	教室	1	1	80型	1	GHP－36WM(参考重量630kg+705kg) (参考寸法 H2195×W1660×D880×2台) 冷房能力101kw (6.4RT+6.9RT) GXUDP450AN+GXUDP560BN 冷媒：R410A 15.0kg×2	ダイキン	○		○	都市ガス	本工事にて 撤去後引渡し 冷媒ポンプ等 余剰分は 回収破壊		
	教室(特別支援) 支援職員室	1	1	80型										
			1	80型										
	教室	2	1	56型										
			1	71型										
	教室	2	1	56型										
			1	71型										
	教室	3	1	56型										
			1	71型										
教室	3	1	56型											
		1	71型											
教室	4	1	56型											
		1	71型											
教室	4	1	56型											
		1	71型											
家庭科室(調理)	2	1	140型	1	GHP－3M(参考重量320kg H1640×W1100×D450) 冷房能力14kw (1.73RT)TGNP140 冷媒：R407C 7.0kg	アイシン	○			○	都市ガス	本工事にて 撤去後処分 冷媒回収破壊		
		2	90型	1	GHP-4-2 (参考重量450kg H1780×W1280×D700) 冷房能力18kw (2.09RT) TGNP140A5NE 冷媒：R407C 10.0kg									
特別教室棟 (26号棟)	コンピューター室	1	3	71型	1	GHP－9M(参考重量705kg H2195×W1660×D880) 冷房能力56kw (6.6RT) GXUDP560G 冷媒：R410A 11.5kg	ダイキン	○			○	都市ガス	別途対応 (他施設へ移設)	
	図書室	2	1	45型										
			3	56型										

機器数量表（EHP）（撤去）

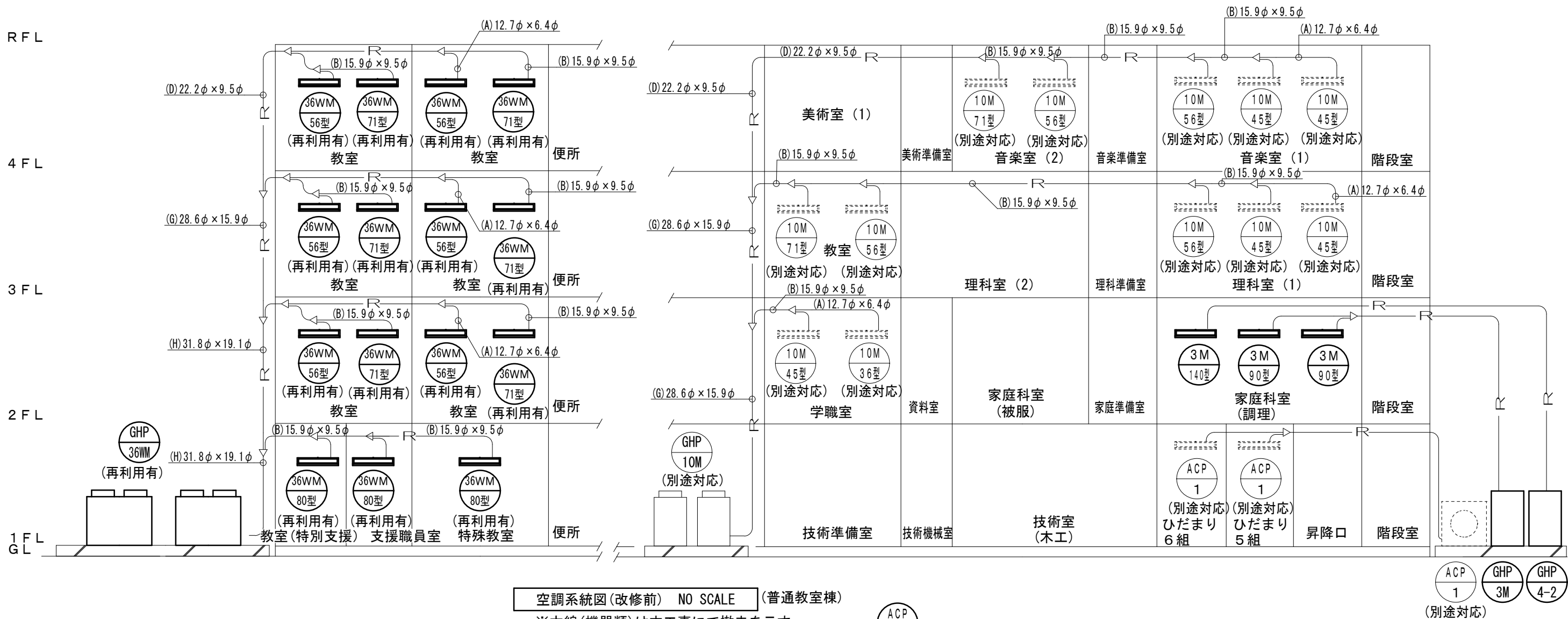
記 号	名 称	機 器 仕 様	電 源	数量	設 置 場 所	備考
			KW			
ACP-1	ビル用マルチエアコン140型	室外機： 冷房能力：14.0kW	3相200V	1	（室外機） 2号棟 屋外	別途対応 （他施設へ移設）  型式： RAS-AP140SSM （日立）
		室内機： 冷房能力：7.1kW		2	（室内機）	
		寸 法： H1140×W950×D370（室外機）			1F ひだまり5組×1	
		寸 法： H235×W1270×D690（室内機）			1F ひだまり6組×1	
		重 量： 92kg（外）+35kg（内）				
		冷 媒： R410A、4.3kg				
ACP-2	パッケージエアコン・63型	型 式： 天吊型	3相200V	1	（室外機） 26号棟 屋上	本工事にて 撤去後処分 冷媒回収破壊  型式： RAS-AP63SHJ2 （日立）
		冷房能力： 5.6kW				
		暖房能力： 6.3kW			（室内機）	
		寸 法： H629×W799×D300（室外機）			2F せせらぎ学級	
		寸 法： H235×W1270×D690（室内機）				
		重 量： 45kg（外）+35kg（内）				
		冷 媒： R410A、1.9kg				



※発生材の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「再生資源の利用の促進に関する法律」及び「建設リサイクル法」等の関係法律に基づき適正に処理すると共に、マニフェストシステムを利用して管理を行うこと。  
※既設空調機器の撤去・移設等に伴う冷媒の回収・充填を行う際は、「フロン抑制法」に基づく県への登録を行った「第一種フロン類充填回収業者」による作業とすること。  
※冷媒の充填を行う場合は、上記に加え「高圧ガス保安法」に基づく法的資格（高圧ガス販売事業届等）を取得した事業所による作業とすること。

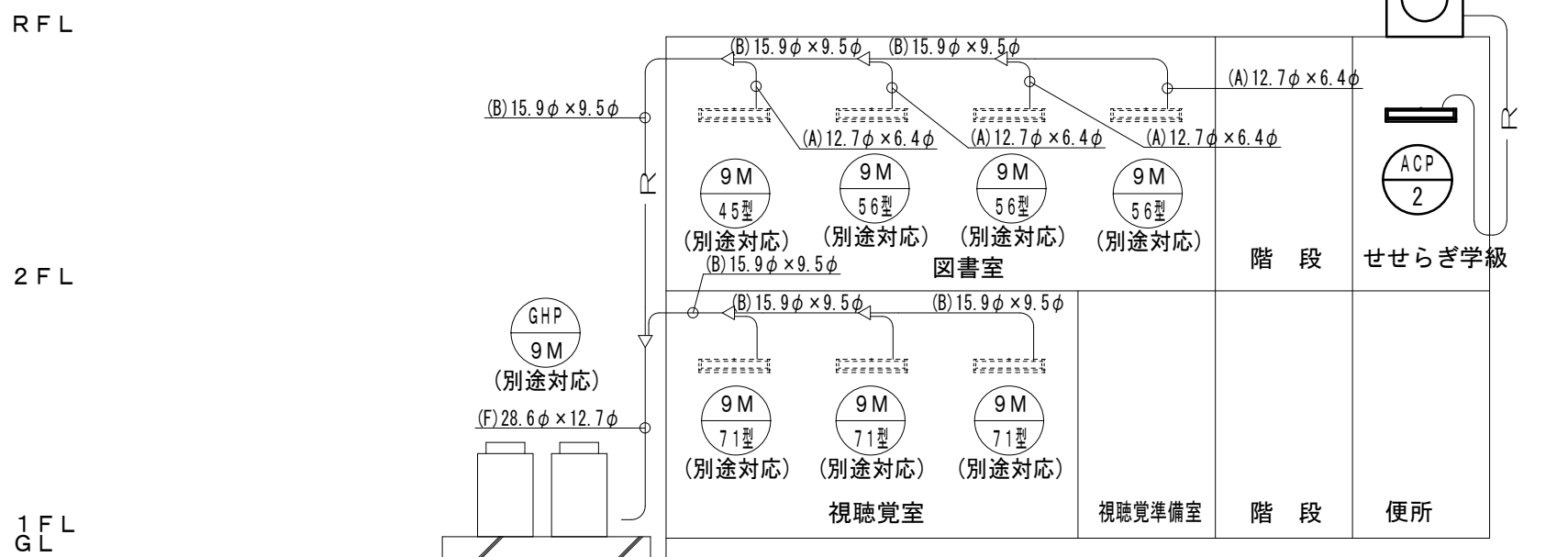
撤 去 工 事 項 目	建 築	本 工 事	別 途	備 考
機器類（空調室内外機）		○	○	一部別途対応（機器数量表参照）
配管類	○			
撤去機器（移設対象）引取			○	

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 SEI EI SETSU BI 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第 376369号 樋木 信彦	紫原中学校給排水その他設備改修工事		
	既設空調機器数量表（改修前）	A3：－	24
	鹿児島市建設局建築部設備課		全44



空調系統図(改修前) NO SCALE (普通教室棟)

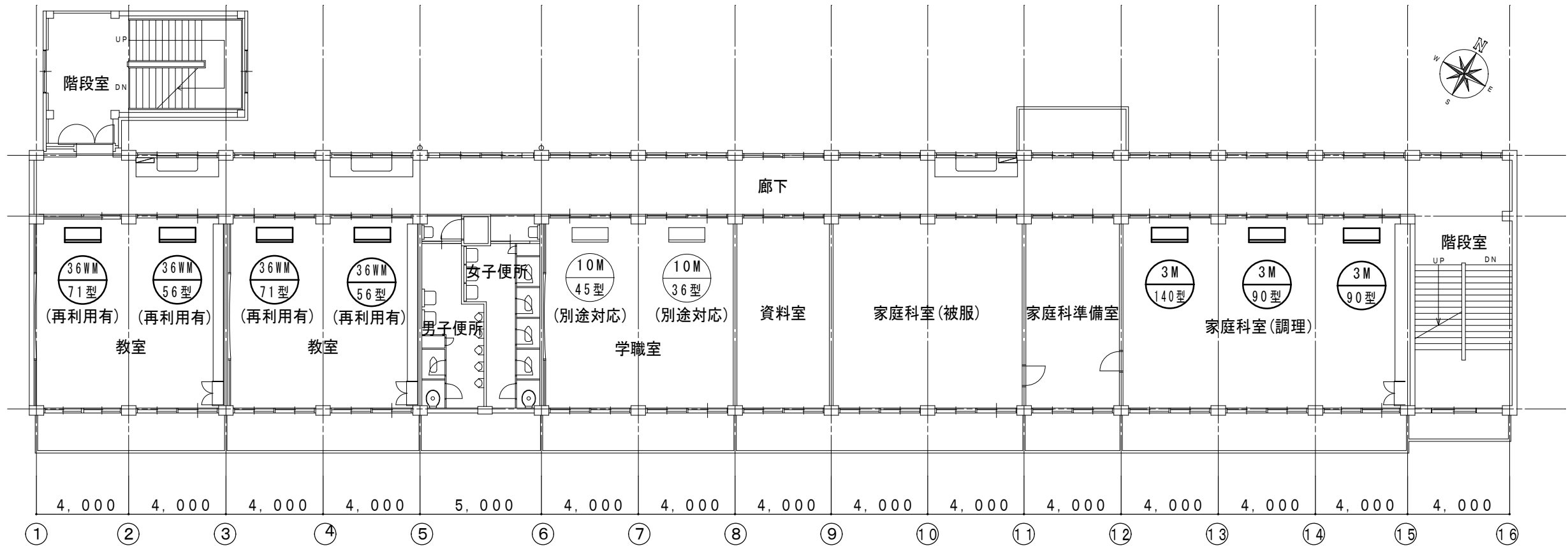
※太線(機器類)は本工事にて撤去を示す。  
※細線(配管類)は別途工事を示す。



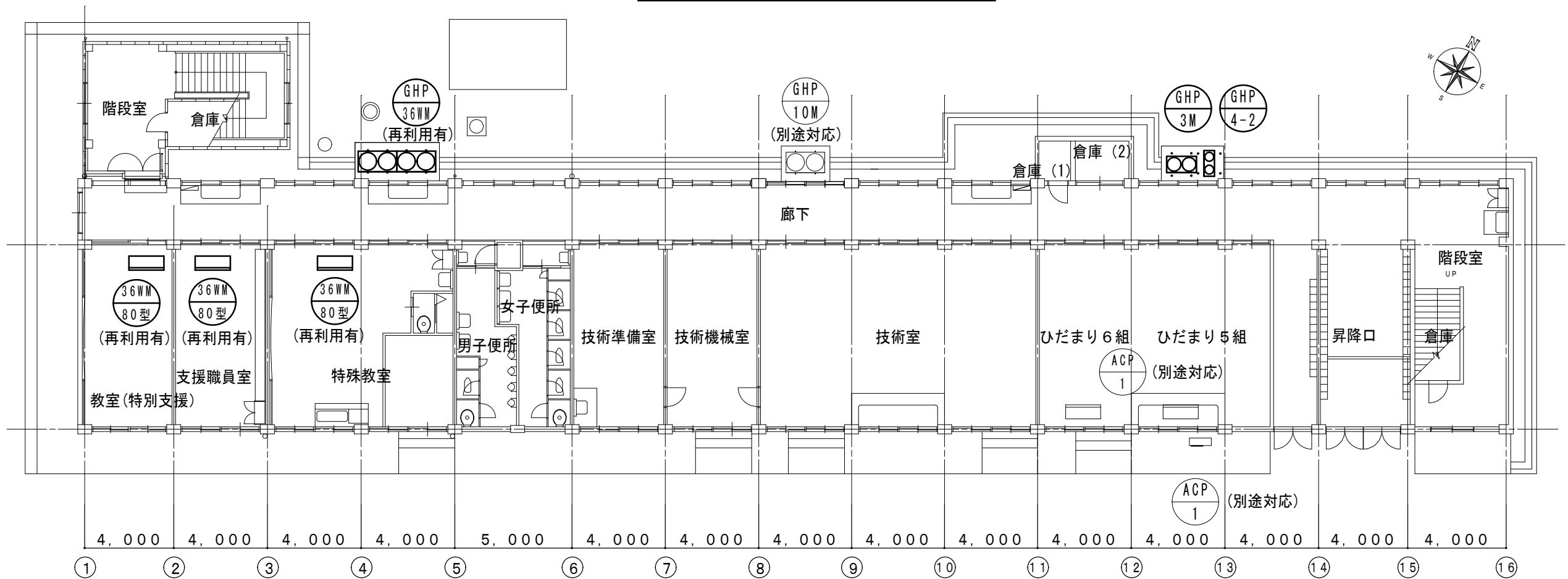
空調系統図(改修前) NO SCALE (特別教室棟)

※太線(機器類)は本工事にて撤去を示す。  
※細線(配管類)は別途工事を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 樋木 信彦		紫原中学校給排水その他設備改修工事	
空調系統図(改修前)		A3: -	25
鹿児島市建設局建築部設備課			全44



2号棟 2階平面図(改修前) S=1:200 撤去



2号棟 1階平面図(改修前) S=1:200 撤去

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
樋木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

2号棟 1階2階平面図(改修前)

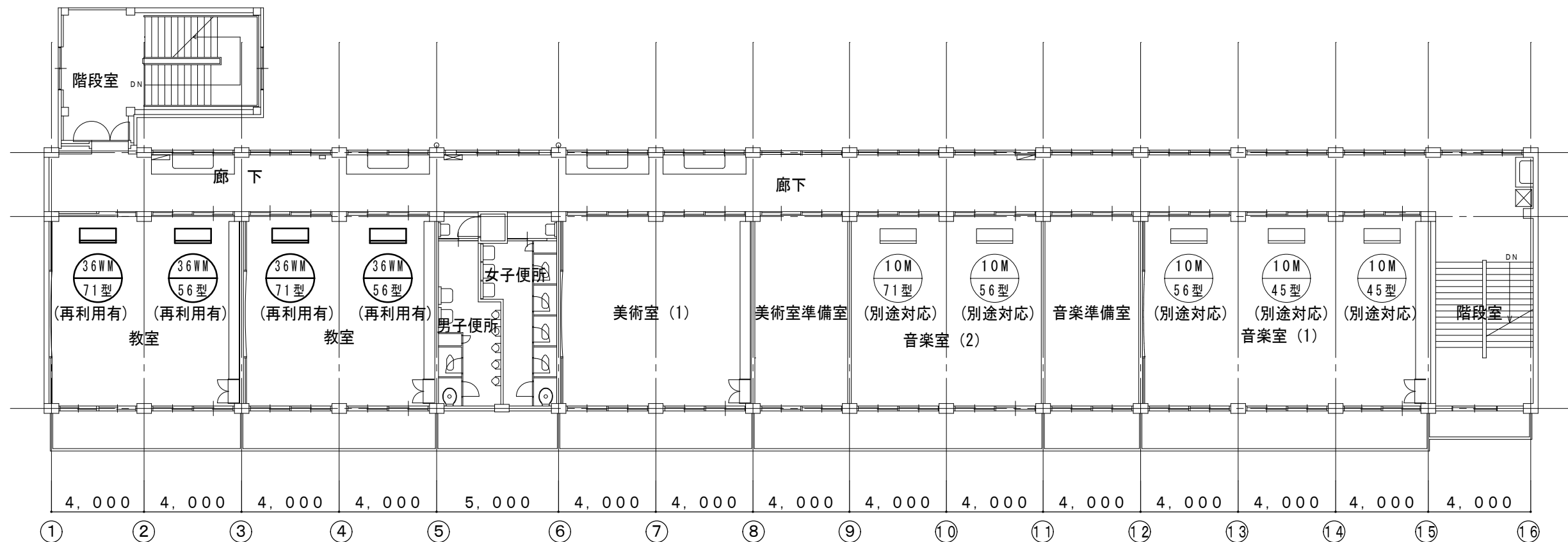
A3:1/200

26

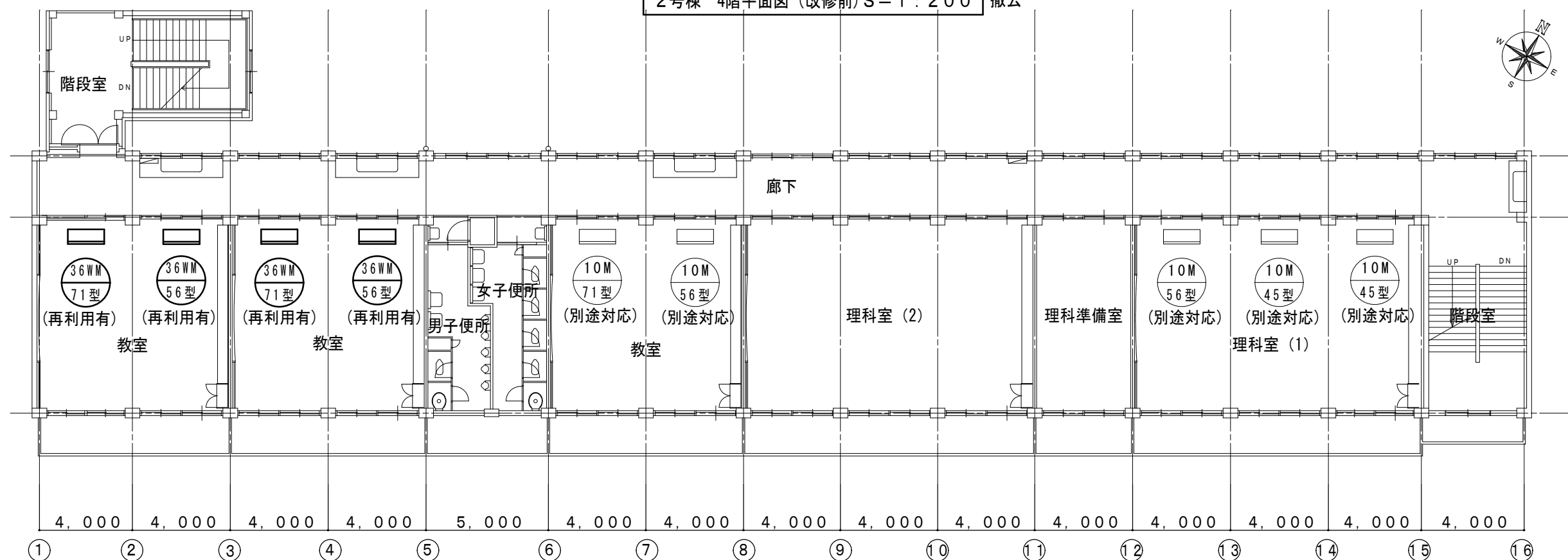
鹿児島市建設局建築部設備課

全44



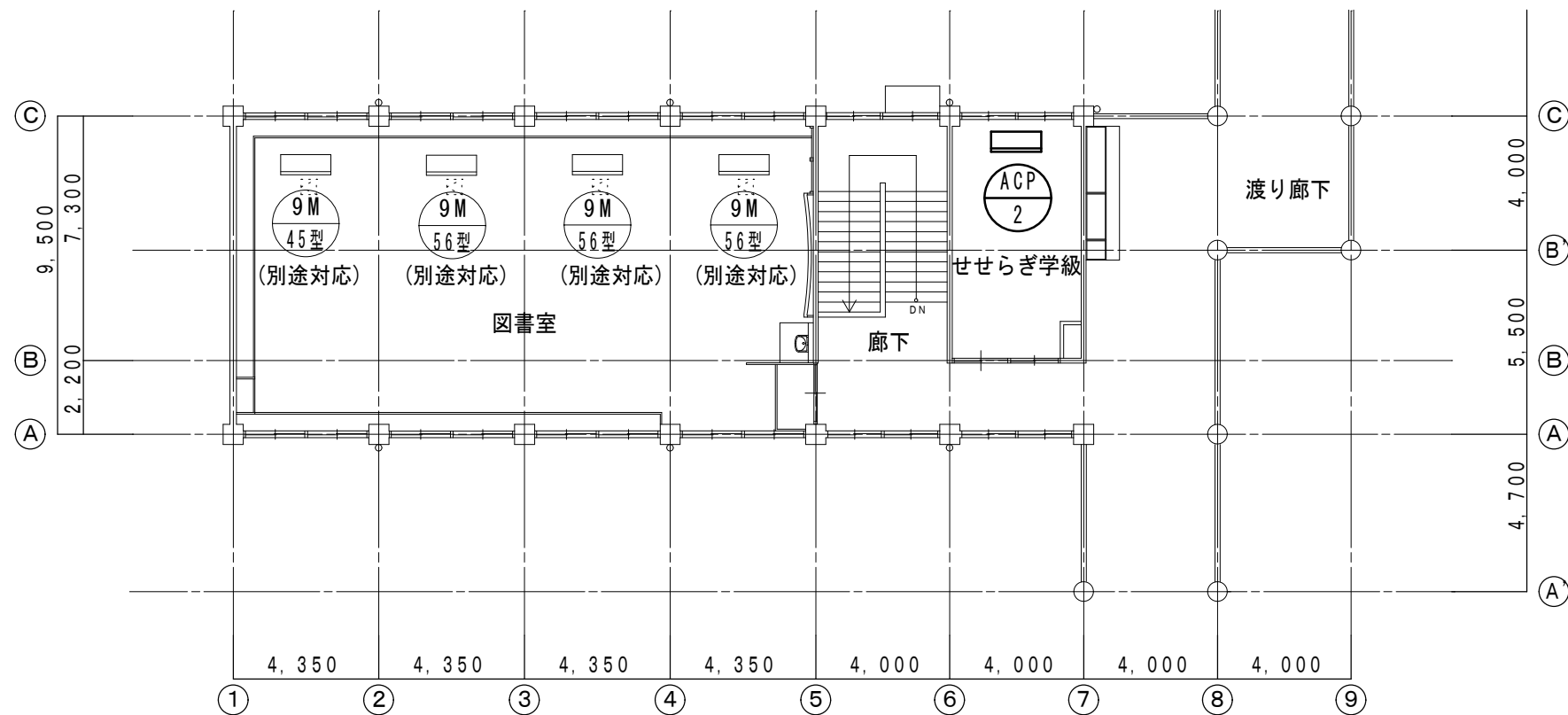


2号棟 4階平面図 (改修前) S=1:200 撤去

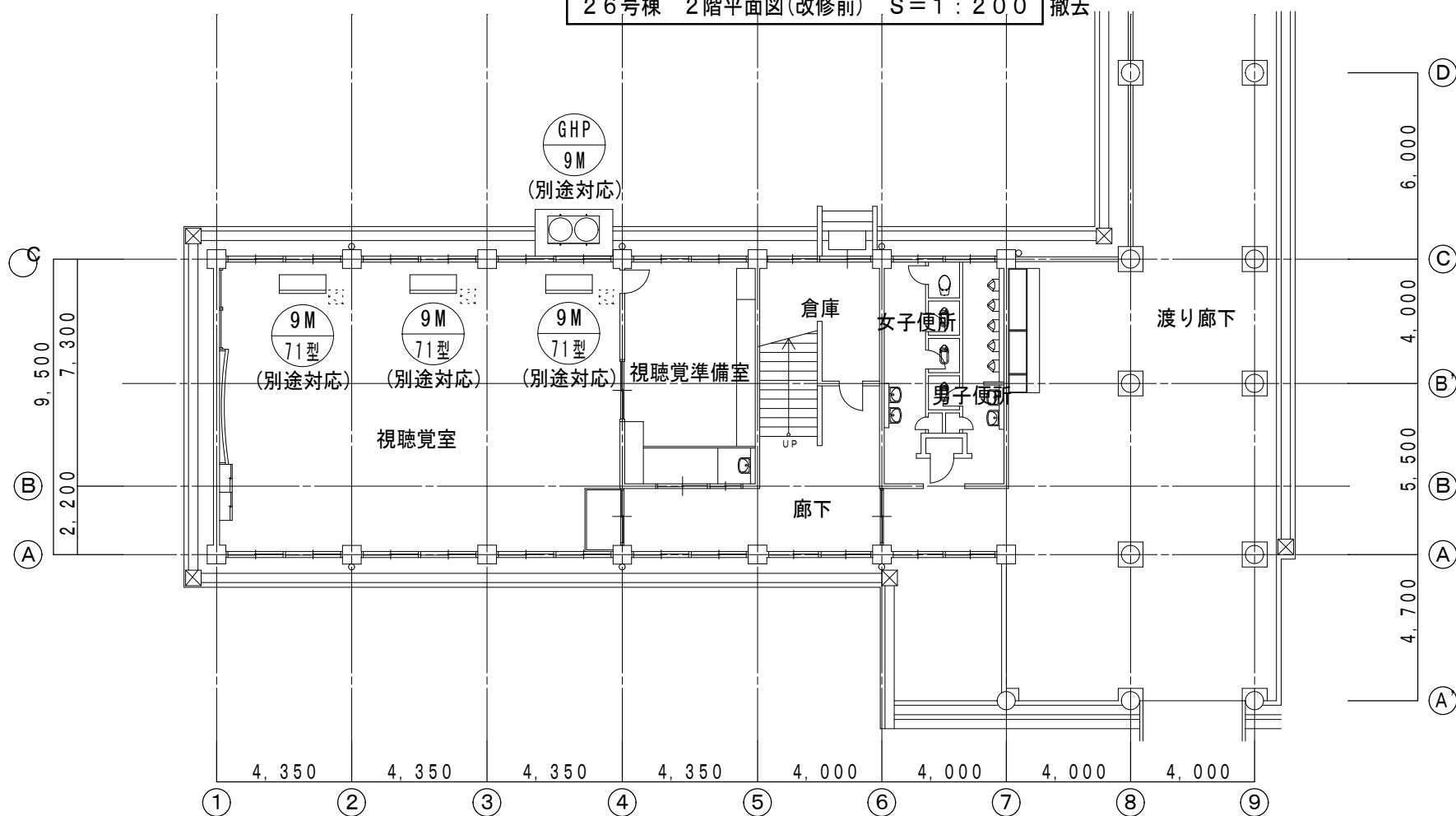


2号棟 3階平面図 (改修前) S=1:200 撤去

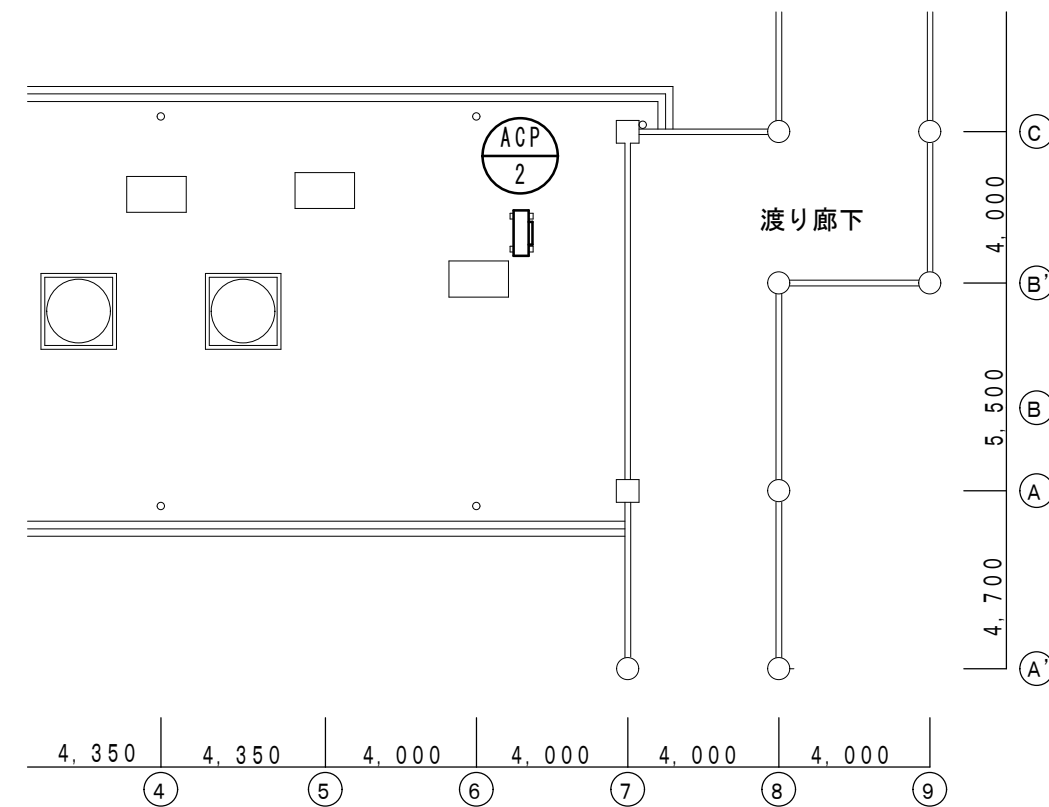
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 榎木 信彦	紫原中学校給排水その他設備改修工事		
2号棟 3階4階平面図(改修前)	A3:1/200	27	
鹿児島市建設局建築部設備課		全44	



26号棟 2階平面図(改修前) S=1:200 撤去



26号棟 1階平面図(改修前) S=1:200 撤去



26号棟 屋上平面図(改修前) S=1:200 撤去



1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 SEI EI SETSU BI 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 樋木 信彦	紫原中学校給排水その他設備改修工事		
	26号棟 1階2階屋上平面図(改修前)	A3:1/200	28
	鹿児島市建設局建築部設備課		全44

特記事項

＜一般事項＞

- |  |
|--|
| ・工事着手前に現地調査を十分行い、施工計画書及び実施工程表を作成し、監督員等の承認を得た後に、工事に着手すること。  |
| ・工事現場における生徒、職員及び来校者への安全対策は、受注者が十分な誠意を持って行い、事故防止に万全を期すること。  |
| ・工事に関しては、騒音等により学校の運営に支障をきたすことの無いように留意すると共に、事前に関係者等に連絡し承諾を得ること。   |
| ・工事期間中に休日及び時間外作業をする場合は、事前に監督員及び関係者等に連絡し承諾を得た後に作業すること。  |
| ・工事期間中は、火気、粉塵等の発生に十分留意し、養生を確実にし作業するとともに、作業後は清掃を行うこと。   |
| ・工事期間中は、防災、防犯関係が無警戒とならないよう必要に応じて措置すること。  |
| ・工事施工に先立ち支障となる機器又は移動すべき機器等が発生した場合は、事前に協議し学校側にて移動してもらった後に、養生し作業に着手すること。   |
| ・工事期間中に万一、既設物に損傷を与えた場合は速やかに監督員に報告し、受注者の負担にて原形復旧すること。   |
| ・図面に記載がないものでも機能上必要になるものについては、監督員と協議し本工事内で施工を行うこと。  |
| ・官公署等への必要な書類の提出は、受注者にて速やかに行うこと。  |
| ・機器等の調達遅延を含め、受注者の責めによらない事由により工程に影響が生じる場合には、工事の一時中止や工期延長について発注者と協議すること。なお、工事を全面的に一時中止している期間は、監理技術者等の専任を要しない期間とする。 |
| ＜施工上の注意＞   |
| ・停電作業を行う際は、学校及び電気主任技術者と事前に入念な打合せを行い、必要があれば仮設電源を設けるなどの対応をとること。  |
| ・停電作業中、関係者以外の者が容易に操作しないよう処置を施し、停電作業中の表示を行うこと。  |
| ・電気主任技術者と協議の上、試験調整等を行い、試験結果報告書を提出すること。   |
| ・はつり、コア抜き、アンカー施工の際は既存配管等の調査を行った後に十分注意して施工すること。万一毀損した場合は、速やかに監督員に報告し受注者の負担にて原形復旧すること。                             |
| ・配管の支持金物（ボルト、ナット類）は原則ステンレス製又は溶融亜鉛メッキ仕上のものを使用すること。  |

電気設備工事 特記事項

項 目	事 項
1 適用	<p>(1) 本特記仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任において履行すべきものとする。</p> <p>(2) すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次のとおりとし、これにより難しい場合は「疑義に対する協議等」による手続きによる。</p> <p>ア 設計図書等に関する質疑応答書</p> <p>イ 特記仕様書</p> <p>ウ 図面</p> <p>エ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和4年版 及び 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和4年版（改修及び修繕に限る） （国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）</p> <p>オ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 令和4年版 （国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修）</p>
2 遵守事項	<p>工事は、電気設備技術基準、内線規定、並びに電力会社の規定に従い施工する。なお、図面その他が諸規定と相違するときは、監督員の指示による。</p>
3 電気工作物の種類	<p>事業用電気工作物</p>

## 工事概要

＜一般事項＞

- ・ 2号棟、26号棟、受水槽ポンプ室解体に伴う屋外配線配管の撤去を行う。
- ・ 2号棟、26号棟の照明器具、HUB及びアクセスポイントの撤去を行う。
- ・ ポンプ室付受水タンク・消火タンク新設に伴う配線配管の新設及びキュービクル改修を行う。
- ・ 屋内運動場への弱電配線の切り直し工事を行う。

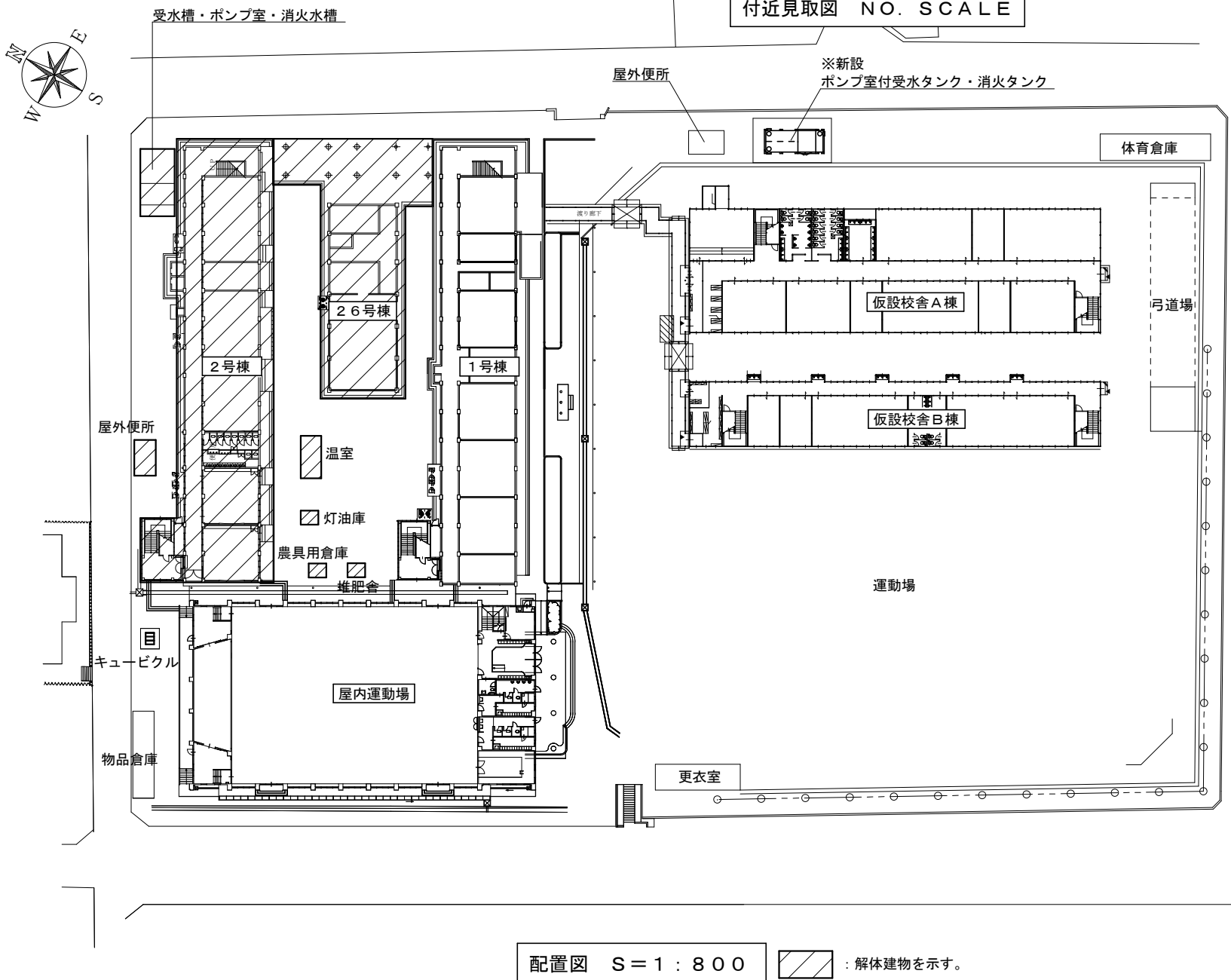
※1 管球は撤去後、処分すること。

※２ＬＥＤ照明、ＨＵＢ及びアクセスポイントは撤去後、学校側に引渡すこと。



工事場所 紫原中学校  
鹿児島市紫原町六丁目31番19号

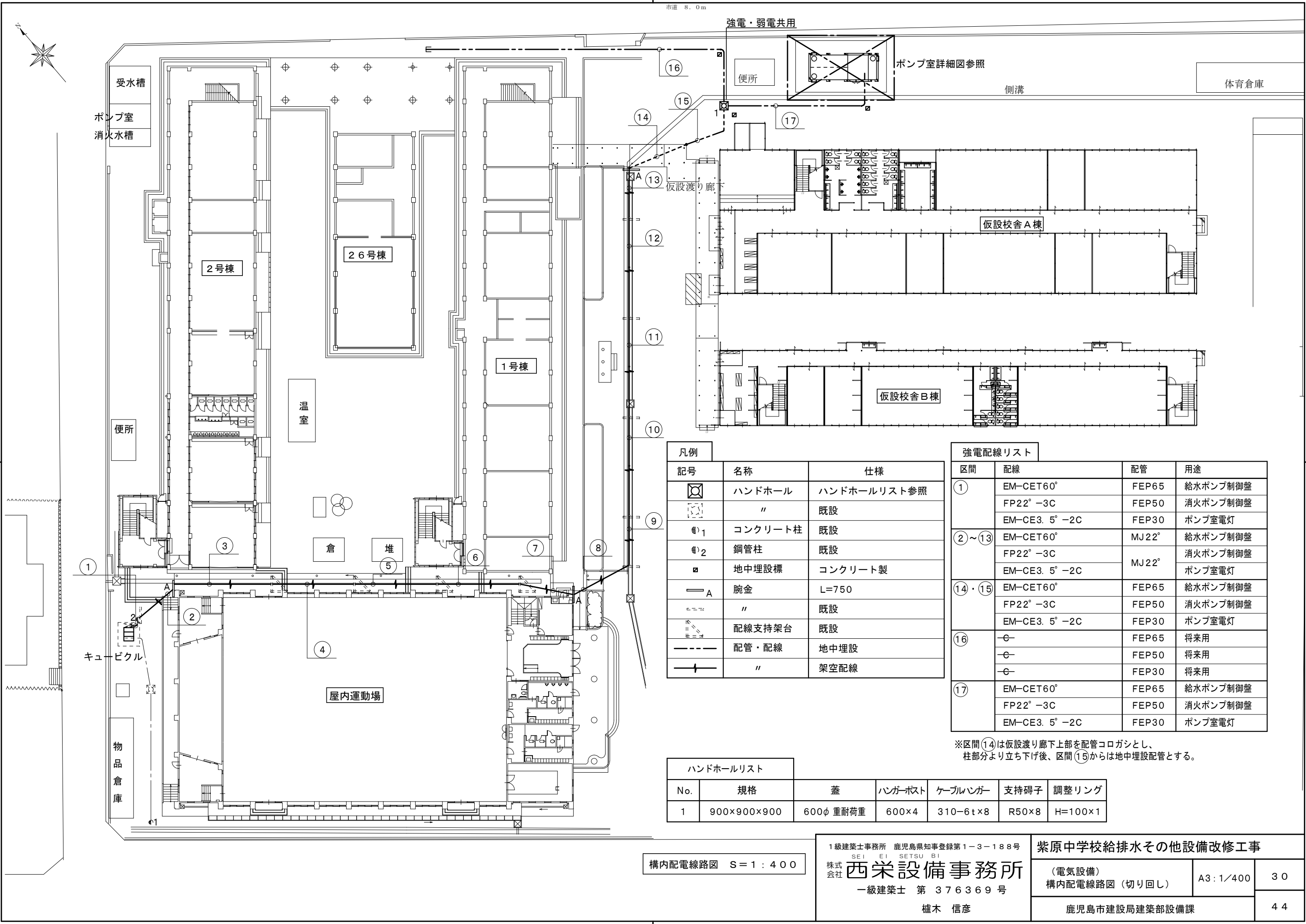
付近見取図 NO. SCALE



配置図 S = 1 : 800

: 解体建物を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 SEI EI SETSU BI 株式 西栄設備事務所 会社 一級建築士 第 376369 号 樋木 信彦		紫原中学校給排水その他設備改修工事 (電気設備) 配置図・付近見取図・特記事項 A3:1/800 29 鹿児島市建設局建築部設備課 44		
---	--	--	--	--



凡例		
記号	名称	仕様
	ハンドホール	ハンドホールリスト参照
	"	既設
	コンクリート柱	既設
	鋼管柱	既設
	地中埋設標	コンクリート製
	腕金	L=750
	"	既設
	配線支持架台	既設
	配管・配線	地中埋設
	"	架空配線

強電配線リスト			
区間	配線	配管	用途
①	EM-CET60°	FEP65	給水ポンプ制御盤
	FP22°-3C	FEP50	消火ポンプ制御盤
	EM-CE3. 5°-2C	FEP30	ポンプ室電灯
②～⑬	EM-CET60°	MJ22°	給水ポンプ制御盤
	FP22°-3C	MJ22°	消火ポンプ制御盤
	EM-CE3. 5°-2C	MJ22°	ポンプ室電灯
⑭・⑮	EM-CET60°	FEP65	給水ポンプ制御盤
	FP22°-3C	FEP50	消火ポンプ制御盤
	EM-CE3. 5°-2C	FEP30	ポンプ室電灯
⑯	—	FEP65	将来用
	—	FEP50	将来用
	—	FEP30	将来用
⑰	EM-CET60°	FEP65	給水ポンプ制御盤
	FP22°-3C	FEP50	消火ポンプ制御盤
	EM-CE3. 5°-2C	FEP30	ポンプ室電灯

※区間⑭は仮設渡り廊下上部を配管コロガシとし、  
柱部分より立ち下げ後、区間⑮からは地中埋設配管とする。

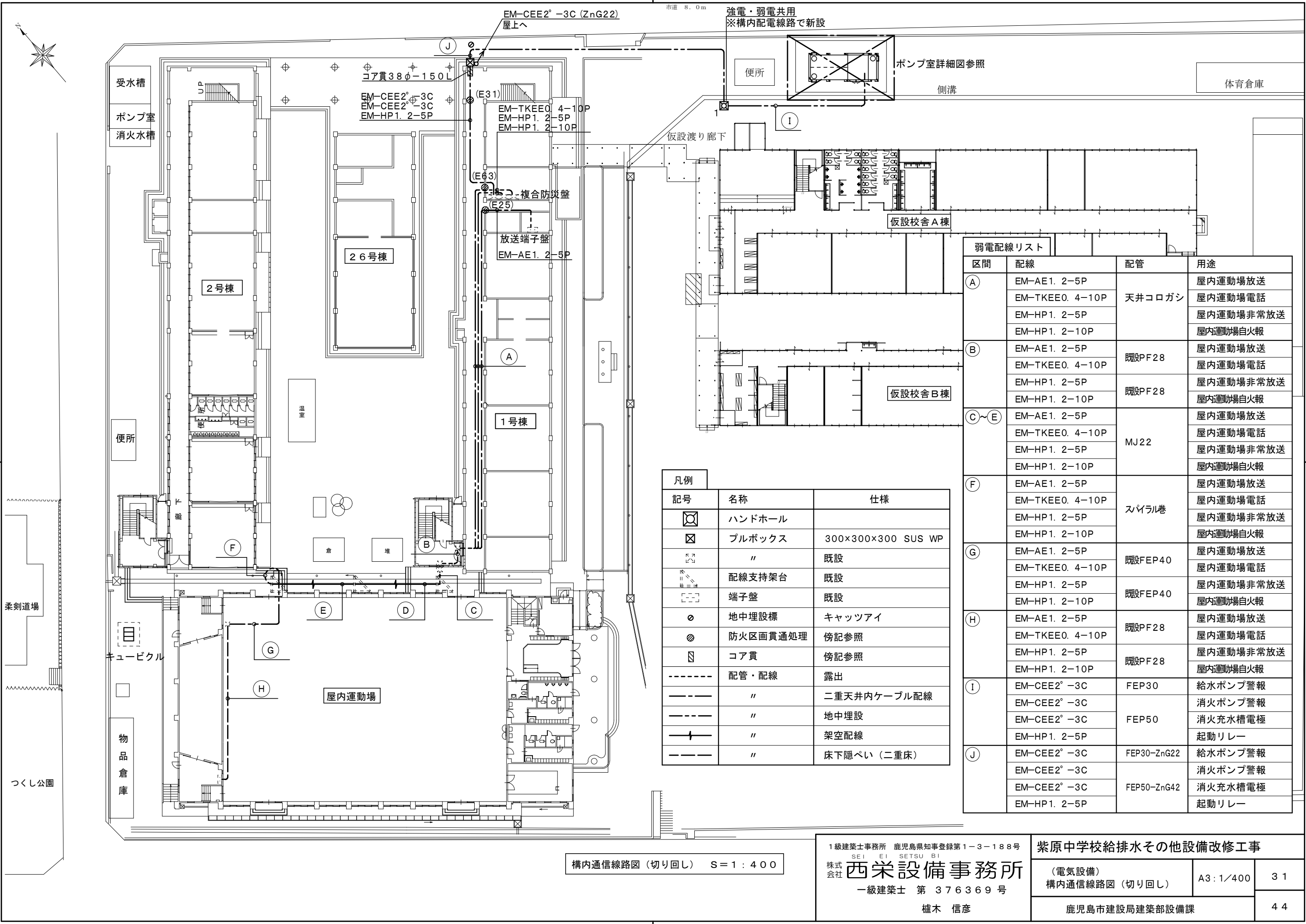
ハンドホールリスト						
No.	規格	蓋	ハンガーポスト	ケーブルハンガー	支持碍子	調整リング
1	900×900×900	600φ 重耐荷重	600×4	310-6t×8	R50×8	H=100×1

構内配電線路図 S = 1 : 400

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
樋木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

(電気設備) 構内配電線路図(切り回し)	A3: 1/400	30
鹿児島市建設局建築部設備課		44



凡例		
記号	名称	仕様
	ハンドホール	
	プルボックス	300×300×300 SUS WP
	〃	既設
	配線支持架台	既設
	端子盤	既設
	地中埋設標	キャッツアイ
	防火区画貫通処理	傍記参照
	コア貫	傍記参照
	配管・配線	露出
	〃	二重天井内ケーブル配線
	〃	地中埋設
	〃	架空配線
	〃	床下隠ぺい（二重床）

弱電配線リスト			
区間	配線	配管	用途
A	EM-AE1. 2-5P	天井コロガシ	屋内運動場放送
	EM-TKEE0. 4-10P		屋内運動場電話
	EM-HP1. 2-5P		屋内運動場非常放送
	EM-HP1. 2-10P		屋内運動場自火報
B	EM-AE1. 2-5P	既設PF28	屋内運動場放送
	EM-TKEE0. 4-10P		屋内運動場電話
	EM-HP1. 2-5P	既設PF28	屋内運動場非常放送
	EM-HP1. 2-10P		屋内運動場自火報
C~E	EM-AE1. 2-5P	MJ22	屋内運動場放送
	EM-TKEE0. 4-10P		屋内運動場電話
	EM-HP1. 2-5P		屋内運動場非常放送
	EM-HP1. 2-10P		屋内運動場自火報
F	EM-AE1. 2-5P	スパイラル巻	屋内運動場放送
	EM-TKEE0. 4-10P		屋内運動場電話
	EM-HP1. 2-5P		屋内運動場非常放送
	EM-HP1. 2-10P		屋内運動場自火報
G	EM-AE1. 2-5P	既設FEP40	屋内運動場放送
	EM-TKEE0. 4-10P		屋内運動場電話
	EM-HP1. 2-5P	既設FEP40	屋内運動場非常放送
	EM-HP1. 2-10P		屋内運動場自火報
H	EM-AE1. 2-5P	既設PF28	屋内運動場放送
	EM-TKEE0. 4-10P		屋内運動場電話
	EM-HP1. 2-5P	既設PF28	屋内運動場非常放送
	EM-HP1. 2-10P		屋内運動場自火報
I	EM-CEE2° -3C	FEP30	給水ポンプ警報
	EM-CEE2° -3C		消火ポンプ警報
	EM-CEE2° -3C	FEP50	消火充電水槽電極
	EM-HP1. 2-5P		起動リレー
J	EM-CEE2° -3C	FEP30-ZnG22	給水ポンプ警報
	EM-CEE2° -3C		消火ポンプ警報
	EM-CEE2° -3C	FEP50-ZnG42	消火充電水槽電極
	EM-HP1. 2-5P		起動リレー

構内通信線路図（切り回し） S=1:400

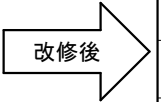
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
植木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

(電気設備) 構内通信線路図（切り回し）	A3:1/400	31
鹿児島市建設局建築部設備課		44

電灯動力盤 SUS製・屋外露出自立型・下部配線ダクト付（H＝300）

電灯動力盤			低圧電灯盤より 1φ3W200/100V	低圧動力盤より 3φ3W200V	
30. 96	仮設校舎A電灯1	MCCB3P 225AF/175AT		MCCB3P 225AF/125AT	仮設校舎A動力1 30. 30
21. 88	仮設校舎A電灯2	MCCB3P 225AF/125AT		MCCB3P 225AF/200AT	仮設校舎A動力2 44. 00
17. 49	仮設校舎B電灯	MCCB3P 100AF/100AT		MCCB3P 225AF/150AT	仮設校舎B動力 32. 60
TOTAL 70. 33kVA				100AF/75AT	揚水ポンプ 7. 40
				100AF/100AT	消火ポンプ 11. 00
				TOTAL 125. 3kW	



電灯動力盤 SUS製・屋外露出自立型・下部配線ダクト付（H＝300）

電灯動力盤			低圧電灯盤より 1φ3W200/100V	低圧動力盤より 3φ3W200V	
30. 96	仮設校舎A電灯1	MCCB3P 225AF/175AT		MCCB3P 225AF/125AT	仮設校舎A動力1 30. 30
21. 88	仮設校舎A電灯2	MCCB3P 225AF/125AT		MCCB3P 225AF/200AT	仮設校舎A動力2 44. 00
17. 49	仮設校舎B電灯	MCCB3P 100AF/100AT		MCCB3P 225AF/150AT	仮設校舎B動力 32. 60
TOTAL 70. 33kVA				100AF/75AT	予備
				100AF/100AT	予備
				TOTAL 106. 9kW	

開閉器リスト

Tr No	幹線番号	開閉器	負荷名称	負荷容量	備考
低圧電灯盤 NO (1) 1φ3W 100KVA 210/105V	L1	MCCB3P 225AF/200AT	北校舎電灯（2号棟）	38. 56(KVA)	
	L2	MCCB3P 225AF/200AT	南校舎電灯（1号棟）	48. 79(KVA)	
	L3	MCCB3P 225AF/200AT	体育館電灯	39. 62(KVA)	
	L4	MCCB3P 100AF/100AT	コンピュータ室	12. 43(KVA)	
	L5	MCCB3P 50AF/ 50AT	増築棟電灯（26号棟）	4. 89(KVA)	
	L6	MCCB3P 225AF	新築校舎電灯2		スペース
			電灯動力盤（仮設校舎電灯）	70. 33(KVA)	
低圧動力盤 NO (2) 3φ3W 200KVA 210V	所内	MCCB2P 50AF/ 20AT	所内電源		
	所内	MCCB2P 50AF/ 20AT	警報電源		
	M1	MCCB3P 100AF/100AT	技術室	6. 70 (kW)	
	M2	MCCB3P 100AF	給水ポンプ制御盤		スペース
	M3	ELCB3P 125AF/125AT	太陽光発電	30. 00 (kW)	
	M4	MCCB3P 225AF	新築校舎空調1		スペース
	M5	MCCB3P 225AF	新築校舎空調2		スペース
	M6	MCCB3P 225AF	新築校舎空調3		スペース
	M7	MCCB3P 50AF	新築校舎エレベーター		スペース
			電灯動力盤（仮設校舎動力）	125. 3 (kW)	
隔壁	非常	MCCB3P 100AF	消火ポンプ制御盤		スペース
	所内	MCCB3P 100AF/75AT	SC, SR	12. 8 (kvar)	



開閉器リスト

Tr No	幹線番号	開閉器	負荷名称	負荷容量	備考
低圧電灯盤 NO (1) 1φ3W 100KVA 210/105V	L1	MCCB3P 225AF/200AT	予備		
	L2	MCCB3P 225AF/200AT	南校舎電灯（1号棟）	48. 79(KVA)	
	L3	MCCB3P 225AF/200AT	体育館電灯	39. 62(KVA)	
	L4	MCCB3P 100AF/100AT	予備		
	L5	MCCB3P 50AF/ 50AT	予備		
	L6	MCCB3P 225AF	新築校舎電灯2		スペース
			電灯動力盤（仮設校舎電灯）	70. 33(KVA)	
低圧動力盤 NO (2) 3φ3W 200KVA 210V	所内	MCCB2P 50AF/ 20AT	所内電源		
	所内	MCCB2P 50AF/ 20AT	警報電源		
	M1	MCCB3P 100AF/100AT	予備		
	M2	MCCB3P 100AF/100AT	給水ポンプ制御盤	11. 00 (kW)	
	M3	ELCB3P 125AF/125AT	太陽光発電	30. 00 (kW)	
	M4	MCCB3P 225AF	新築校舎空調1		スペース
	M5	MCCB3P 225AF	新築校舎空調2		スペース
	M6	MCCB3P 225AF	新築校舎空調3		スペース
	M7	MCCB3P 50AF	新築校舎エレベーター		スペース
			電灯動力盤（仮設校舎動力）	106. 9 (kW)	
隔壁	非常	MCCB3P 100AF/75AT	消火ポンプ制御盤	5. 50 (kW)	
	所内	MCCB3P 100AF/75AT	SC, SR	12. 8 (kvar)	

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
樋木 信彦

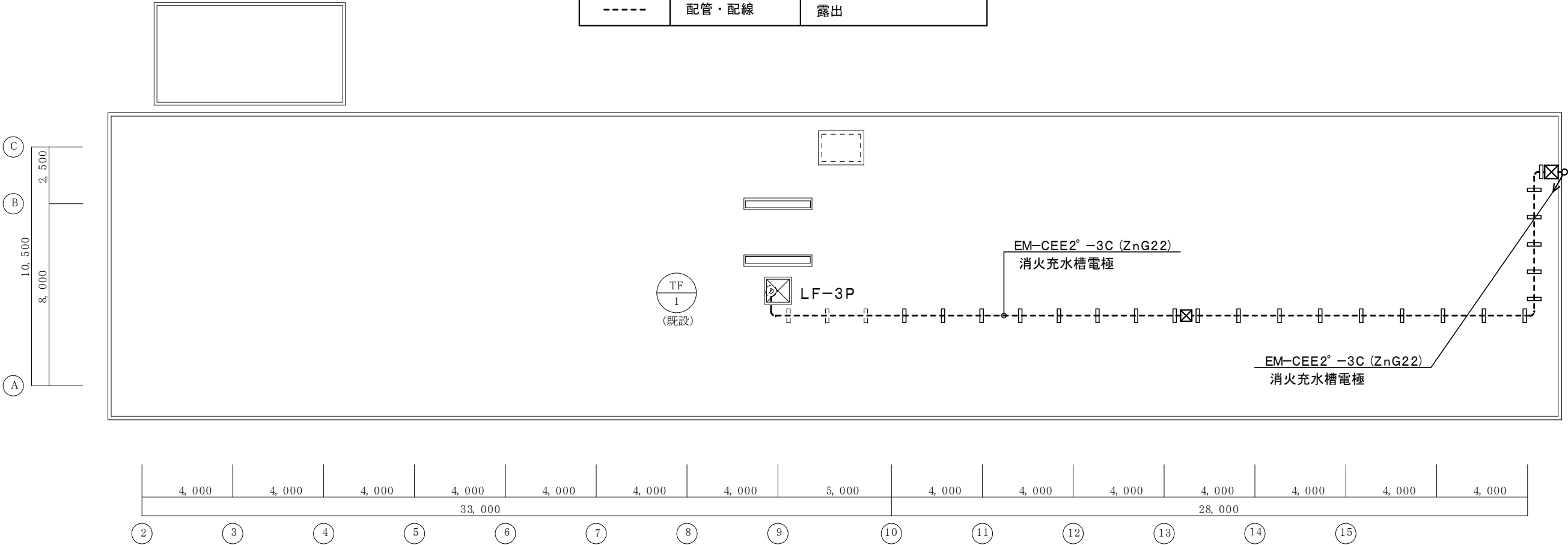
紫原中学校給排水その他設備改修工事

(電気設備) 受変電設備改修図	A3:No. Scale	3 2
鹿児島市建設局建築部設備課		4 4





凡例		
記号	名称	仕様
Ⓢ	電極	既設
☒	プルボックス	250×250×200 SUS WP
▮	配管支持ブロック	150L
⌈ ⌋	〃	既設
-----	配管・配線	露出



1号棟弱電設備 R階平面図 S=1:200

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式 西栄設備事務所  
会社 一級建築士 第 376369号  
樋木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

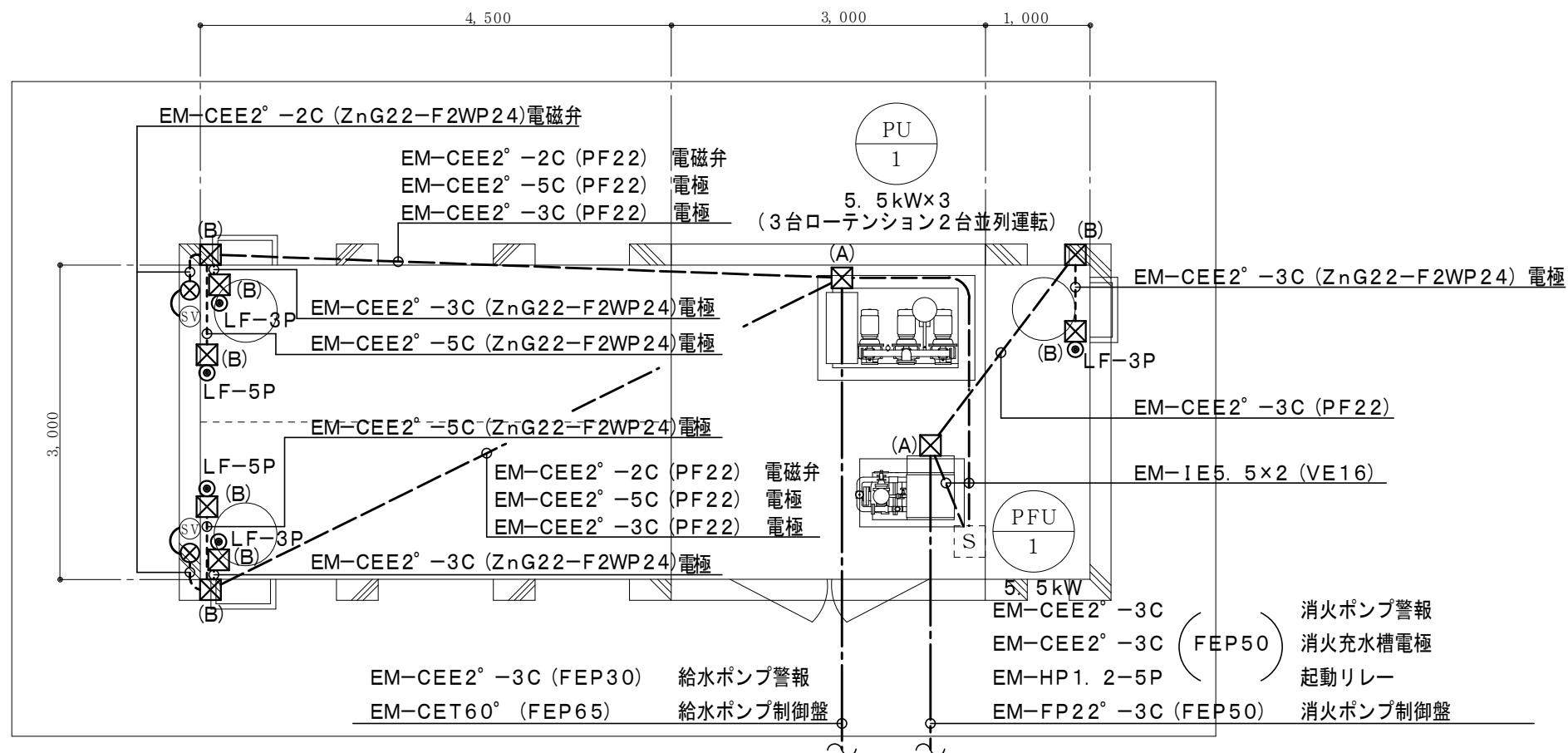
(電気設備)  
1号棟弱電設備 R階平面図

A3: 1/200



3 3

鹿児島市建設局建築部設備課

4 4



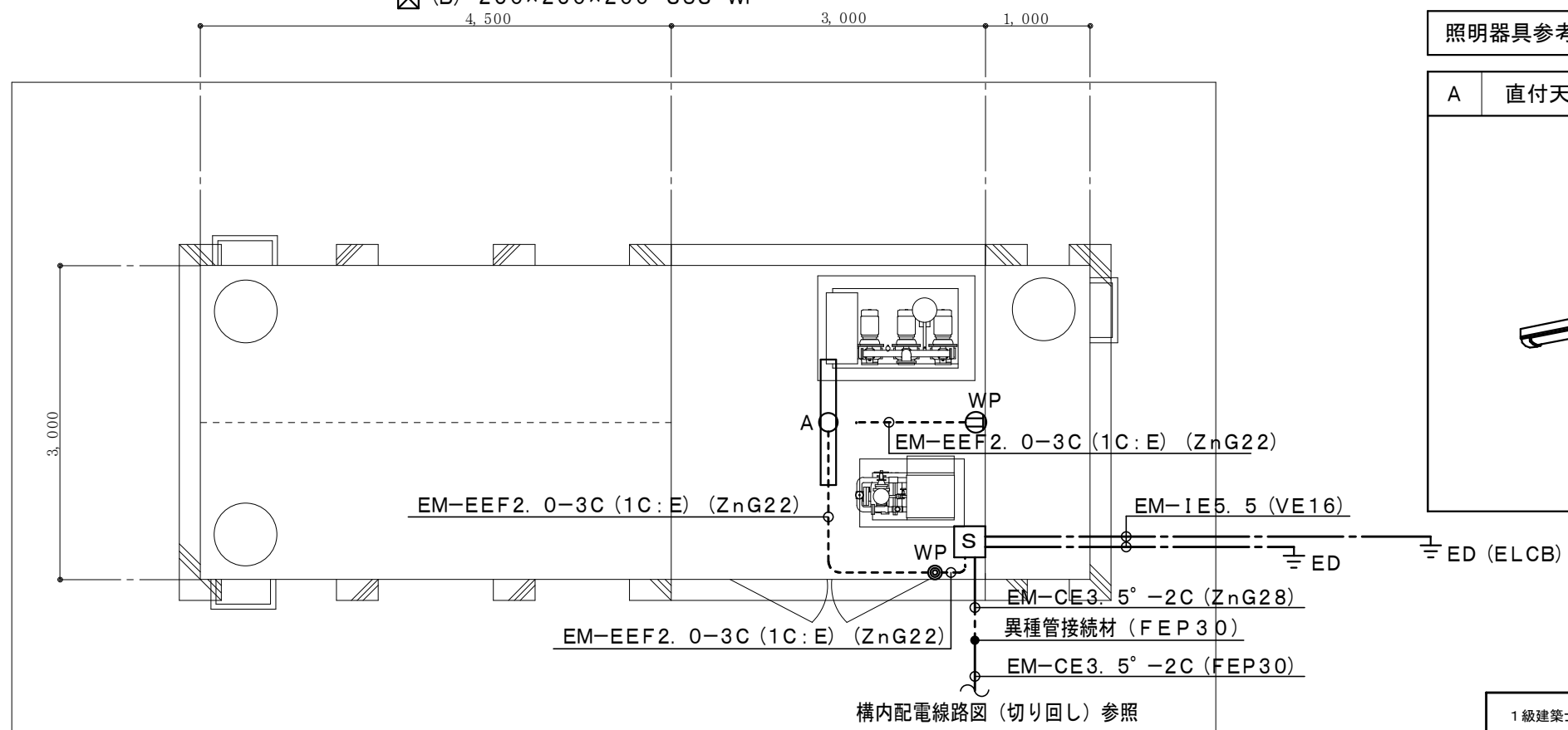
凡例

記号	名称	仕様
	手元開閉器箱	手元開閉器箱結線図参照
	照明器具	照明器具参考姿図参照
● WP	埋込タンブラスイッチ	大角型 1 P 1 5 A 樹脂プレート 防水型
① WP	防水コンセント	大角型 2 P 1 5 A × 2 + E E T
⊗	露出位置ボックス	金属製 丸形 2 方出
⊠	プルボックス	傍記参照
⦿ LF-3P	電極棒	L F - 3 P
⦿ LF-5P	〃	L F - 5 P
≡	接地工事	傍記参照
ⓈV	電磁弁	機械設備工事

動力設備 平面図 S=1:60


- |                                     |     |             |     |    |
|-------------------------------------|-----|-------------|-----|----|
| <input checked="" type="checkbox"/> | (A) | 300×300×300 | SUS | WP |
| <input checked="" type="checkbox"/> | (B) | 250×250×200 | SUS | WP |

構内通信線路図（切り回し）参照  
構内配電線路図（切り回し）参照

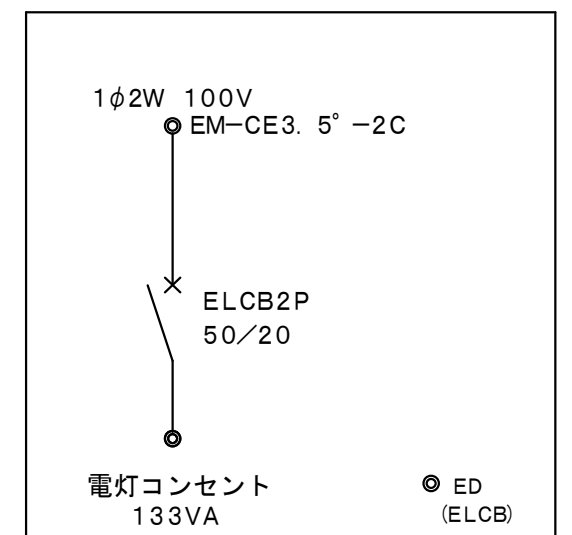


電灯設備 平面図 S=1:60

### 照明器具参考姿図

A	直付天井灯 LSS1MP/RP-4-46
	

### 手元開閉器箱結線図



屋外防水ステンレス製壁掛型  
(汎用品可)

1 級建築士事務所 鹿児島県知事登録第 1-3-188 号  
SEI EI SETSU BI  
株式 西栄設備事務所  
会社  
一級建築士 第 376369 号  
植木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

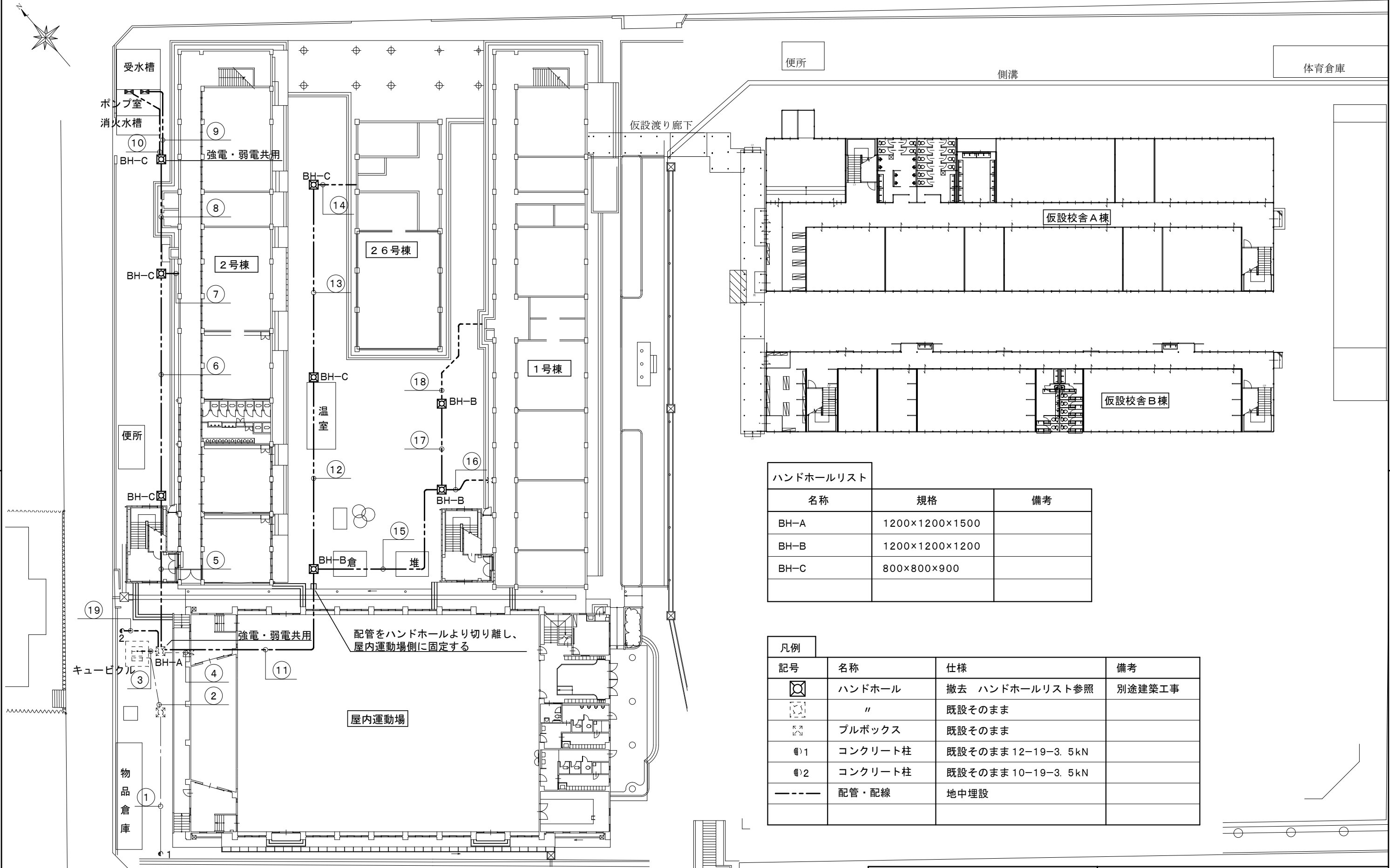
(電気設備)  
ポンプ室詳細図

A3 : 1/60

3 4

鹿児島市建設局建築部設備課

44



ハンドホールリスト		
名称	規格	備考
BH-A	1200×1200×1500	
BH-B	1200×1200×1200	
BH-C	800×800×900	

凡例			
記号	名称	仕様	備考
	ハンドホール	撤去 ハンドホールリスト参照	別途建築工事
	〃	既設そのまま	
	ブルボックス	既設そのまま	
	コンクリート柱	既設そのまま 12-19-3. 5kN	
	コンクリート柱	既設そのまま 10-19-3. 5kN	
	配管・配線	地中埋設	

構内配電線路図 S = 1 : 400

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第 376369号  
樋木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

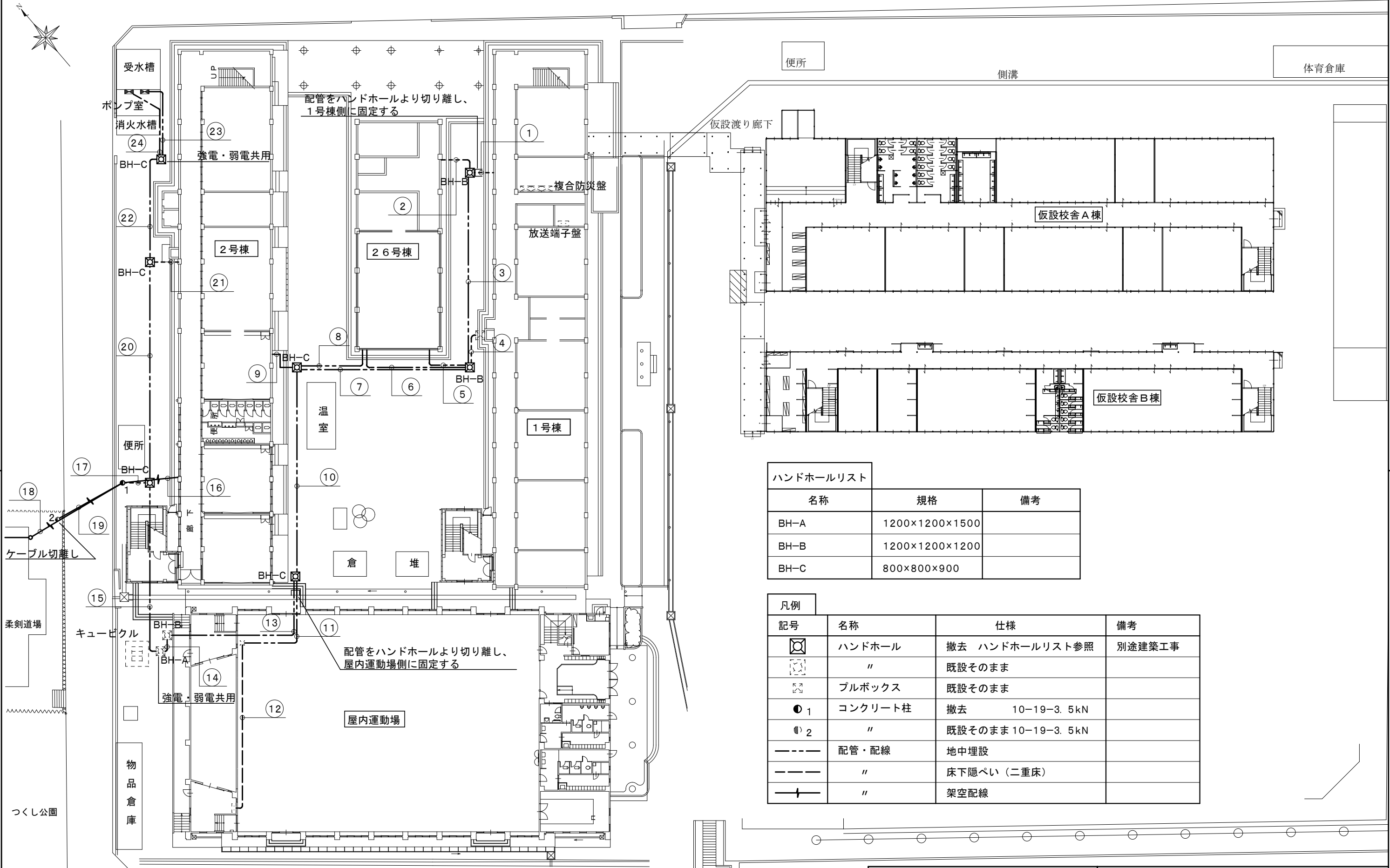
(電気設備) 撤去 構内配電線路図	A3: 1/400	3 5
鹿児島市建設局建築部設備課		4 4

配線リスト

区間	配線	配管	用途	区間	配線	配管	用途	区間	配線	配管	用途
①	6. 6kV CVT38°	G70～FEP80	高压引込	⑤・⑥	CVT100°	FEP80	2号棟電灯	⑫～⑭	CVT22°	FEP50	2 6号棟電灯
	CVV2° -7C	G42～FEP40	GR制御線		FP38° -3C	FEP50	消火ポンプ		CVT38°	FEP50	2 6号棟コンピュータ室
					CVT22°	FEP50	揚水ポンプ				
②	6. 6kV CVT38°	FEP80	高压引込		CVT38°	FEP80	技術室動力	⑮	CVT100°	FEP80	1号棟電灯
	CVV2° -7C	FEP40	GR制御線						EM-CET100°	FEP80	太陽光発電
									EM-CEES2° -2C	FEP80	太陽光発電制御信号
③	CVT100°	FEP80	2号棟電灯	⑦	CVT100°	FEP80	2号棟電灯		-G-	FEP80×1	予備
	CVT100°	G70	1号棟電灯		CVT38°	FEP50	技術室動力	⑯	EM-CET100° , E8°	FEP65-ZnG70	太陽光発電
	CVT22°	FEP80	2 6号棟電灯		CVT14°	FEP40	GHP		EM-CEES2° -2C	FEP30-ZnG22	太陽光発電制御信号
	CVT38°		2 6号棟コンピュータ室		-G-	FEP80×2	予備				
	CVT100°	FEP80	屋内運動場電灯	⑧				⑰			
	-G-	FEP80×6	予備		FP38° -3C	FEP50	消火ポンプ		CVT100°	FEP80	1号棟電灯
	FP38° -3C	FEP80	消火ポンプ		CVT22°	FEP30	揚水ポンプ		EM-IE8°	FEP80	太陽光発電C種接地
	CVT22°	FEP80	揚水ポンプ	⑨					-G-	FEP80×2	予備
	CVT38°		技術室動力								
	EM-CET100°	FEP80	太陽光発電	⑩	CVT22°	G36	揚水ポンプ	⑱	CVT100°	FEP80-ZnG70	1号棟電灯
	EM-CEES2° -2C	FEP80	太陽光発電制御信号						IV22° , 14°	FEP30-ZnG28	D, C種接地
	-G-	FEP80×5	予備	⑪	FP38° -3C	G54	消火ポンプ		-G-	FEP60-ZnG54	予備
④	CVT100°	G70	屋内運動場電灯		CVT100°	FEP80	1号棟電灯	⑲			
	-G-	G54	予備		CVT22°	FEP50	2 6号棟電灯		-G-	FEP65-ZnG70	予備
					CVT38°	FEP80	2 6号棟コンピュータ室		-G-	FEP50-ZnG42	予備
					EM-CET100°	FEP80	太陽光発電		-G-	FEP50-ZnG36	予備
					EM-CEES2° -2C	FEP80	太陽光発電制御信号				
					-G-	FEP80×3	予備				

- 既設そのまま
- ①・② 配管・配線共に既設のまま
- ③ 配管既設のまま・配線撤去
- ④ 配管・配線共に既設のまま
- ⑤～⑩ 配管・配線共に撤去
- ⑪ 配管既設のまま・配線撤去
- ⑫～⑱ 配管・配線共に撤去
- ⑲ 配管既設のまま
- ※配管撤去は別途建築工事

市道 8.0m



ハンドホールリスト		
名称	規格	備考
BH-A	1200×1200×1500	
BH-B	1200×1200×1200	
BH-C	800×800×900	

凡例			
記号	名称	仕様	備考
	ハンドホール	撤去 ハンドホールリスト参照	別途建築工事
	〃	既設そのまま	
	プルボックス	既設そのまま	
	コンクリート柱	撤去 10-19-3.5kN	
	〃	既設そのまま 10-19-3.5kN	
	配管・配線	地中埋設	
	〃	床下隠ぺい（二重床）	
	〃	架空配線	

構内通信線路図 S = 1 : 4 0 0

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式会社 **西栄設備事務所**  
一級建築士 第 376369号  
榎木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

（電気設備）  
撤去 構内通信線路図

A3: 1/400

37

鹿児島市建設局建築部設備課

44

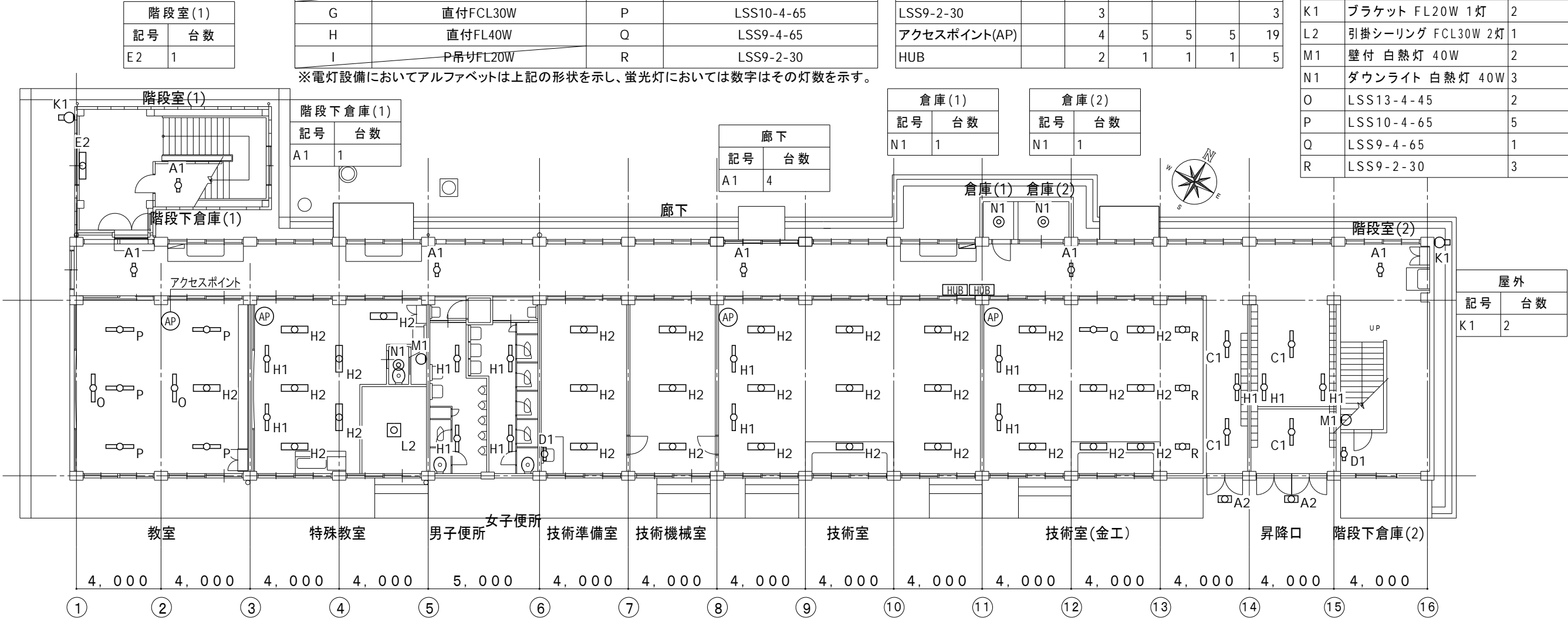
区間	配線	配管	用途	区間	配線	配管	用途	区間	配線	配管	用途	区間	配線	配管	用途						
①	AE1. 2-20P	FEP80	2号棟放送	④	UTP0. 5-4P×2	FEP30-ZnG36	1号棟LAN	⑪	AE1. 2-5P	FEP40	屋内運動場放送	⑮	UTP0. 5-4P	MJ22°	柔剣道場LAN						
	AE1. 2-5P		2号棟学年アンプ	⑤	UTP0. 5-4P×2	FEP30-ZnG36	2号棟LAN		S-7C-FB		屋内運動場TV	⑮	HP1. 2-6C	FEP50-ZnG42	柔剣道場非常放送						
	MVVS1. 25° -2C		2号棟リモートマイク	⑥	HP1. 2-4C	FEP50-ZnG42	2号棟非常放送		CPEV0. 65-10P		屋内運動場電話	⑮	HP1. 2-5P		柔剣道場自火報						
	S-7C-FB		2号棟TV		HP1. 2-7P	FEP30-ZnG36	2号棟自火報		HP1. 2-5P	FEP40	屋内運動場非常放送		AE1. 2-3C		柔剣道場放送						
	S-7C-FB	FEP50	2号棟TV		CPEV0. 65-10P		2号棟電話	HP1. 2-10P	屋内運動場自火報		⑮		UTP0. 5-4P	MJ22°	柔剣道場LAN						
	HP1. 2-6C	FEP50	柔剣道場非常放送		⌚	FEP50-ZnG42	予備	⌚	FEP40×2	予備	⑮	HP1. 2-6C	MJ22°	柔剣道場非常放送							
	HP1. 2-5P		柔剣道場自火報		⌚	FEP30-ZnG36×2	予備	AE1. 2-5P		屋内運動場放送	HP1. 2-5P	柔剣道場自火報									
	CPEV0. 65-10P	FEP80	2号棟電話	⑦	AE1. 2-20P	FEP80	2号棟放送	⑫	7C-FB	PF28	屋内運動場TV	⑮	AE1. 2-3C	柔剣道場放送							
	HP1. 2-15P		2号棟非常放送		AE1. 2-5P		2号棟学年アンプ		CPEV0. 65-10P	PF28	屋内運動場電話		⑮	AE1. 2-20P	FEP80	2号棟放送					
	HP1. 2-15P		2号棟自火報		MVVS1. 25° -2C	2号棟リモートマイク	HP1. 2-5P		屋内運動場非常放送		AE1. 2-5P			2号棟学年アンプ							
	HP1. 2-15P		2号棟防火戸		HP1. 2-6C	柔剣道場非常放送	HP1. 2-10P		PF22	屋内運動場自火報	MVVS1. 25° -2C	2号棟リモートマイク									
	CPEV1. 2-3P		2号棟換気扇リモコン		HP1. 2-5P	柔剣道場自火報	⌚	PF28×2	予備	CPEV0. 65-10P	2号棟電話										
	HP1. 2-4C	FEP80	2号棟非常放送		AE1. 2-3C	FEP50	柔剣道場放送	⑬	AE1. 2-20P	FEP80	2号棟放送	⑮	HP1. 2-15P	FEP80	2号棟非常放送						
	HP1. 2-7P		2号棟自火報		CPEV0. 65-10P		2号棟電話		AE1. 2-5P		2号棟学年アンプ		HP1. 2-15P		2号棟自火報						
	CPEV0. 65-5P	FEP80	2号棟電話		HP1. 2-15P		2号棟非常放送		MVVS1. 25° -2C	2号棟リモートマイク	HP1. 2-15P		2号棟防火戸								
	CPEV0. 65-10P	FEP80	2号棟電話		HP1. 2-15P		2号棟自火報		HP1. 2-6C	柔剣道場非常放送	HP1. 2-5P	柔剣道場自火報									
	AE1. 2-5P	FEP50	屋内運動場放送		HP1. 2-15P	FEP50	2号棟防火戸		AE1. 2-3C	FEP80	柔剣道場放送	⑰	HP1. 2-6C	FEP50	消火栓起動リレー						
	AE1. 2-3C		柔剣道場放送		CPEV1. 2-3P		2号棟換気扇リモコン		AE1. 2-3C		柔剣道場放送		CVV3. 5° -4C		消火ポンプ警報						
	CPEV0. 65-10P	FEP80	屋内運動場電話		CPEV0. 65-10P		屋内運動場電話		CPEV0. 65-10P	2号棟電話	CVV3. 5° -7C		受水槽ポンプ警報								
	HP1. 2-5P		屋内運動場非常放送		HP1. 2-5P		屋内運動場非常放送		HP1. 2-15P	2号棟非常放送	CVV3. 5° -5C		1号棟電極								
	HP1. 2-10P	FEP50	屋内運動場自火報		HP1. 2-10P	屋内運動場自火報	HP1. 2-15P		2号棟自火報	HP1. 2-15P	2号棟防火戸										
	HP1. 2-6C		消火栓起動リレー	HP1. 2-6C	消火栓起動リレー	CPEV1. 2-3P	2号棟換気扇リモコン	HP1. 2-6C	消火栓起動リレー												
	CVV3. 5° -4C		消火ポンプ警報	CVV3. 5° -4C	消火ポンプ警報	HP1. 2-6C	消火栓起動リレー	HP1. 2-6C	消火栓起動リレー												
	CVV3. 5° -7C		受水槽ポンプ警報	CVV3. 5° -7C	受水槽ポンプ警報	CVV3. 5° -4C	消火ポンプ警報	CVV3. 5° -7C	消火ポンプ警報												
	CVV3. 5° -5C		1号棟電極	CVV3. 5° -5C	1号棟電極	CVV3. 5° -7C	受水槽ポンプ警報	CVV3. 5° -5C	1号棟電極												
	⌚	FEP80×5	予備	CVV3. 5° -5C	1号棟電極	CVV3. 5° -5C	1号棟電極	CVV3. 5° -5C	1号棟電極												
②	CPEV0. 65-5P	FEP30-ZnG28	2号棟電話	⑧	UTP0. 5-4P×4	FEP80	1・2号棟LAN	⑭	⌚	FEP80×2	予備	⑰	CVV3. 5° -5C	FEP30	2号棟電極						
	S-7C-FB		1号棟TV		⌚	FEP80×2	予備		AE1. 2-20P		2号棟放送		HP1. 2-6C	FEP50	消火栓起動リレー						
	S-7C-FB	FEP30-ZnG22	2号棟TV		UTP0. 5-4P×4	FEP40-ZnG36	1・2号棟LAN		AE1. 2-5P		2号棟学年アンプ	⑰	CVV3. 5° -4C		消火ポンプ警報						
③	AE1. 2-20P	FEP80	2号棟放送	⑨	AE1. 2-20P	FEP80	2号棟放送	⑮	MVVS1. 25° -2C	FEP80	2号棟リモートマイク	⑰	CVV3. 5° -7C	FEP50	受水槽ポンプ警報						
	AE1. 2-5P		2号棟学年アンプ		AE1. 2-5P		2号棟学年アンプ		HP1. 2-6C		柔剣道場非常放送		CVV3. 5° -5C		1号棟電極						
	MVVS1. 25° -2C		2号棟リモートマイク	⑩	MVVS1. 25° -2C		2号棟リモートマイク		HP1. 2-5P	FEP80	柔剣道場自火報		CVV3. 5° -5C	FEP50	2号棟電極						
	HP1. 2-6C	FEP50	柔剣道場非常放送		HP1. 2-6C	FEP50	柔剣道場非常放送		AE1. 2-3C		柔剣道場放送	⑰	CVV3. 5° -7C	G36	受水槽ポンプ警報						
	HP1. 2-5P		柔剣道場自火報		HP1. 2-5P		柔剣道場自火報		CPEV0. 65-10P	FEP80	2号棟電話		CVV3. 5° -5C		1号棟電極						
	AE1. 2-3C	FEP80	柔剣道場放送		AE1. 2-3C	FEP80	柔剣道場放送		HP1. 2-15P		2号棟非常放送	⑰	CVV3. 5° -5C	G36	2号棟電極						
	CPEV0. 65-10P		2号棟電話		CPEV0. 65-10P	FEP80	2号棟電話		HP1. 2-15P	FEP80	2号棟自火報		CVV3. 5° -5C		2号棟電極						
	HP1. 2-15P		2号棟非常放送		HP1. 2-15P		2号棟非常放送		HP1. 2-15P		2号棟防火戸	⑰	HP1. 2-6C	G36	消火栓起動リレー						
	HP1. 2-15P	FEP50	2号棟防火戸		HP1. 2-15P	FEP50	2号棟自火報		CPEV1. 2-3P	FEP80	2号棟換気扇リモコン		CVV3. 5° -4C		消火ポンプ警報						
	HP1. 2-15P		2号棟防火戸		HP1. 2-15P		2号棟防火戸		HP1. 2-6C		消火栓起動リレー										
	CPEV1. 2-3P		2号棟換気扇リモコン		HP1. 2-15P	2号棟防火戸	CVV3. 5° -4C		消火ポンプ警報												
	HP1. 2-4C	FEP50	2号棟非常放送		CPEV1. 2-3P	FEP50	2号棟換気扇リモコン		CVV3. 5° -7C		受水槽ポンプ警報										
	HP1. 2-7P		2号棟自火報	AE1. 2-5P	屋内運動場放送		CVV3. 5° -5C	1号棟電極													
	CPEV0. 65-10P	FEP80	2号棟電話		CPEV0. 65-10P	FEP50	屋内運動場電話	⑮	⌚	FEP80×2	予備										
	AE1. 2-5P	FEP50	屋内運動場放送		S-7C-FB		屋内運動場テレビ		AE1. 2-20P		2号棟放送										
	CPEV0. 65-10P		屋内運動場電話		HP1. 2-5P	FEP50	屋内運動場非常放送		AE1. 2-5P	2号棟学年アンプ											
	HP1. 2-5P	FEP50	屋内運動場非常放送		HP1. 2-10P		屋内運動場自火報		MVVS1. 25° -2C	FEP50	2号棟リモートマイク										
	HP1. 2-10P		屋内運動場自火報		HP1. 2-6C	FEP50	消火栓起動リレー		HP1. 2-6C		柔剣道場非常放送										
	HP1. 2-6C	FEP50	消火栓起動リレー		CVV3. 5° -4C		消火ポンプ警報		HP1. 2-5P		柔剣道場自火報										
	CVV3. 5° -4C		消火ポンプ警報		CVV3. 5° -7C	FEP50	受水槽ポンプ警報		AE1. 2-3C	FEP80	柔剣道場放送										
	CVV3. 5° -7C		受水槽ポンプ警報		CVV3. 5° -5C		1号棟電極		CPEV0. 65-10P	FEP80	2号棟電話										
	CVV3. 5° -5C	FEP80×4	1号棟電極		⌚	FEP80×3	予備		HP1. 2-15P		2号棟非常放送										
⌚	予備		⌚		予備		HP1. 2-15P		2号棟自火報												
④	AE1. 2-20P	FEP80	2号棟放送	⑪	UTP0. 5-4P×2	FEP30-ZnG36	1号棟LAN	⑮	AE1. 2-5P	FEP40	屋内運動場放送	⑮	UTP0. 5-4P	MJ22°	柔剣道場LAN						
	AE1. 2-5P		2号棟学年アンプ		UTP0. 5-4P×2	FEP30-ZnG36	2号棟LAN		S-7C-FB		屋内運動場TV		HP1. 2-6C	FEP50-ZnG42	柔剣道場非常放送						
	MVVS1. 25° -2C		2号棟リモートマイク		HP1. 2-4C	FEP50-ZnG42	2号棟非常放送		CPEV0. 65-10P		屋内運動場電話		HP1. 2-5P		柔剣道場自火報						
	S-7C-FB		2号棟TV		HP1. 2-7P	FEP30-ZnG36	2号棟自火報		HP1. 2-5P	FEP40	屋内運動場非常放送		AE1. 2-3C		柔剣道場放送						
	S-7C-FB	FEP50	2号棟TV	CPEV0. 65-10P	2号棟電話		HP1. 2-10P	屋内運動場自火報	⑮		UTP0. 5-4P	MJ22°	柔剣道場LAN								
	HP1. 2-6C	FEP50	柔剣道場非常放送	⌚	FEP50-ZnG42	予備	⌚	FEP40×2	予備	⑮	HP1. 2-6C	MJ22°	柔剣道場非常放送								
	HP1. 2-5P		柔剣道場自火報	⌚	FEP30-ZnG36×2	予備	AE1. 2-5P		屋内運動場放送	HP1. 2-5P	柔剣道場自火報										
	CPEV0. 65-10P	FEP80	2号棟電話	⑦	AE1. 2-20P	FEP80	2号棟放送	⑫	7C-FB	PF28	屋内運動場TV	⑮	AE1. 2-3C	柔剣道場放送							
	HP1. 2-15P		2号棟非常放送		AE1. 2-5P		2号棟学年アンプ		CPEV0. 65-10P	PF28	屋内運動場電話		⑮	AE1. 2-20P	FEP80	2号棟放送					
	HP1. 2-15P		2号棟自火報		MVVS1. 25° -2C	2号棟リモートマイク	HP1. 2-5P		屋内運動場非常放送		AE1. 2-5P			2号棟学年アンプ							
	HP1. 2-15P		2号棟防火戸		HP1. 2-6C	柔剣道場非常放送	HP1. 2-10P		PF22	屋内運動場自火報	MVVS1. 25° -2C	2号棟リモートマイク									
	CPEV1. 2-3P		2号棟換気扇リモコン		HP1. 2-5P	柔剣道場自火報	⌚	PF28×2	予備	CPEV0. 65-10P	2号棟電話										
	HP1. 2-4C	FEP80	2号棟非常放送		AE1. 2-3C	FEP50	柔剣道場放送	⑬	AE1. 2-20P	FEP80	2号棟放送	⑮	HP1. 2-15P	FEP80	2号棟非常放送						
	HP1. 2-7P		2号棟自火報		CPEV0. 65-10P		2号棟電話		AE1. 2-5P		2号棟学年アンプ		HP1. 2-15P		2号棟自火報						
	CPEV0. 65-5P	FEP80	2号棟電話		HP1. 2-15P		2号棟非常放送		MVVS1. 25° -2C	2号棟リモートマイク	HP1. 2-15P		2号棟防火戸								
CPEV0. 65-10P	FEP80	2号棟電話	HP1. 2-15P		2号棟自火報		HP1. 2-6C		柔剣道場非常放送	HP1. 2-5P	柔剣道場自火報										
AE1. 2-5P	FEP50	屋内運動場放送		HP1. 2-15P	FEP50	2号棟防火戸		AE1. 2-3C	FEP80	柔剣道場放送	⑰	HP1. 2-6C	FEP50	消火栓起動リレー							
AE1. 2-3C		柔剣道場放送		CPEV1. 2-3P		2号棟換気扇リモコン		AE1. 2-3C		柔剣道場放送		CVV3. 5° -4C		消火ポンプ警報							
CPEV0. 65-10P	FEP80	屋内運動場電話		CPEV0. 65-10P		屋内運動場電話		CPEV0. 65-10P	2号棟電話	CVV3. 5° -7C		受水槽ポンプ警報									
HP1. 2-5P		屋内運動場非常放送		HP1. 2-5P		屋内運動場非常放送		HP1. 2-15P	2号棟非常放送	CVV3. 5° -5C		1号棟電極									
HP1. 2-10P	FEP50	屋内運動場自火報		HP1. 2-10P	屋内運動場自火報	HP1. 2-15P		2号棟自火報	HP1. 2-15P	2号棟防火戸											
HP1. 2-6C		消火栓起動リレー	HP1. 2-6C	消火栓起動リレー	CPEV1. 2-3P	2号棟換気扇リモコン	HP1. 2-6C	消火栓起動リレー													
CVV3. 5° -4C		消火ポンプ警報	CVV3. 5° -4C	消火ポンプ警報	HP1. 2-6C	消火栓起動リレー	HP1. 2-6C	消火栓起動リレー													
CVV3. 5° -7C		受水槽ポンプ警報	CVV3. 5° -7C	受水槽ポンプ警報	CVV3. 5° -4C	消火ポンプ警報	CVV3. 5° -7C	消火ポンプ警報													
CVV3. 5° -5C		1号棟電極	CVV3. 5° -5C	1号棟電極	CVV3. 5° -7C	受水槽ポンプ警報	CVV3. 5° -5C	1号棟電極													
⌚	FEP80×4	予備	CVV3. 5° -5C	1号棟電極	CVV3. 5° -5C	1号棟電極	CVV3. 5° -5C	1号棟電極													

工事概要  
・照明器具より管球を撤去し、処分する。  
・LED照明器具は撤去後、引き渡しとする。  
・HUB、APは撤去後、引き渡しとする。

照明器具			
記号	形状	記号	形状
A	埋込FL20W	J	P吊りFL40W
B	埋込FL30W	K	ブラケット FL20W
C	埋込FL40W	L	引掛シーリング FCL30W
D	壁付FL20W	M	壁付 IL40W
E	壁付FL40W	N	ダウンライト IL40W
F	直付FL20W	O	LSS13-4-45
G	直付FCL30W	P	LSS10-4-65
H	直付FL40W	Q	LSS9-4-65
I	P吊りFL20W	R	LSS9-2-30

撤去数量	屋外	1階	2階	3階	4階	合計
FL20W	2	12	8	8	7	37
FL40W		79	92	106	92	369
FCL30W		2				2
IL40W		5		1		6
LSS13-4-45		2			2	4
LSS10-4-65		5	1			6
LSS9-4-65		1			6	7
LSS9-2-30		3				3
アクセスポイント(AP)		4	5	5	5	19
HUB		2	1	1	1	5

記号	名称	台数
A1	埋込 FL20W 1灯	6
A2	埋込 FL20W 2灯	2
C1	埋込 FL40W 1灯	4
D1	壁付 FL20W 1灯	2
E2	壁付 FL40W 2灯	1
H1	直付 FL40W 1灯	13
H2	直付 FL40W 2灯	30
K1	ブラケット FL20W 1灯	2
L2	引掛シーリング FCL30W 2灯	1
M1	壁付 白熱灯 40W	2
N1	ダウンライト 白熱灯 40W	3
O	LSS13-4-45	2
P	LSS10-4-65	5
Q	LSS9-4-65	1
R	LSS9-2-30	3



2号棟 1階平面図 S=1:200

教室	
記号	台数
H2	1
O	2
P	5

特殊教室	
記号	台数
H1	2
H2	6
L2	1
M1	1
N1	1

男子便所	
記号	台数
H1	2
女子便所	
記号	台数
H1	2

技術準備室	
記号	台数
D1	1
H2	3
技術機械室	
記号	台数
H2	3

技術室	
記号	台数
H1	2
H2	9

技術室(金工)	
記号	台数
H1	2
H2	8
Q	1
R	3

昇降口	
記号	台数
A2	2
C1	4
H1	3

階段室(2)	
記号	台数
A1	1
D1	1
階段下倉庫(2)	
記号	台数
M1	1

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
榎木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

(電気設備)  
撤去 1階平面図(2号棟)

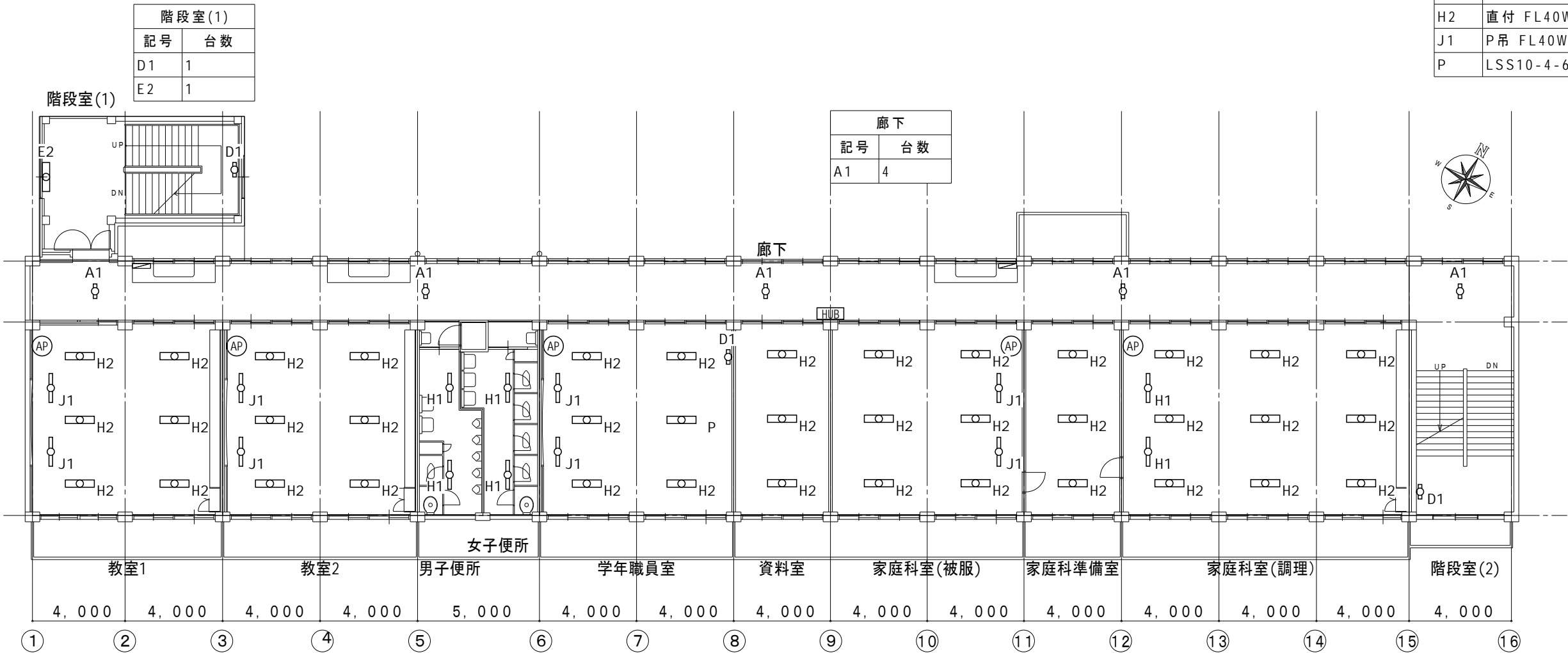
A3: 1/200

3 9

鹿児島市建設局建築部設備課

4 4

記号	名称	台数
A1	埋込 FL20W 1灯	5
D1	壁付 FL20W 1灯	3
E2	壁付 FL40W 2灯	1
H1	直付 FL40W 1灯	6
H2	直付 FL40W 2灯	38
J1	P吊 FL40W 1灯	8
P	LSS10-4-65	1



教室1	
記号	台数
H2	6
J1	2

教室2	
記号	台数
H2	6
J1	2

男子便所	
記号	台数
H1	2
女子便所	
記号	台数
H1	2

学年職員室	
記号	台数
D1	1
H2	5
J1	2
P	1

資料室	
記号	台数
H2	3

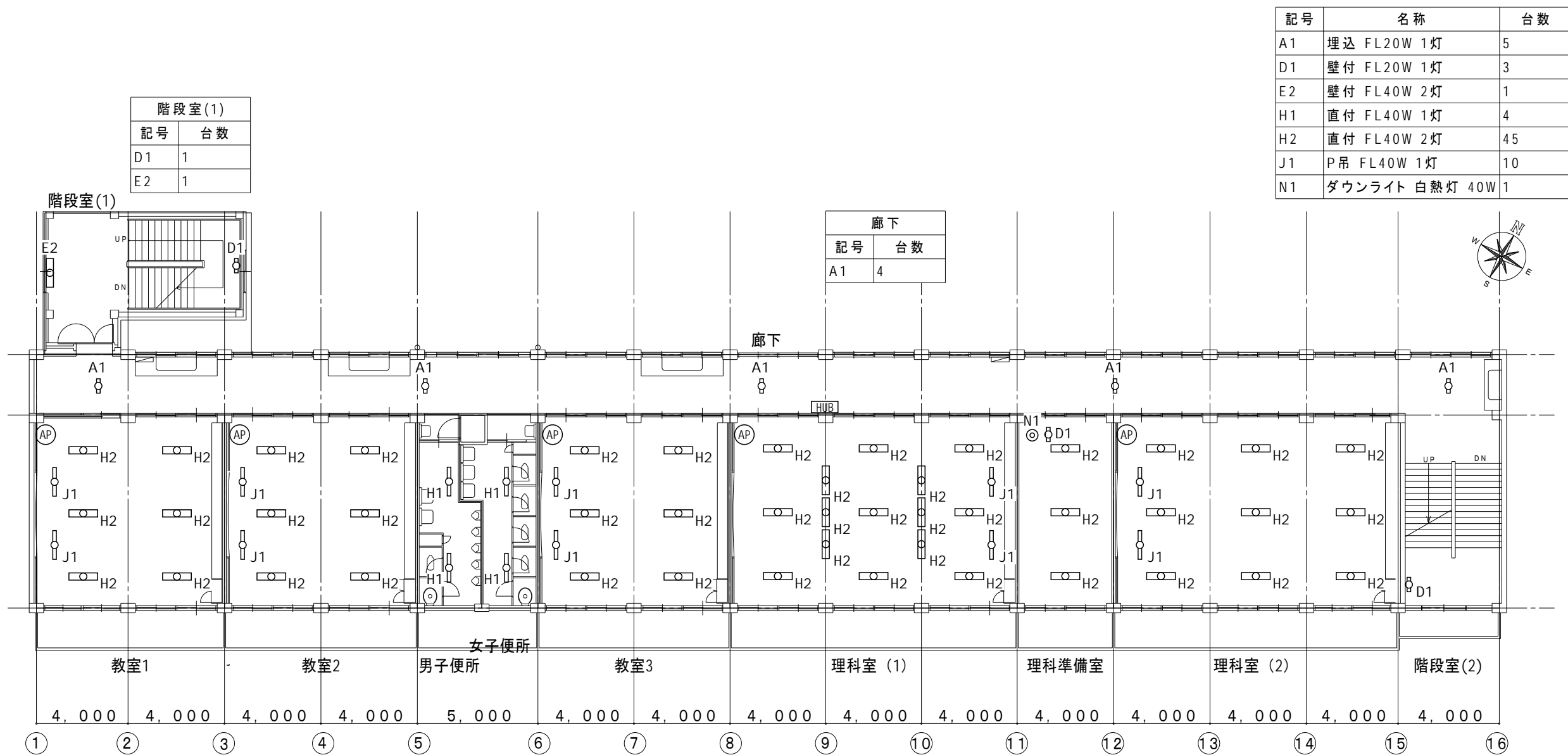
家庭科室(被服)	
記号	台数
H2	6
J1	2

家庭科準備室	
記号	台数
H2	3

家庭科室(調理)	
記号	台数
H1	2
H2	9

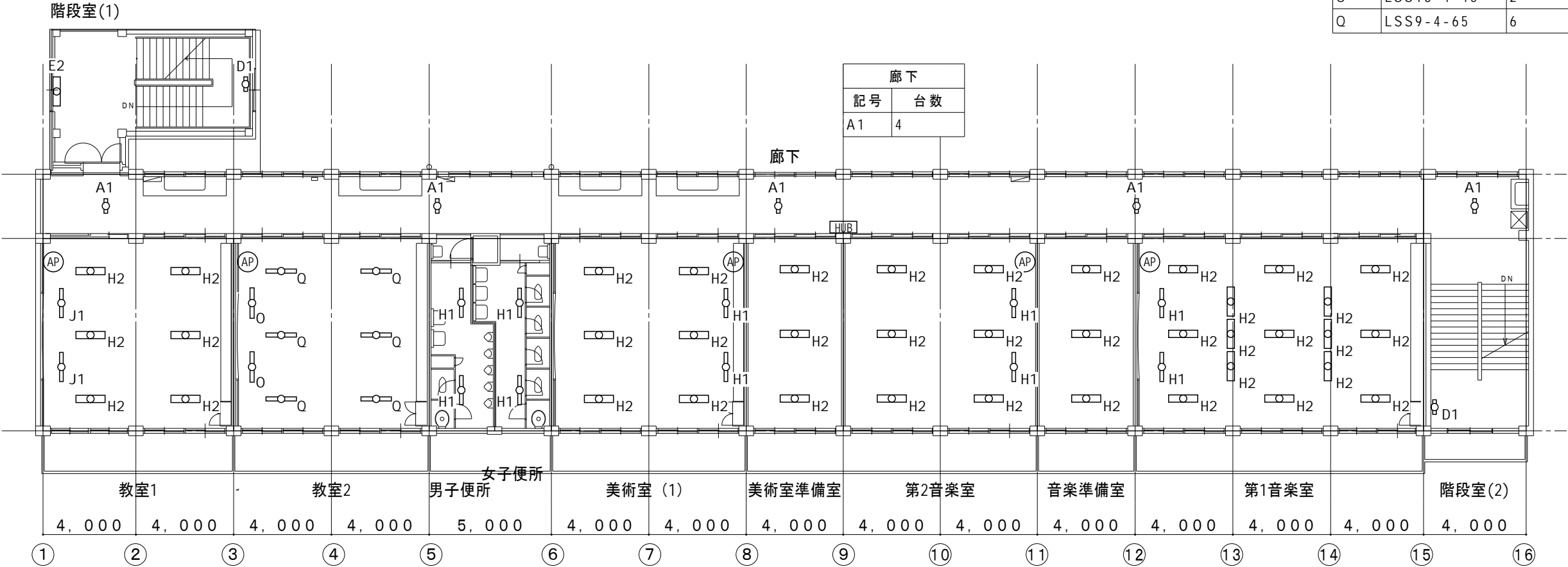
階段室(2)	
記号	台数
A1	1
D1	1





階段室(1)	
記号	台数
D1	1
E2	1

記号	名称	台数
A1	埋込 FL20W 1灯	5
D1	壁付 FL20W 1灯	2
E2	壁付 FL40W 2灯	1
H1	直付 FL40W 1灯	10
H2	直付 FL40W 2灯	39
J1	P吊 FL40W 1灯	2
O	LSS13-4-45	2
Q	LSS9-4-65	6



2号棟 4階平面図S=1:200

教室1	
記号	台数
H2	6
J1	2

教室2	
記号	台数
O	2
Q	6

男子便所	
記号	台数
H1	2

女子便所	
記号	台数
H1	2

美術室(1)	
記号	台数
H1	2
H2	6

美術室準備室	
記号	台数
H2	3

第2音楽室	
記号	台数
H1	2
H2	6

音楽準備室	
記号	台数
H2	3

第1音楽室	
記号	台数
H1	2
H2	15

階段室(2)	
記号	台数
A1	1
D1	1

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
樋木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

(電気設備)  
撤去 4階平面図(2号棟)

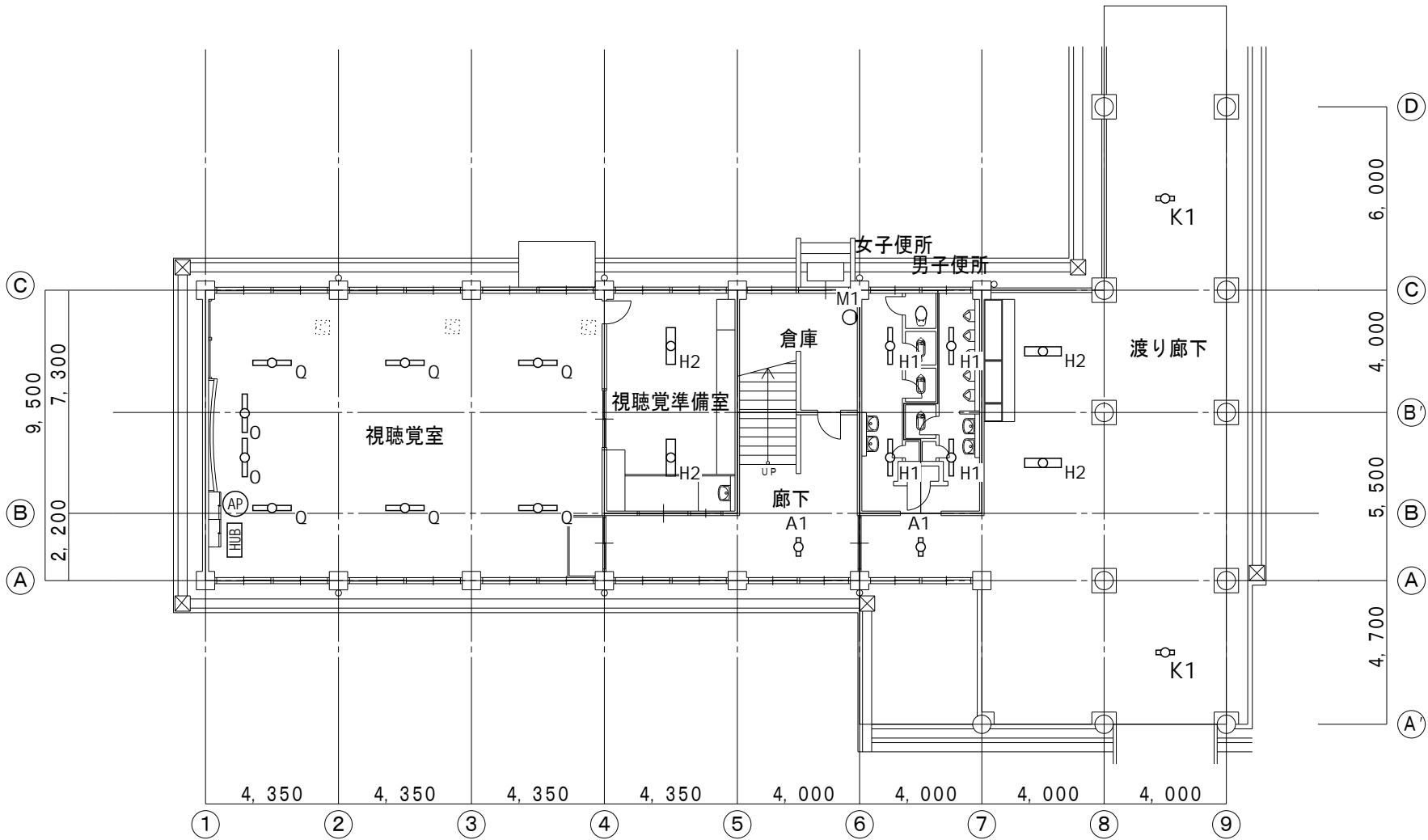
A3:1/200

4 2

鹿児島市建設局建築部設備課

4 4

- 工事概要
- ・照明器具より管球を撤去し、処分する。
  - ・LED照明器具は撤去後、引き渡しとする。
  - ・HUB、APは撤去後、引き渡しとする。



26号棟 1階平面図 S=1:200

記号	名称	台数
A1	埋込 FL20W 1灯	2
H1	直付 FL40W 1灯	4
H2	直付 FL40W 2灯	4
K1	ブラケット FL20W 1灯	2
M1	壁付 白熱灯 40W	1
O	LSS13-4-45	2
Q	LSS9-4-65	6

撤去数量	1階	2階	合計
FL20W	4	4	8
FL40W	12	32	44
FCL30W		1	1
IL40W	1		1
LSS13-4-45	2	1	3
LSS9-4-65	6	2	8
アクセスポイント(AP)	1	1	2
HUB	1		1

視聴覚室	
記号	台数
O	2
Q	6

視聴覚準備室	
記号	台数
H2	2

廊下	
記号	台数
A1	1

倉庫	
記号	台数
M1	1

女子便所	
記号	台数
H1	2

男子便所	
記号	台数
H1	2

渡り廊下	
記号	台数
A1	1
H2	2
K1	2

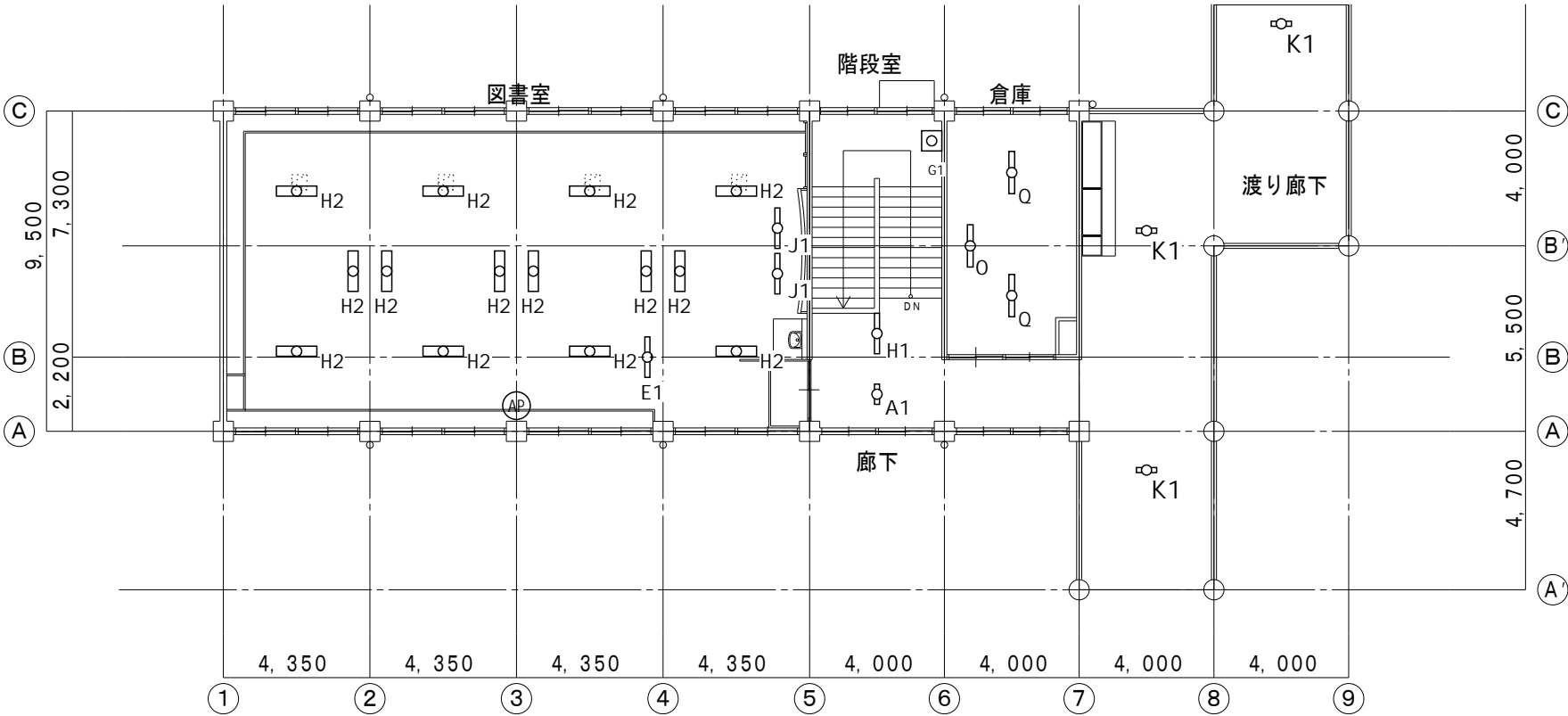
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
樋木 信彦

紫原中学校給排水その他設備改修工事

(電気設備) 撤去 1階平面図(26号棟)	A3: 1/200	4 3
--------------------------	-----------	-----

鹿児島市建設局建築部設備課	4 4
---------------	-----

記号	名称	台数
A1	埋込 FL20W 1灯	1
E1	壁付 FL40W 1灯	1
G1	直付 FCL30W 1灯	1
H1	直付 FL40W 1灯	1
H2	直付 FL40W 2灯	14
J1	P吊 FL40W 1灯	2
K1	ブラケット FL20W 1灯	3
O	LSS13-4-45	1
Q	LSS9-4-65	2



26号棟 2階平面図 S=1:200

図書室	
記号	台数
E1	1
H2	14
J1	2

階段室	
記号	台数
G1	1
H1	1

廊下	
記号	台数
A1	1

倉庫	
記号	台数
O	1
Q	2

渡り廊下	
記号	台数
K1	3